

平成27年度  
川崎区区民アンケート  
報告書

川崎区役所



# 目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 調査項目	3
4 回収状況	3
5 調査結果を見る上での注意事項	3
6 標本誤差	4
第2章 回答者の属性	5
第3章 調査結果の詳細	9
1 住みやすさについて	11
(1) 居住年数	11
(2) 川崎区の住みやすさ	13
(3) 川崎区について良いと思うもの	15
(4) 川崎区について良くないと思うもの	19
(5) 今後の定住意向	23
2 川崎区役所の広報について	25
(1) 川崎区からの情報の入手手段	25
(2) 「市政だより」について充実して欲しい情報	29
3 川崎区役所が行っている事業の要望について	33
(1) 今後、特に力を入れて欲しい事業	33
4 今後の防犯、防災、災害対策について	37
(1) 地域住民団体等が防犯カメラを設置することについて	37
(2) 防犯カメラの設置に反対する理由	40
(3) 家族や身近な人と災害が起きた時の安否確認の方法	41
(4) 居住地域での最大規模の津波の高さの認知度	45
5 健康、福祉等について	48
(1) 毎年の健康診断の受診状況	48
(2) 健康診断を毎年受けない理由	51
(3) 「地域包括支援センター」の認知度	54
6 川崎区区民会議について	57
(1) 区民会議の認知度	57
(2) 区民会議の議題として望ましいもの	60
(3) 「区の花」「区の木」の認知度	64
7 市民活動及び地域活動への参加について	68
(1) 町内会・自治会への加入状況	68
(2) 町内会・自治会に加入していない理由	71
(3) 町内会・自治会に期待する役割	74
(4) 参加してみたいと思う地域活動の分野	77
第4章 調査票	81



# 第 1 章 調査の概要



## 1 調査の目的

「川崎区区民アンケート」は、区民の意識や区役所サービス等に関する要望を調査することにより、地域の課題を把握し、区民会議における調査審議課題の選定、区政運営及び区の企画立案の参考資料とすることを目的として実施した。

## 2 調査の方法

- (1) 調査の地域 川崎区全域
- (2) 調査の対象者 川崎区在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 2,000標本
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布一郵送回収）
- (6) 調査期間 平成27年12月25日（金）～平成28年1月25日（月）
- (7) 調査委託機関 株式会社 サーベイリサーチセンター

## 3 調査項目

調査項目	問番号
1 住みやすさについて	(問1～問4)
2 川崎区役所の広報について	(問5～問6)
3 川崎区役所が行っている事業の要望について	(問7)
4 今後の防犯、防災、災害対策について	(問8～問10)
5 健康、福祉等について	(問11～問12)
6 川崎区区民会議について	(問13～問15)
7 市民活動及び地域活動への参加について	(問16～問18)

## 4 回収状況

有効回収数 900人  
有効回収率 45.0%

## 5 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

## 6 標本誤差

この調査結果を見る場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、回答者数（標本数）が少ないほど大きく、また、回答比率が低いほど大きくなる。下記の表は、今回の調査結果の標本誤差を示したものである。例えば、調査の中のある設問の回答者数が900人であり、Aと回答した人の比率が60%だった場合、その結果を全体（母集団）の結果として考える時に、Aの回答比率は56.73%～63.27%であるとみることができる。

### ● 今回の調査結果の標本誤差

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
900	±2.00%	±2.67%	±3.06%	±3.27%	±3.33%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※ 上表は  $\frac{N-n}{N-1} \div 1$  として算出している。

〈注／この表の見方〉

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

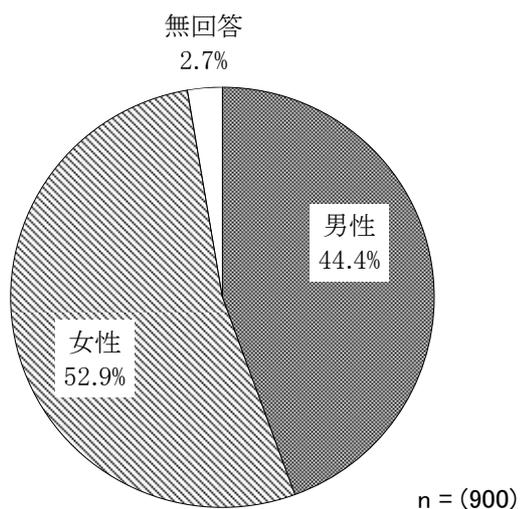
$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left\{ \begin{array}{l} N = \text{母集団数 (川崎区の18歳以上人口)} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ p = \text{回答の比率 (\%)} \end{array} \right.$

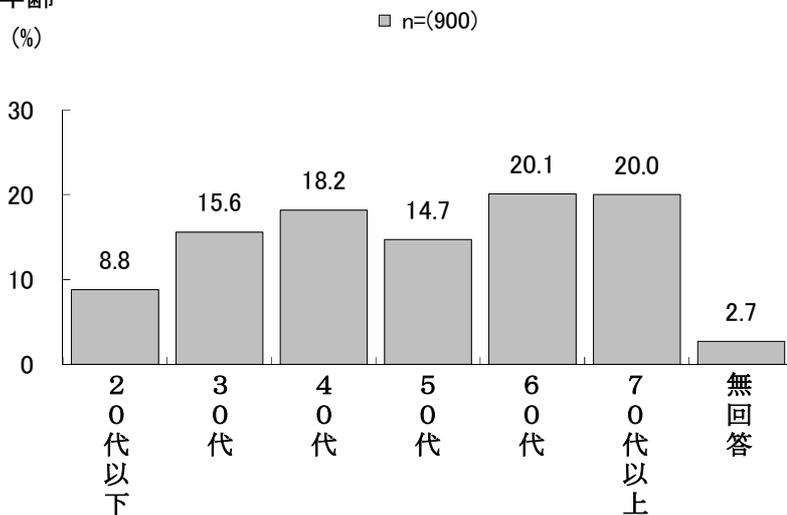
## 第2章 回答者の属性



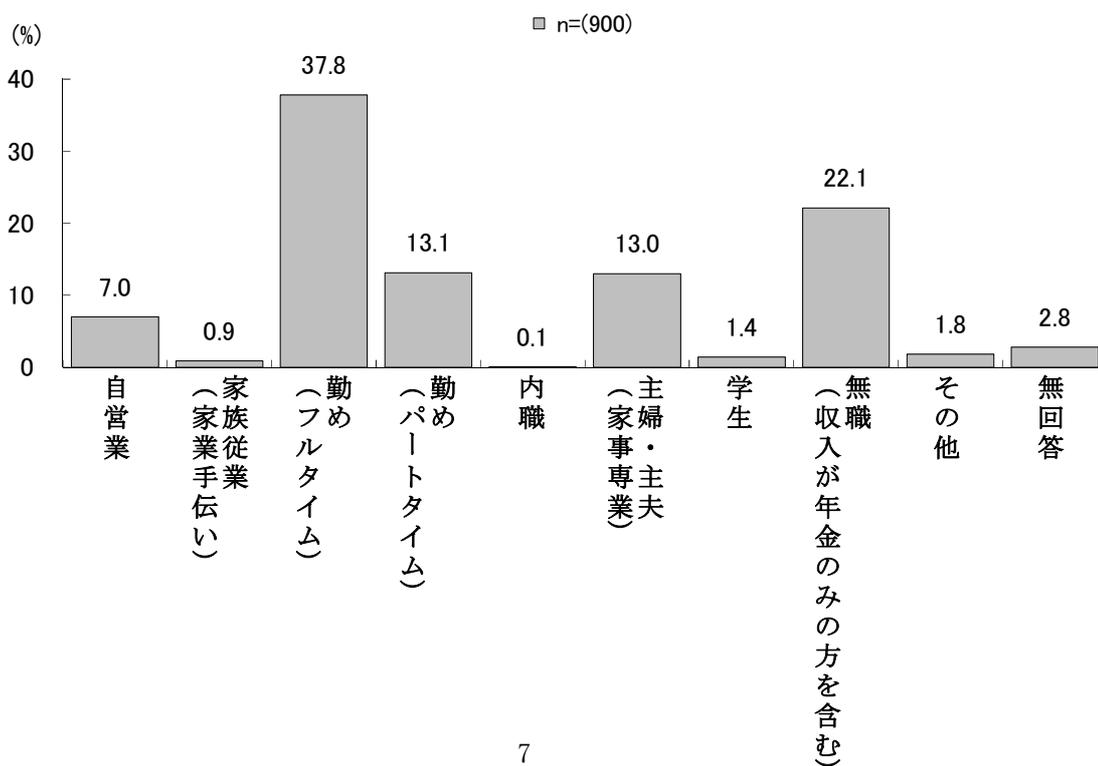
F 1 性別



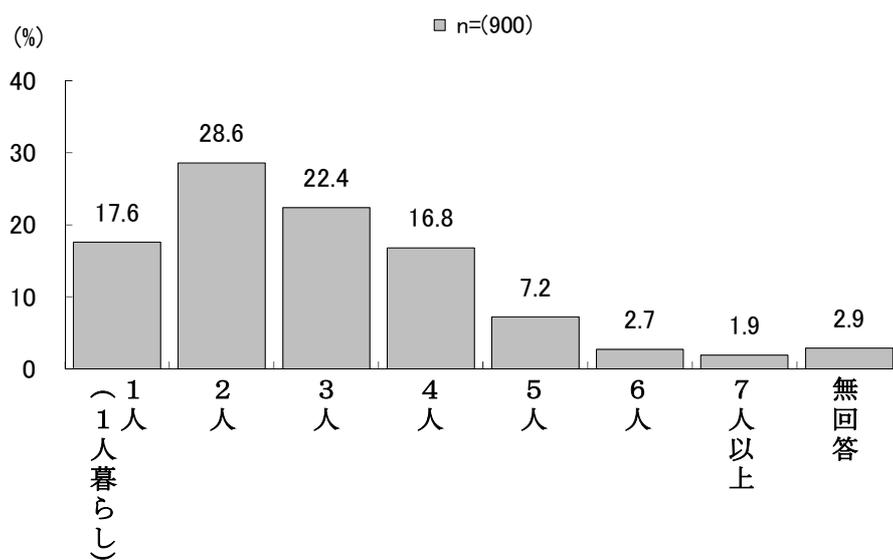
F 2 年齢



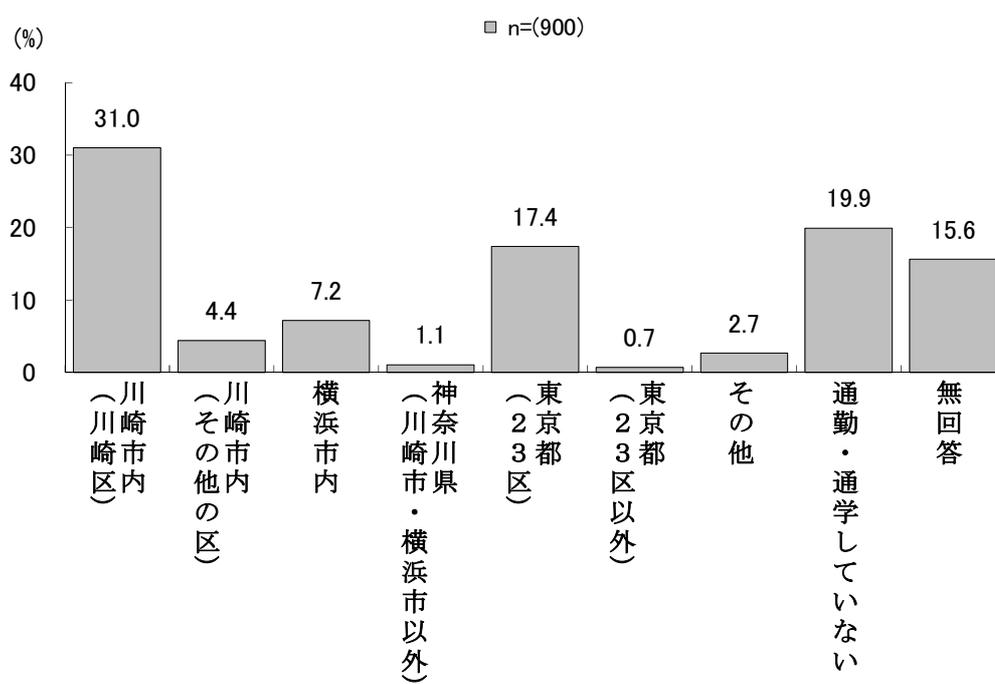
F 3 職業



F 4 同居人数



F 5 勤務先・通学先



## 第3章 調査結果の詳細



# 1 住みやすさについて

## (1) 居住年数

問1 あなたは川崎区に住んで何年になりますか。(〇は1つ)

**全 体** 「20年以上」(58.2%)が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」(16.6%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると「20年以上」は、平成23年度(65.4%)、平成25年度(65.7%)が6割台半ばであるのに対し、今年度では5割台後半と低くなっている。(図1-1-1)

**性 別** 「3年未満」は、「男性」(9.8%)が「女性」(5.9%)より3.9ポイント高くなっている。(図1-1-2)

**性年代別** 年代が高くなるにつれて居住年数は長くなる傾向にあり、「20年以上」は、「女性70代以上」(87.6%)、「男性70代以上」(82.7%)、「女性60代」(81.4%)で8割を超えている。(図1-1-2)

図1-1-1 居住年数

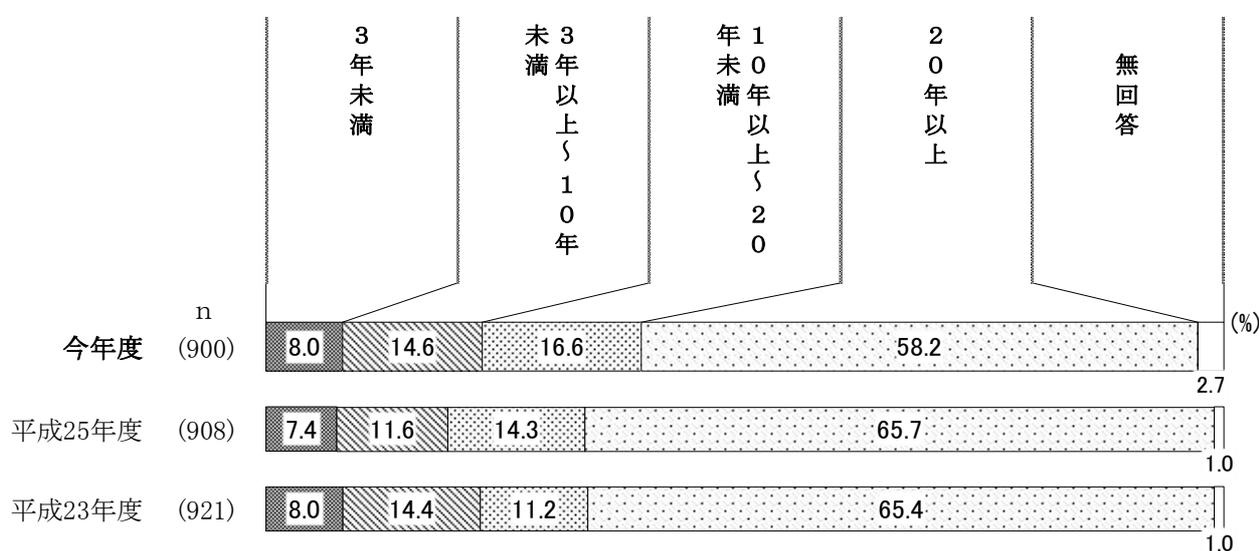
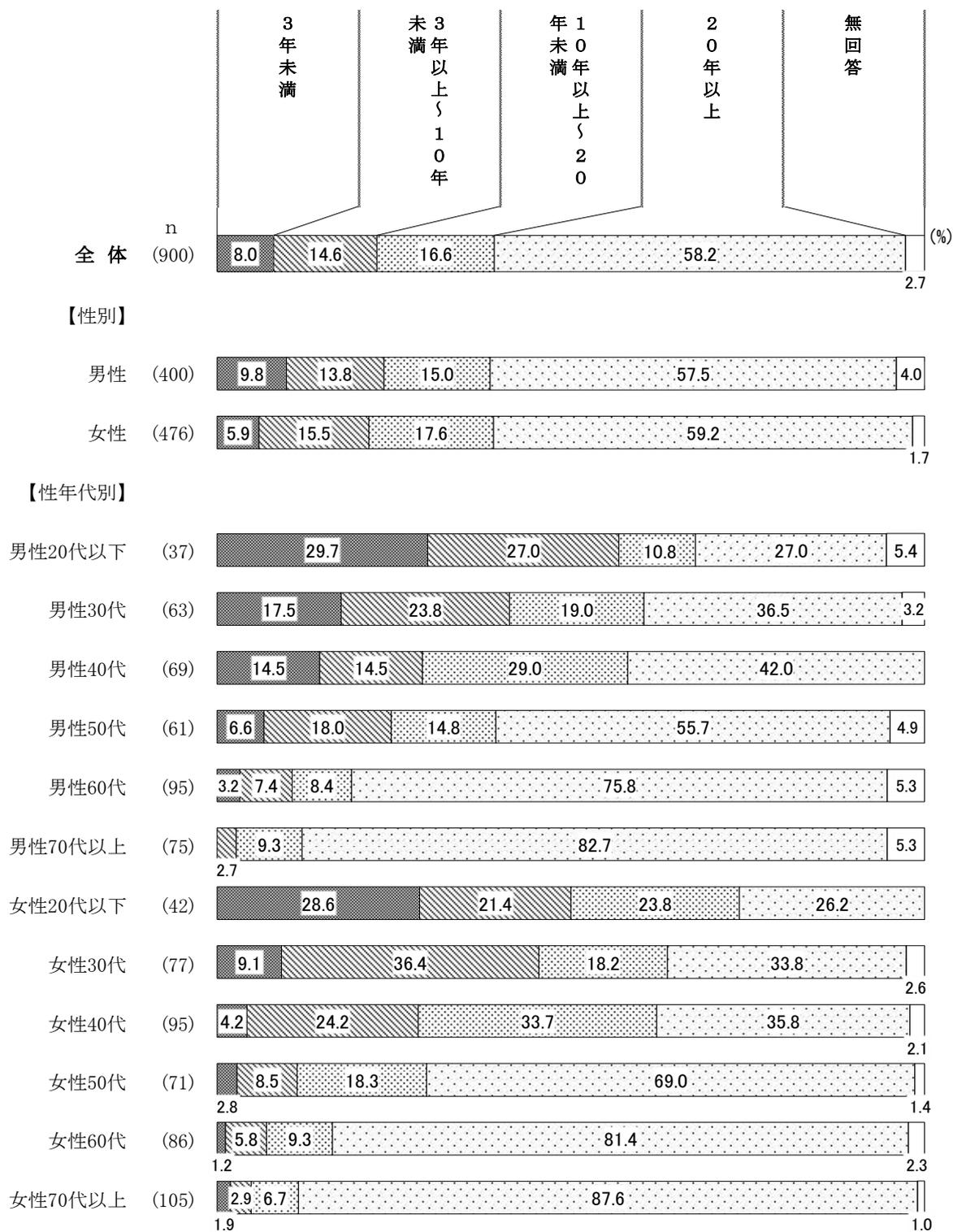


図1-1-2 居住年数 <性別・性年代別>



(2) 川崎区の住みやすさ

問2 あなたにとって、川崎区はどの程度住みやすいですか。(〇は1つ)

**全 体** 「どちらかといえば住みやすい」(55.8%)が最も高く、次いで「とても住みやすい」(28.9%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると「どちらかといえば住みやすい」が減少傾向にあり、平成23年度(61.1%)に対し、今年度では5.3ポイント低くなっている。(図1-2-1)

**性 別** 性別では特に大きな違いは見られない。(図1-2-2)

**性年代別** 「とても住みやすい」では、「女性60代」(39.5%)が最も高く、次いで「女性50代」(38.0%)と続いている。「どちらかといえば住みやすい」では、「女性30代」(68.8%)が最も高くなっている。(図1-2-2)

図1-2-1 川崎区の住みやすさ

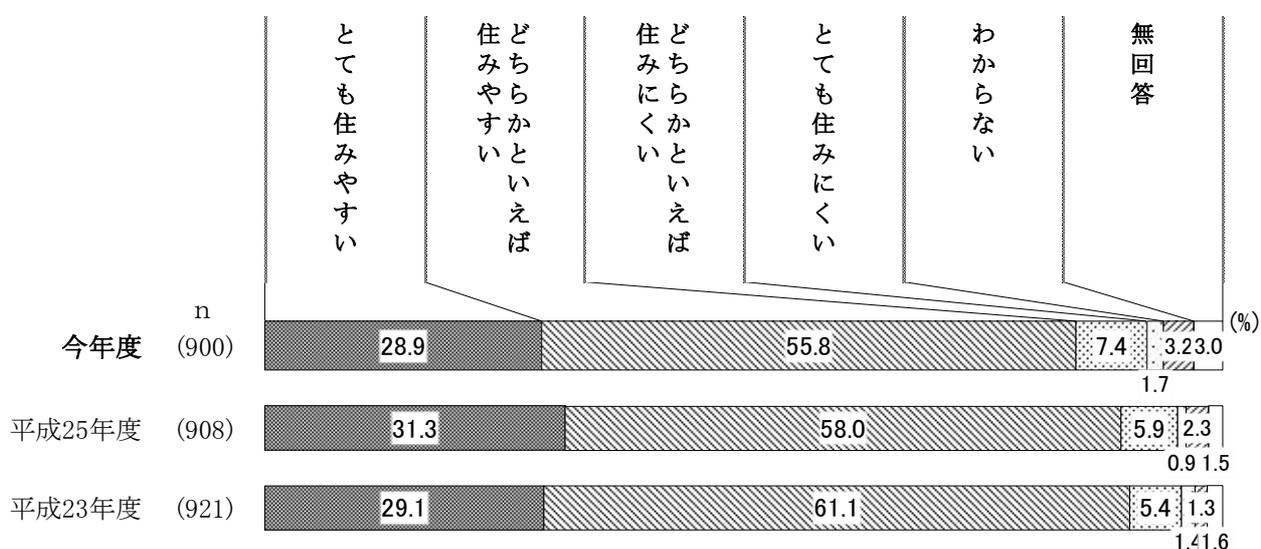
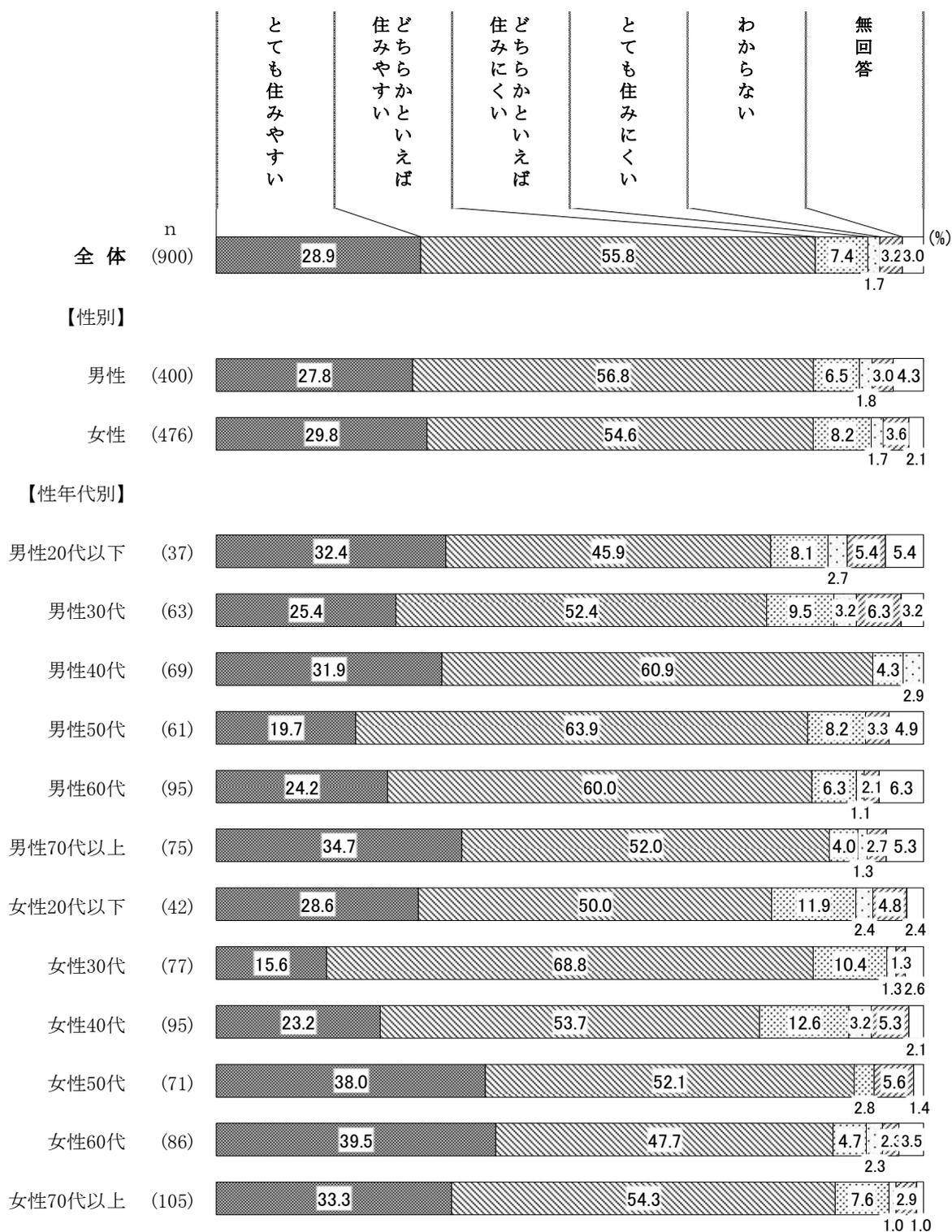


図1-2-2 川崎区の住みやすさ <性別・性年代別>



## (3) 川崎市について良いと思うもの

問3-1 次の表にあげる項目で、川崎市について良いと思うものを選んでください。(当てはまるもの全てに○)

- 全 体** 「買い物、病院などの日常生活の利便性」(83.9%)が最も高く、次いで「交通の利便性」(83.3%)、「緑や公園などの自然環境」(36.0%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると「緑や公園などの自然環境」(今年度：36.0%、平成25年度：41.7%、平成23年度：45.5%)、「教育・文化環境」(今年度：35.0%、平成25年度：38.1%、平成23年度：42.9%)など、ほとんどの項目で減少傾向となっている。(図1-3-1)
- 性 別** 「街の美化」では、「男性」(28.0%)が「女性」(24.6%)より3.4ポイント高くなっている。一方、「子育て環境」では、「女性」(34.2%)が「男性」(28.5%)より5.7ポイント高くなっている。(図1-3-2)
- 性年代別** 「買い物、病院などの日常生活の利便性」では、「男性20代以下」(91.9%)、「男性30代」(92.1%)が9割を超えて高くなっている。(図1-3-2)
- 居住年数別** 「治安や風紀」(3年未満：9.7%、3年以上～10年未満：9.9%、10年以上～20年未満：16.1%、20年以上：28.2%)では、居住年数が長くなるにつれ高くなる傾向がある。(図1-3-3)
- 川崎区の住みやすさ別** すべての項目で「住みやすい計」の方が「住みにくい計」よりも高くなっている。特に「買い物、病院などの日常生活の利便性」(住みやすい計：88.7%、住みにくい計：63.4%)では、25.3ポイント差となっている。(図1-3-3)
- 定住意向別** すべての項目で「川崎区内に住み続けたい」が最も高く、「市外に転居したい」が最も低くなっている。特に「教育・文化環境」(川崎区内に住み続けたい：40.4%、市外に転居したい：15.8%)では、24.6ポイント差となっている。(図1-3-3)

図1-3-1 川崎区について良いと思うもの

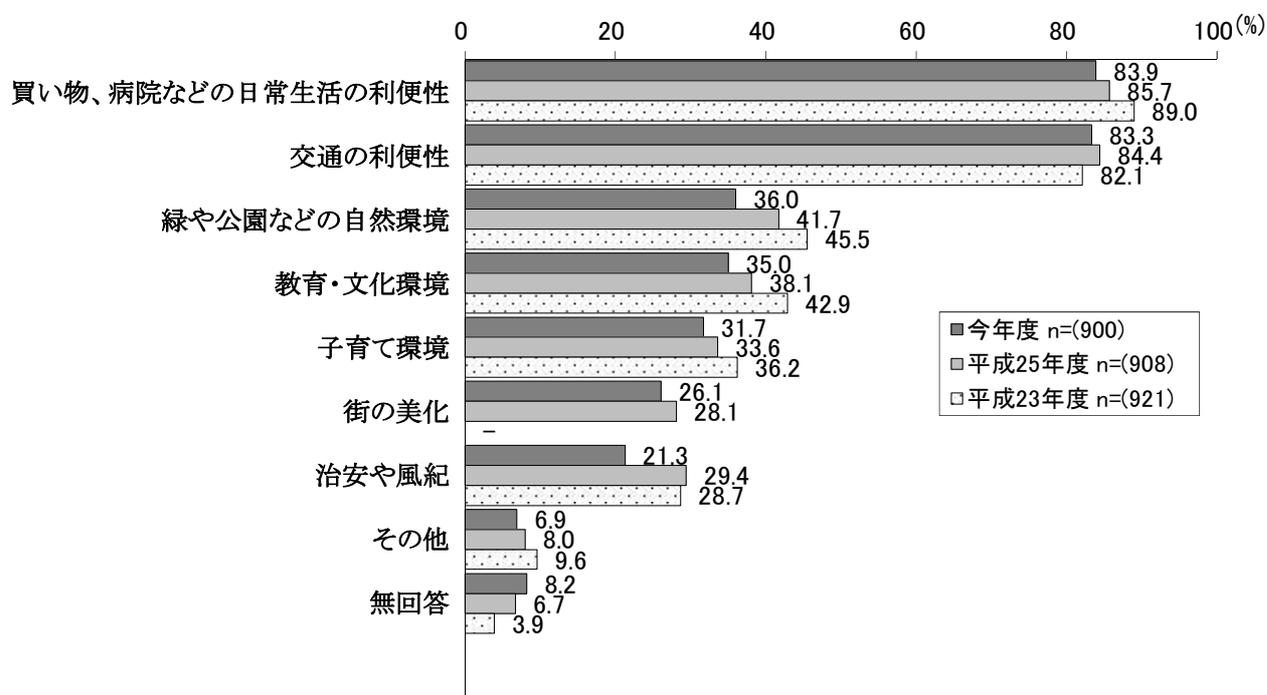


図1-3-2 川崎区について良いと思うもの <性別・性年代別>

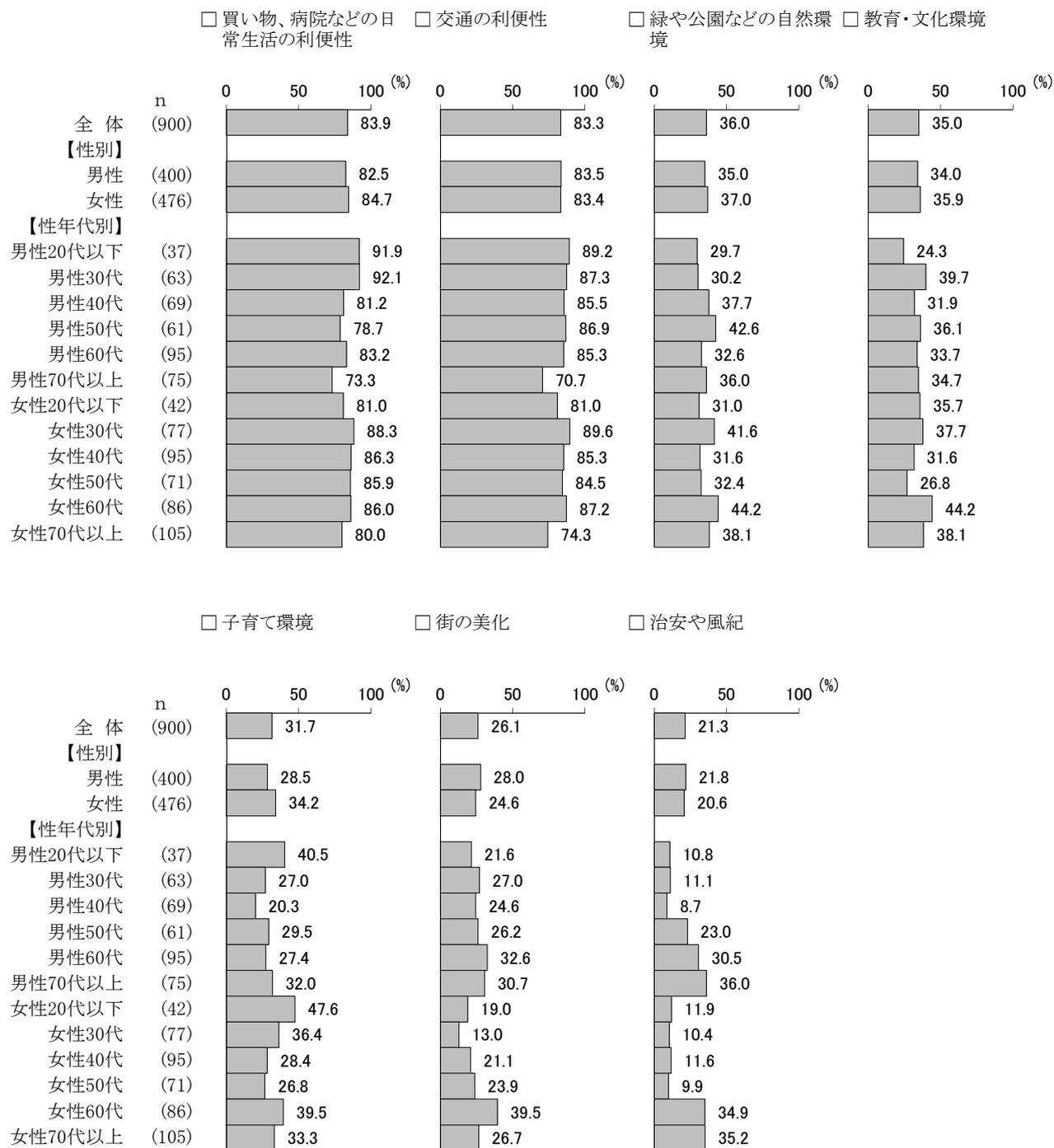
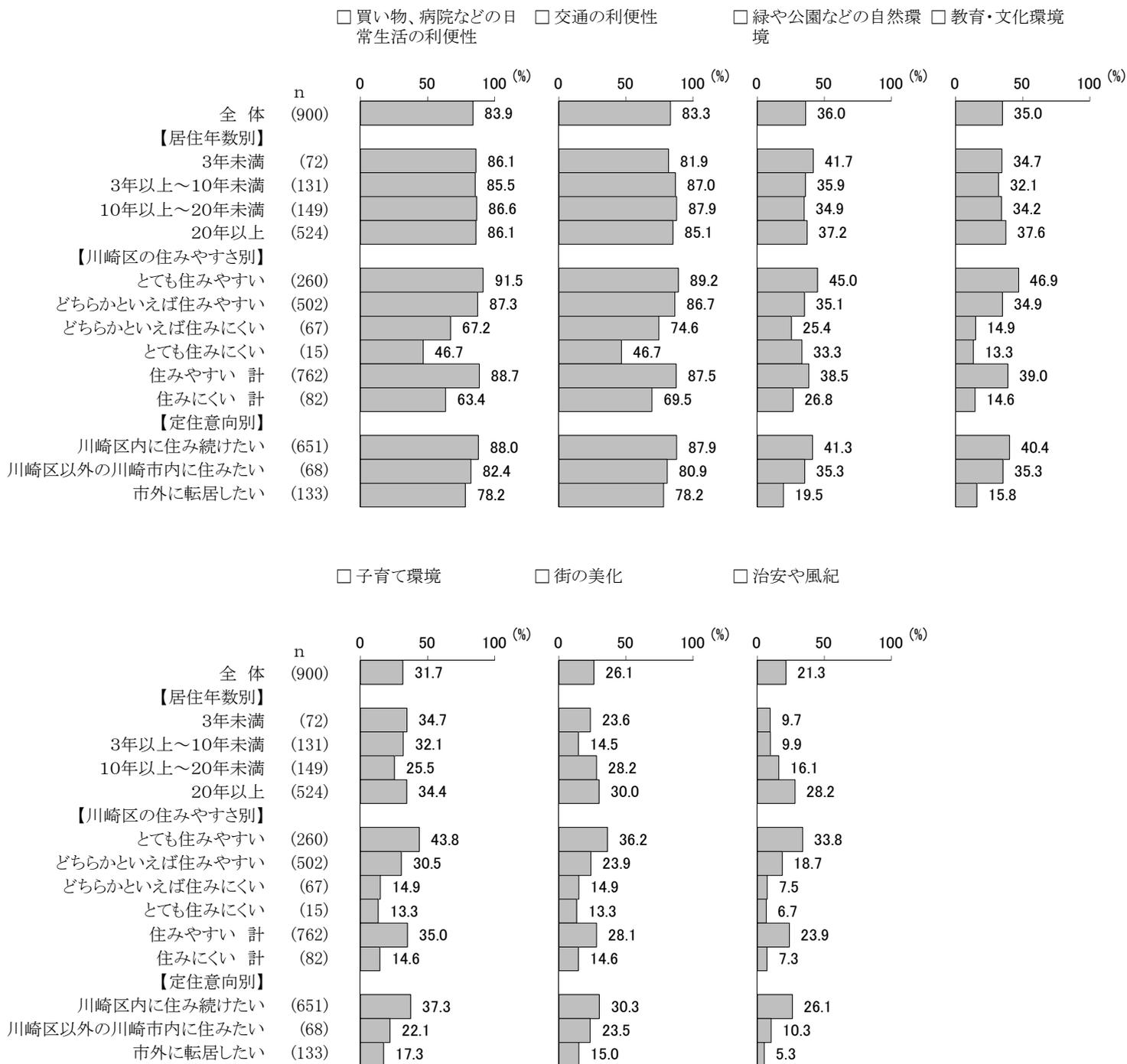


図1-3-3 川崎区について良いと思うもの

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



## (4) 川崎区について良くないと思うもの

問3-2 次の表にあげる項目で、川崎区について良くないと思うものを選んでください。  
(当てはまるもの全てに○)

- 全 体** 「治安や風紀」(59.4%)が最も高く、次いで「街の美化」(46.6%)、「緑や公園などの自然環境」(37.2%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると「治安や風紀」(今年度:59.4%、平成25年度:50.6%)など、すべての項目で平成25年度より高くなっている。(図1-4-1)
- 性 別** 「子育て環境」と「緑や公園などの自然環境」は「男性」のほうが「女性」よりも高いが、それ以外の項目は「女性」のほうが高くなっており、特に「治安や風紀」では、「女性」(63.4%)が「男性」(55.0%)より8.4ポイント高くなっている。(図1-4-2)
- 性年代別** 全体的に年代が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあり、「治安や風紀」では、最も高い「女性20代以下」(85.7%)と最も低い「男性70代以上」(24.0%)は61.7ポイント差となっている。(図1-4-2)
- 居住年数別** 「治安や風紀」、「美化」では、居住年数が長くなるにつれて割合が低くなる傾向にあり、特に「治安や風紀」では、「3年未満」(83.3%)と「20年以上」(50.6%)は32.7ポイント差となっている。(図1-4-3)
- 川崎区の住みやすさ別** すべての項目で「住みにくい計」の方が「住みやすい計」よりも10ポイント以上高くなっている。特に「子育て環境」(住みやすい計:33.5%、住みにくい計:65.9%)では、32.4ポイント差となっている。(図1-4-3)
- 定住意向別** 全体的に「市外に転居したい」が最も高く、「川崎区内に住み続けたい」が最も低くなっている傾向にあり、特に「子育て環境」(川崎区内に住み続けたい:29.5%、市外に転居したい:64.7%)では、35.2ポイント差となっている。(図1-4-3)

図1-4-1 川崎区について良くないと思うもの

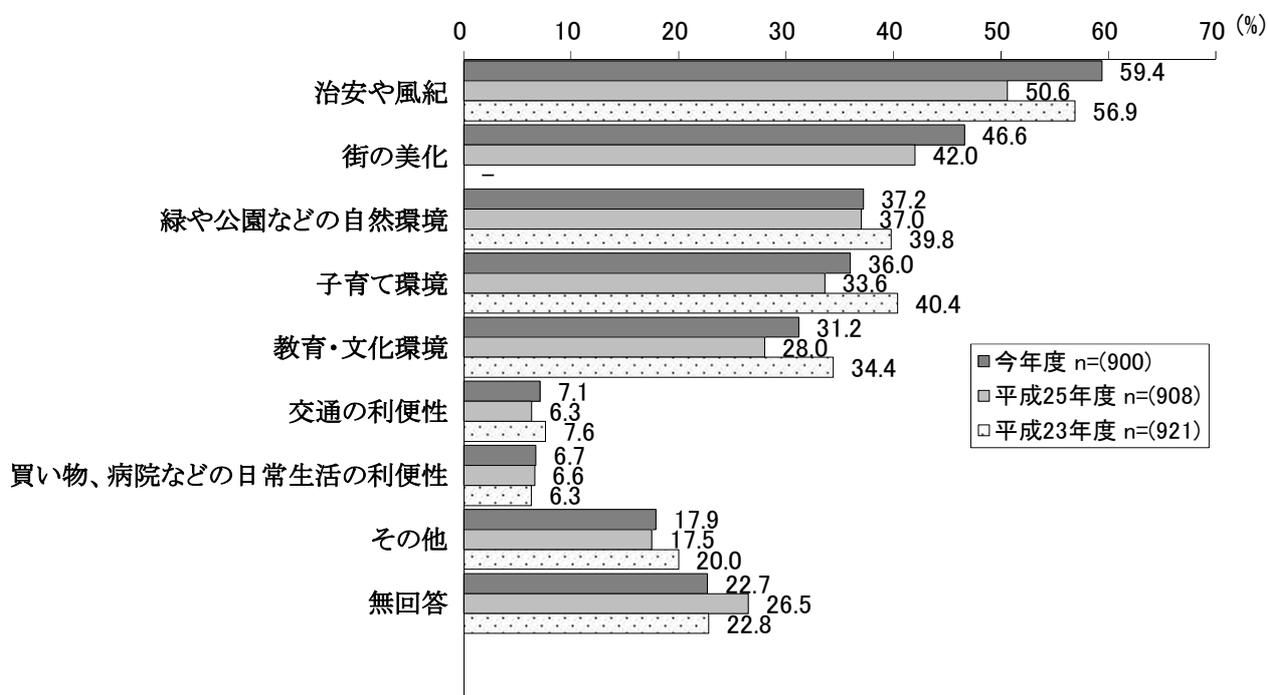


図1-4-2 川崎区について良くないと思うもの <性別・性年代別>

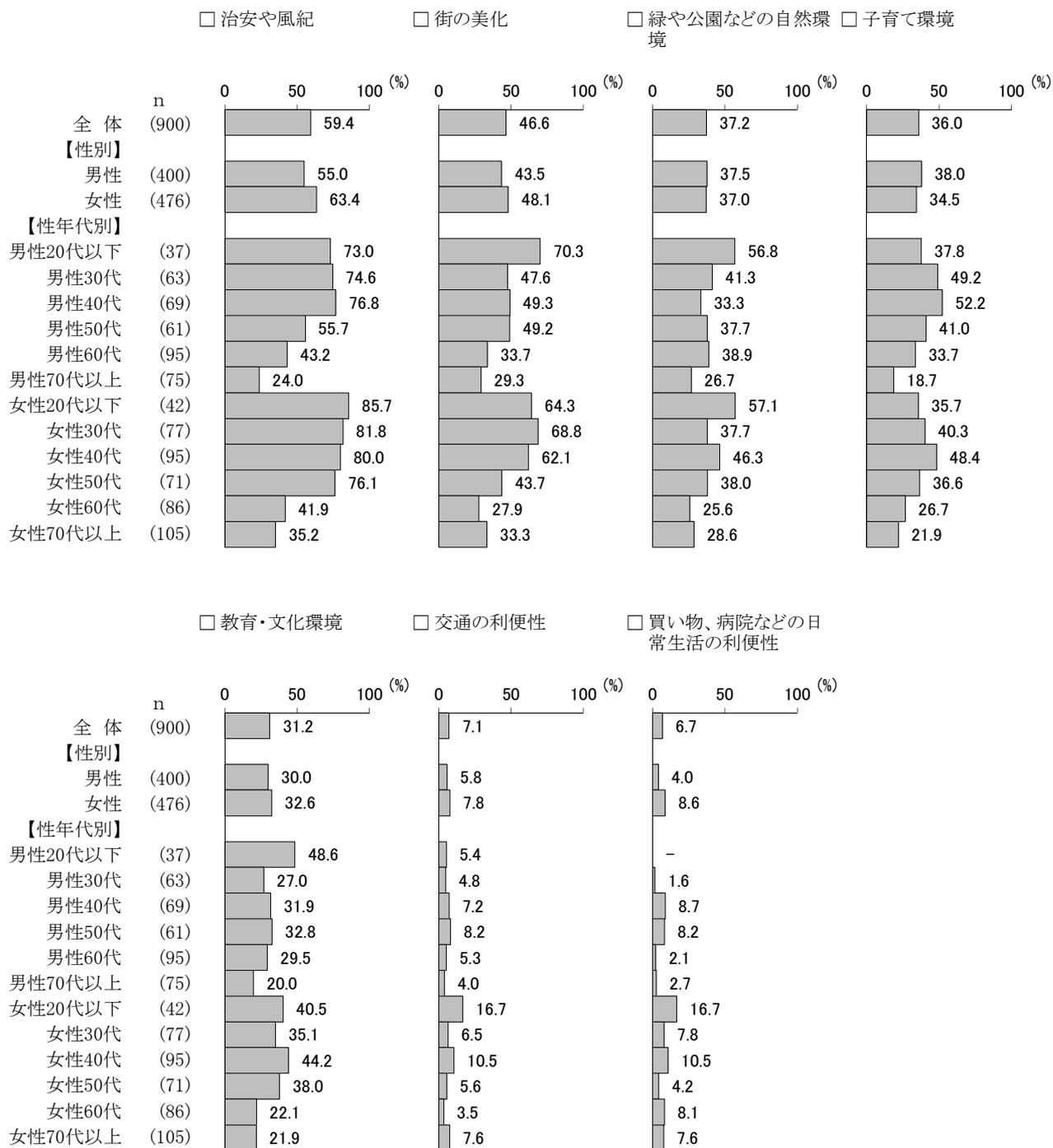
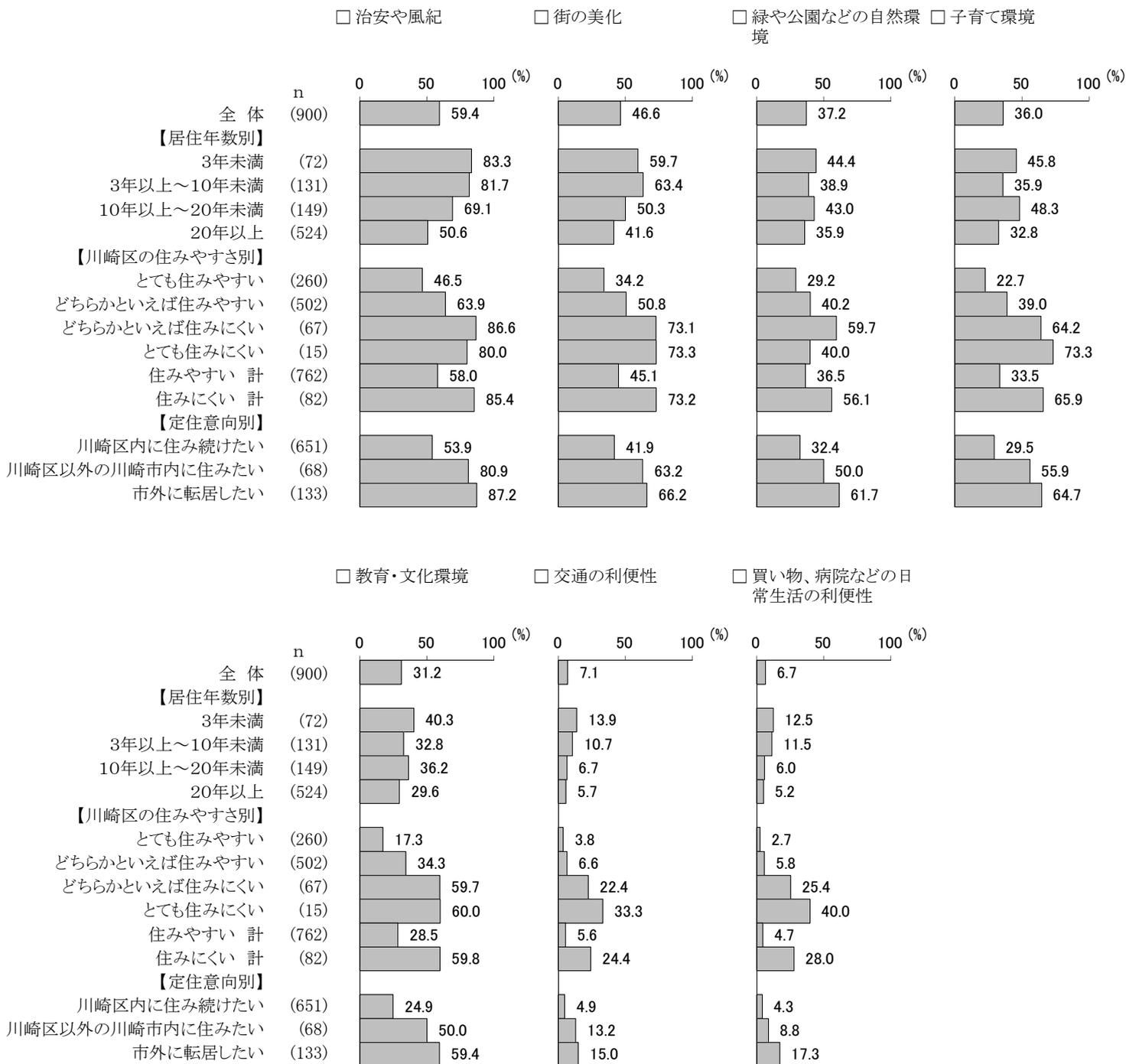


図1-4-3 川崎区について良くないと思うもの

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(5) 今後の定住意向

問4 あなたは川崎区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

**全 体** 「川崎区内に住み続けたい」(72.3%)が最も高く、次いで「市外に転居したい」(14.8%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると「川崎区内に住み続けたい」がわずかに減少傾向にある。(図1-5-1)

**性 別** 「川崎区内に住み続けたい」では、「男性」(75.3%)が「女性」(70.2%)より高くなっている一方、「川崎区外の川崎市内に住みたい」(男性:6.5%、女性:7.8%)、「市外に転居したい」(男性:12.8%、女性:16.8%)では「女性」の方が「男性」より高くなっている。(図1-5-2)

**性年代別** 「川崎区内に住み続けたい」では、年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性70代以上」(84.0%)は8割を超えている。一方、「市外に転居したい」は、「男性」では「男性50代」(19.7%)が最も高くなっている。「女性」では、年代が低いほど割合が高くなる傾向にあり、「女性20代以下」(26.2%)、「女性30代」(26.0%)が2割台半ばと高くなっている。(図1-5-2)

図1-5-1 今後の定住意向

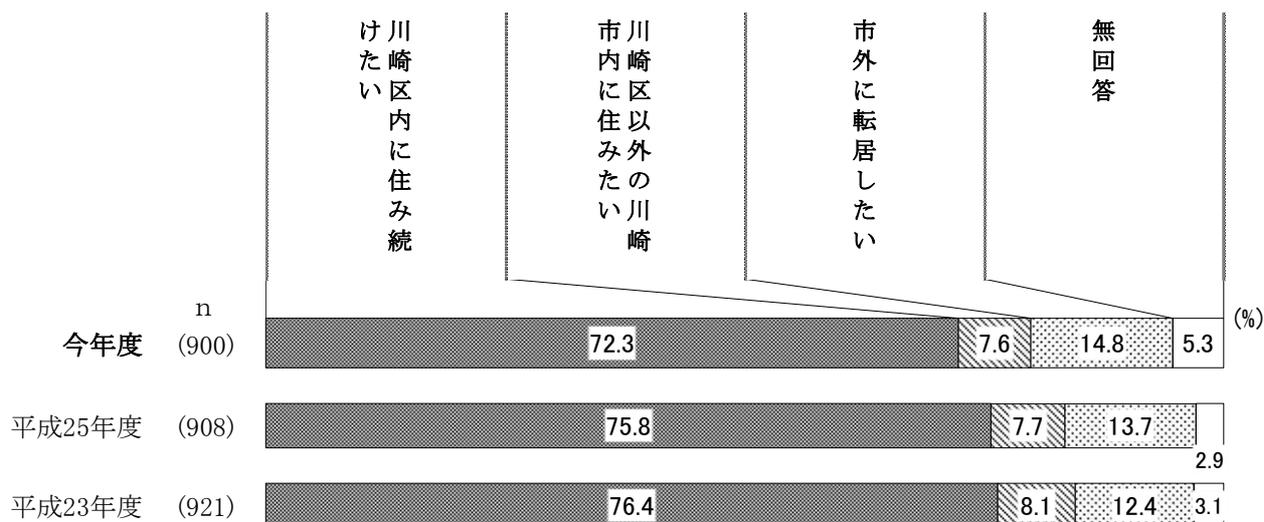
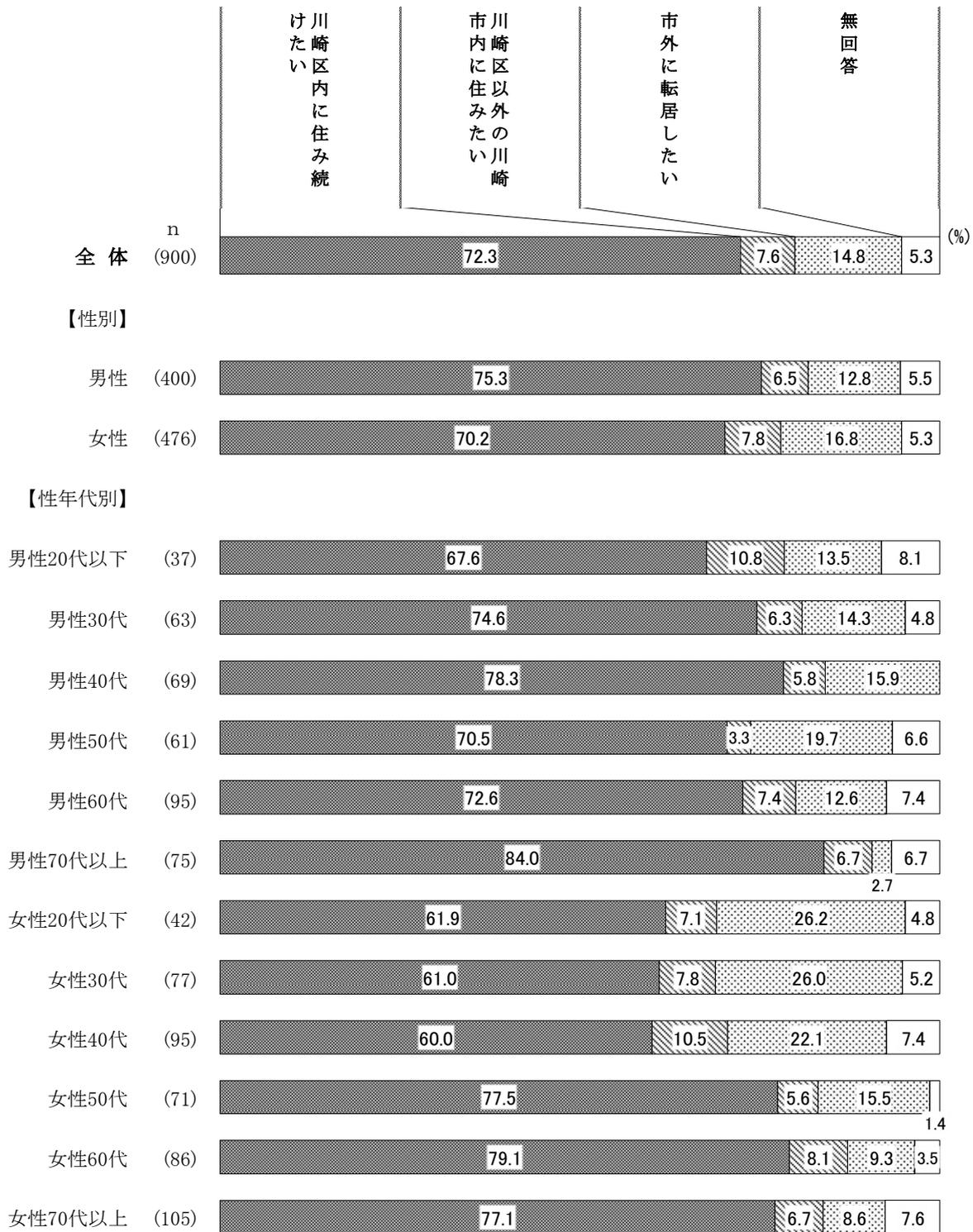


図1-5-2 今後の定住意向 <性別・性年代別>



## 2 川崎区役所の広報について

### (1) 川崎区からの情報の入手手段

問5 あなたは、川崎区からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。(当てはまるもの全てに○)

- 全 体** 「市政だより」(68.0%)が最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」(41.3%)、「新聞、タウン紙などの報道」(35.3%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると「町内会・自治会の回覧板」(今年度：41.3%、平成25年度：45.2%、平成23年度：53.0%)は平成25年度とは大きな差はないが、平成23年度より約12ポイント低くなっている。(図2-1-1)
- 性 別** 全体的に「女性」の方が「男性」より高くなっており、特に「町内会・自治会の回覧板」では、「女性」(47.9%)が「男性」(35.0%)より12.9ポイント高くなっている。一方、「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」では、「男性」(17.5%)の方が「女性」(9.5%)より高くなっている。(図2-1-2)
- 性年代別** 全体的に年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に「市政だより」では、「女性20代以下」(26.2%)と「女性60代」(86.0%)が59.8ポイント差となっている。一方、「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」では、年代が低いほど割合が高くなる傾向にあり、「男性20代以下」(51.4%)が5割を超えている。(図2-1-2)
- 居住年数別** 「市政だより」、「町内会・自治会の回覧板」、「新聞、タウン紙などの報道」では居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっており、特に「町内会・自治会の回覧板」では、「3年未満」(15.3%)と「20年以上」(53.1%)は37.8ポイント差となっている。(図2-1-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「区(市)のホームページ」、「区の施設や掲示板にあるポスターやパンフレット類」、「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」以外は、「住みやすい計」の方が「住みにくい計」よりも高くなっており、特に「新聞、タウン紙などの報道」(住みやすい計：36.9%、住みにくい計：22.0%)では14.9ポイント差となっている。(図2-1-3)
- 定住意向別** 全体的に「市外に転居したい」の割合が最も低くなっている傾向にあるが、「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」では、「市外に転居したい」(17.3%)が最も高くなっている。(図2-1-3)

図2-1-1 川崎区からの情報の入手手段

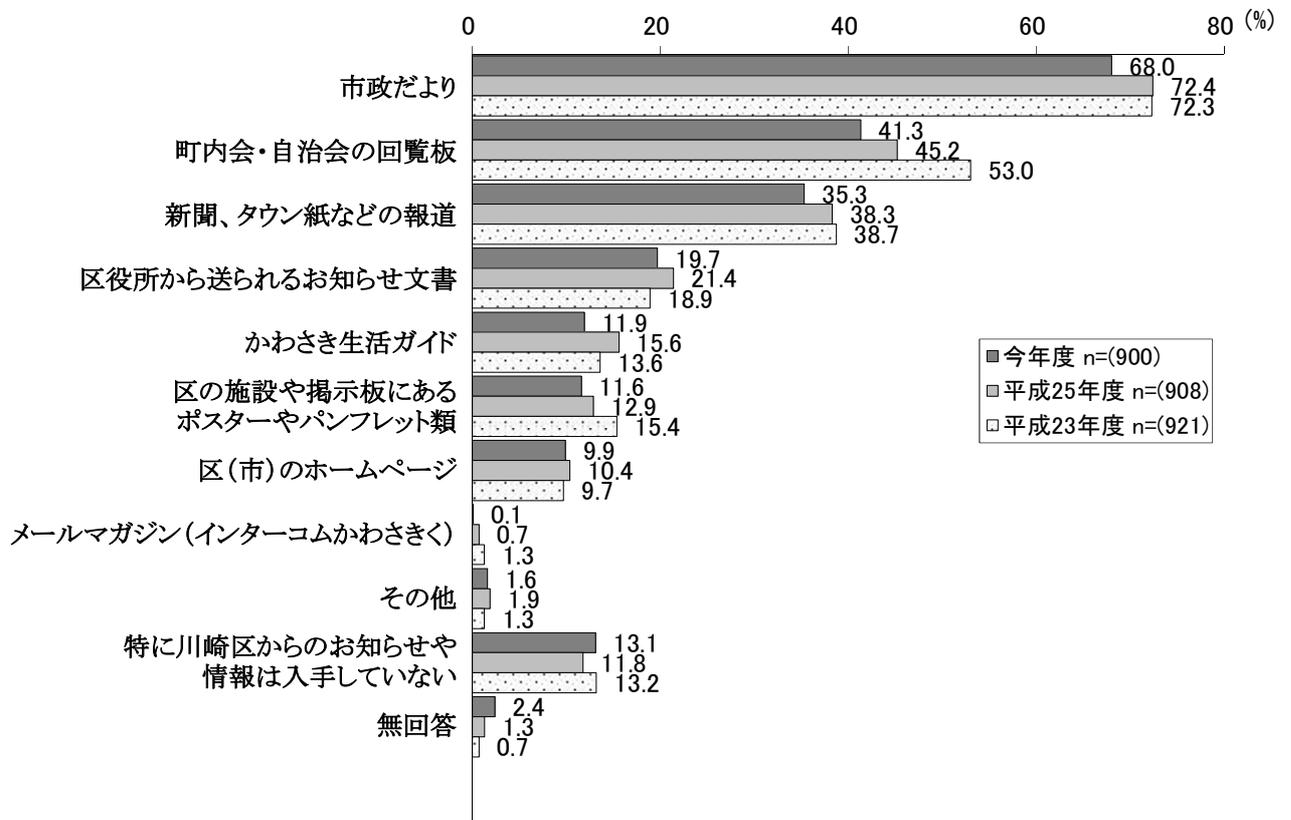


図2-1-2 川崎区からの情報の入手手段 <性別・性年代別>

(上位7項目+「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」)

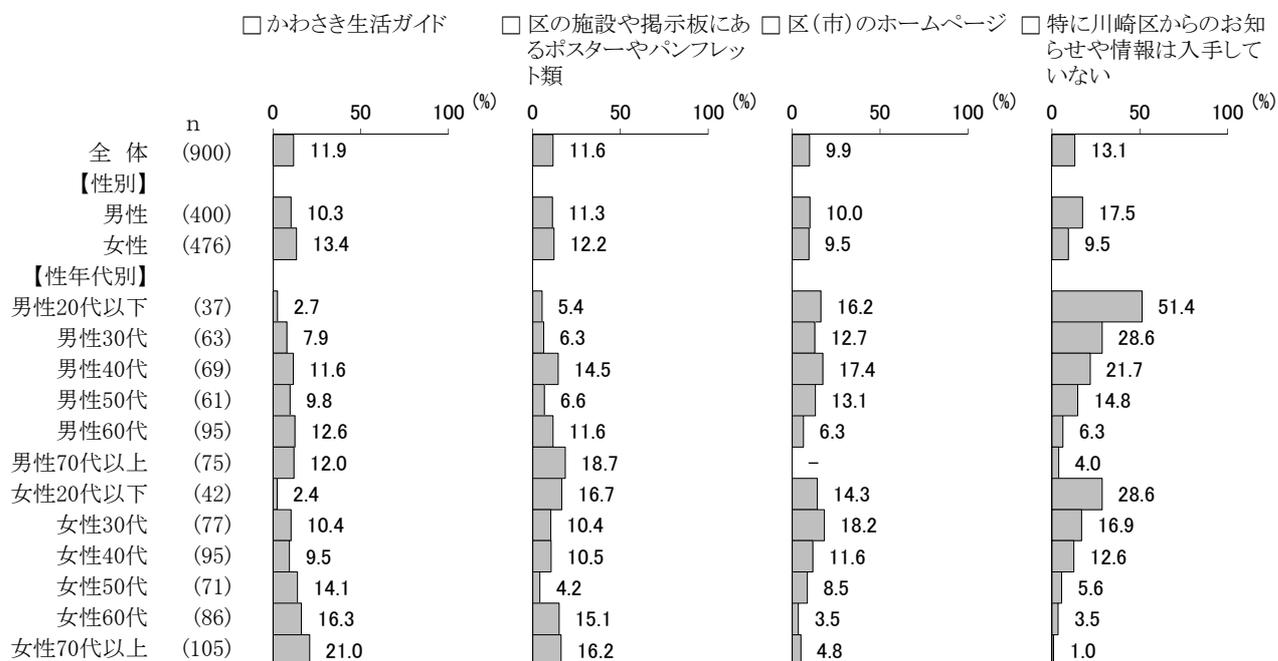
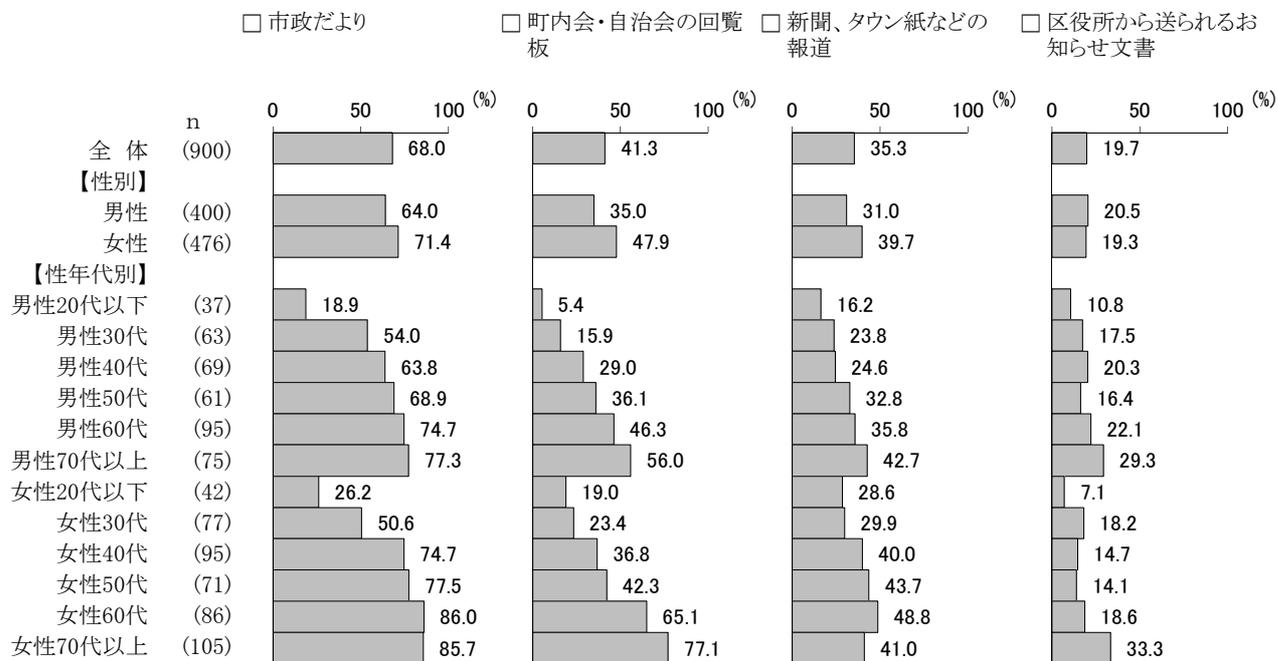
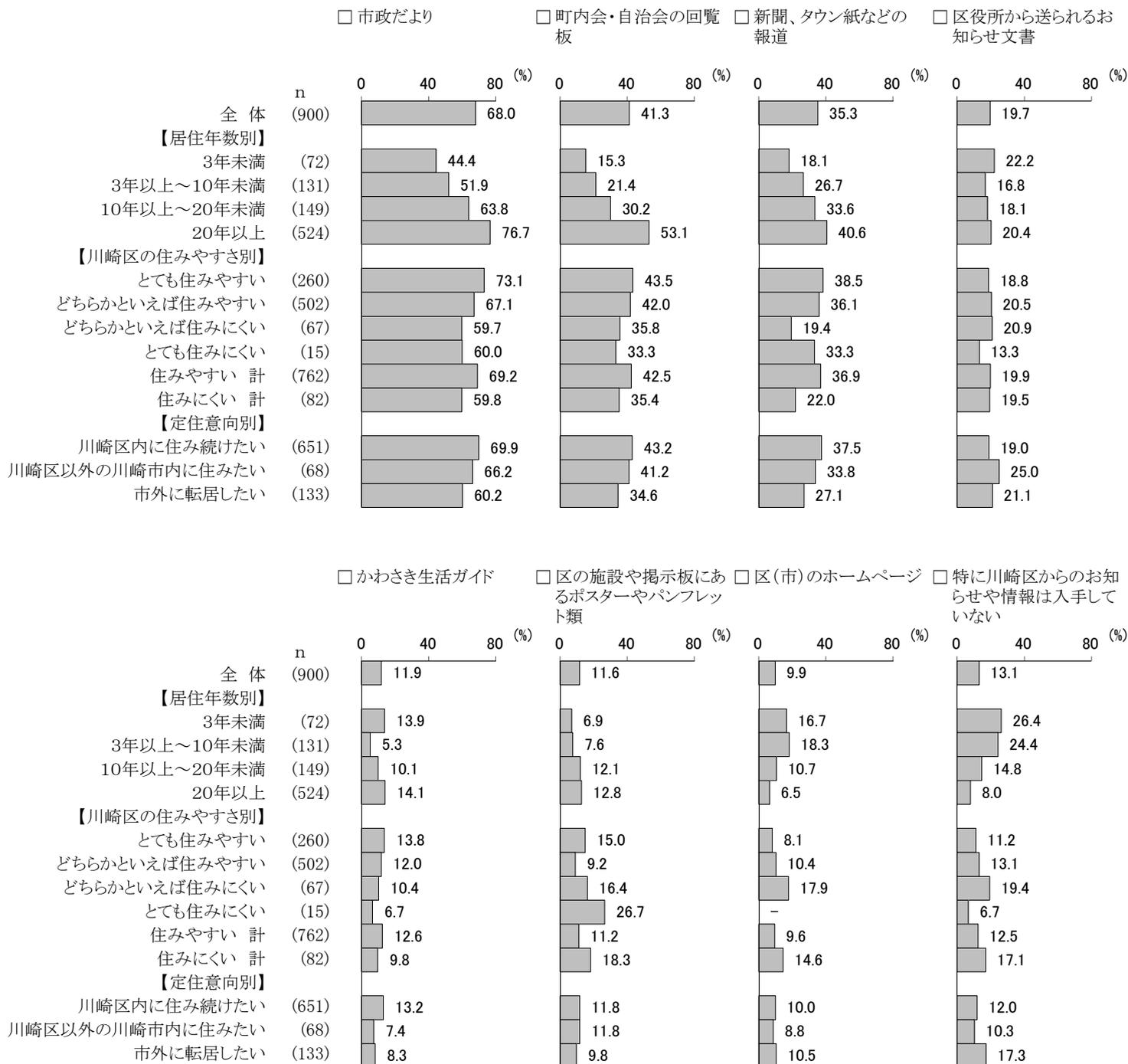


図2-1-3 川崎区からの情報の入手手段

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位7項目+「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」)



## (2) 「市政だより」について充実して欲しい情報

問6 平成25年度に実施した川崎区区民アンケートでは、区からのお知らせや情報を「市政だより」から入手している方が、約7割と最も多い結果となりました。

月に1回定期的に発行している「市政だより」の川崎区版について、どのような情報を充実して欲しいと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

- 全 体** 「防災関係情報」(52.7%)が最も高く、次いで「健康・福祉関係情報」(50.8%)、「イベント情報」(38.1%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると「子育て情報」、「教育・学校関係情報」は今年度の方が平成25年度より高くなっているが、それ以外の項目は減少傾向となっており、特に「防災関係情報」(今年度：52.7%、平成25年度：59.5%、平成23年度：63.4%)、「健康・福祉関係情報」(今年度：50.8%、平成25年度：56.9%、平成23年度：62.2%)では平成23年度から10ポイント以上低くなっている。(図2-2-1)
- 性 別** すべての項目で女性の方が男性より高くなっており、特に「区役所内の窓口情報」では「女性」(33.0%)が「男性」(20.8%)より12.2ポイント高くなっている。(図2-2-2)
- 性年代別** 「防災関係情報」、「健康・福祉関係情報」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「女性50代」から「女性70代以上」が6割前後となっている。「子育て情報」、「教育・学校関係情報」では、「女性30代」が最も高くなっている。(図2-2-2)
- 居住年数別** 「防災関係情報」、「健康・福祉関係情報」では、居住年数が長いほど割合が高く、「防災関係情報」の「3年未満」(31.9%)と「20年以上」(58.8%)では、26.9ポイント差となっている。(図2-2-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「健康・福祉関係情報」(住みやすい計：52.1%、住みにくい計：41.5%)、「歴史・文化・スポーツ関係情報」(住みやすい計：29.8%、住みにくい計：17.1%)では、「住みやすい計」が「住みにくい計」より10ポイント以上高くなっている。(図2-2-3)
- 定住意向別** 「健康・福祉関係情報」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(60.3%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(38.3%)とは22ポイント差となっている。(図2-2-3)

図2-2-1 「市政だより」について充実して欲しい情報

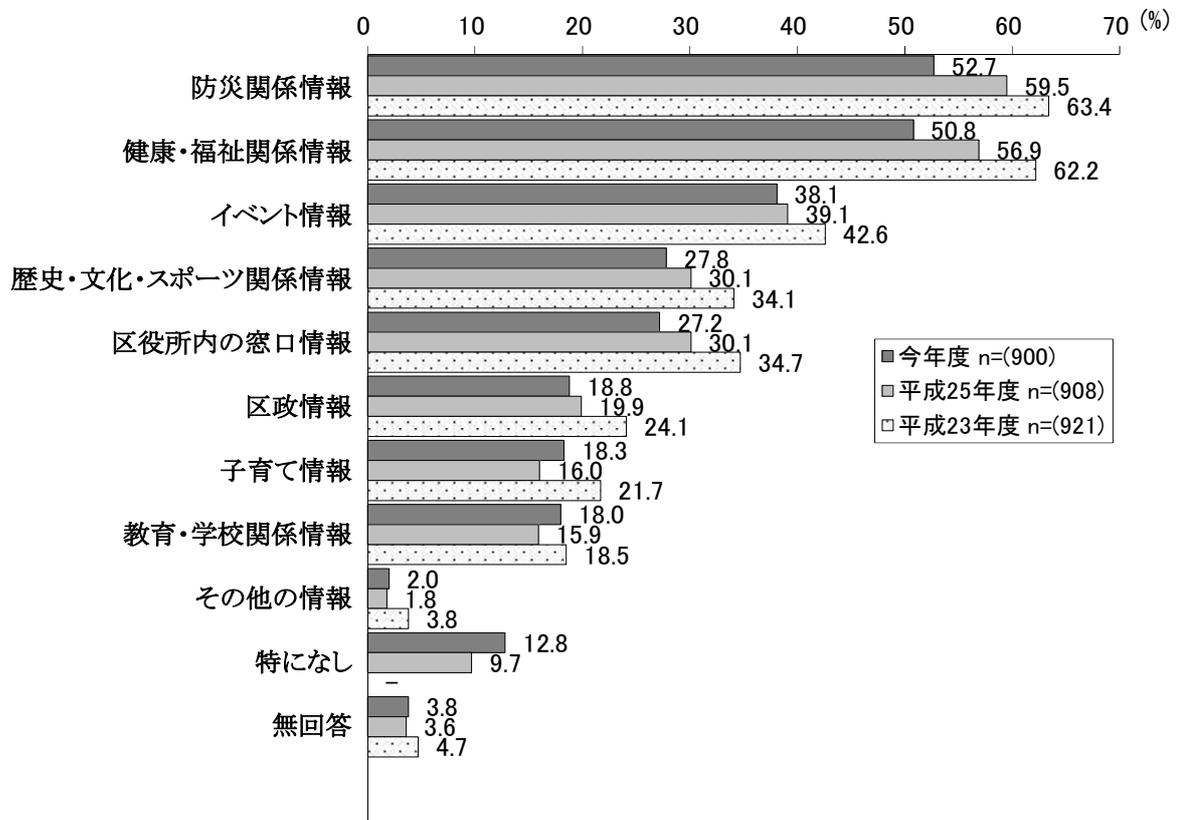


図2-2-2 「市政だより」について充実して欲しい情報 <性別・性年代別>

(上位8項目)

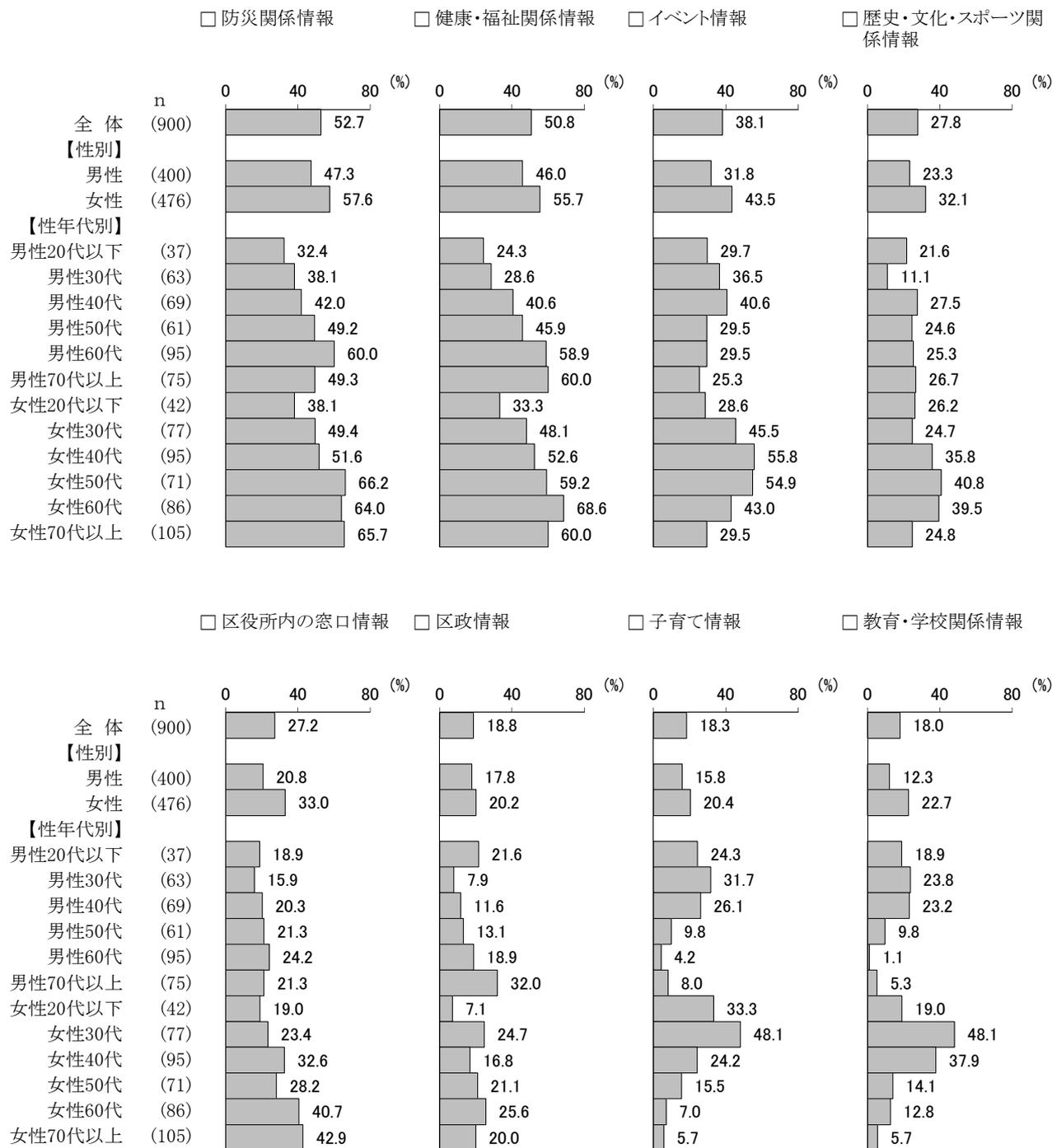
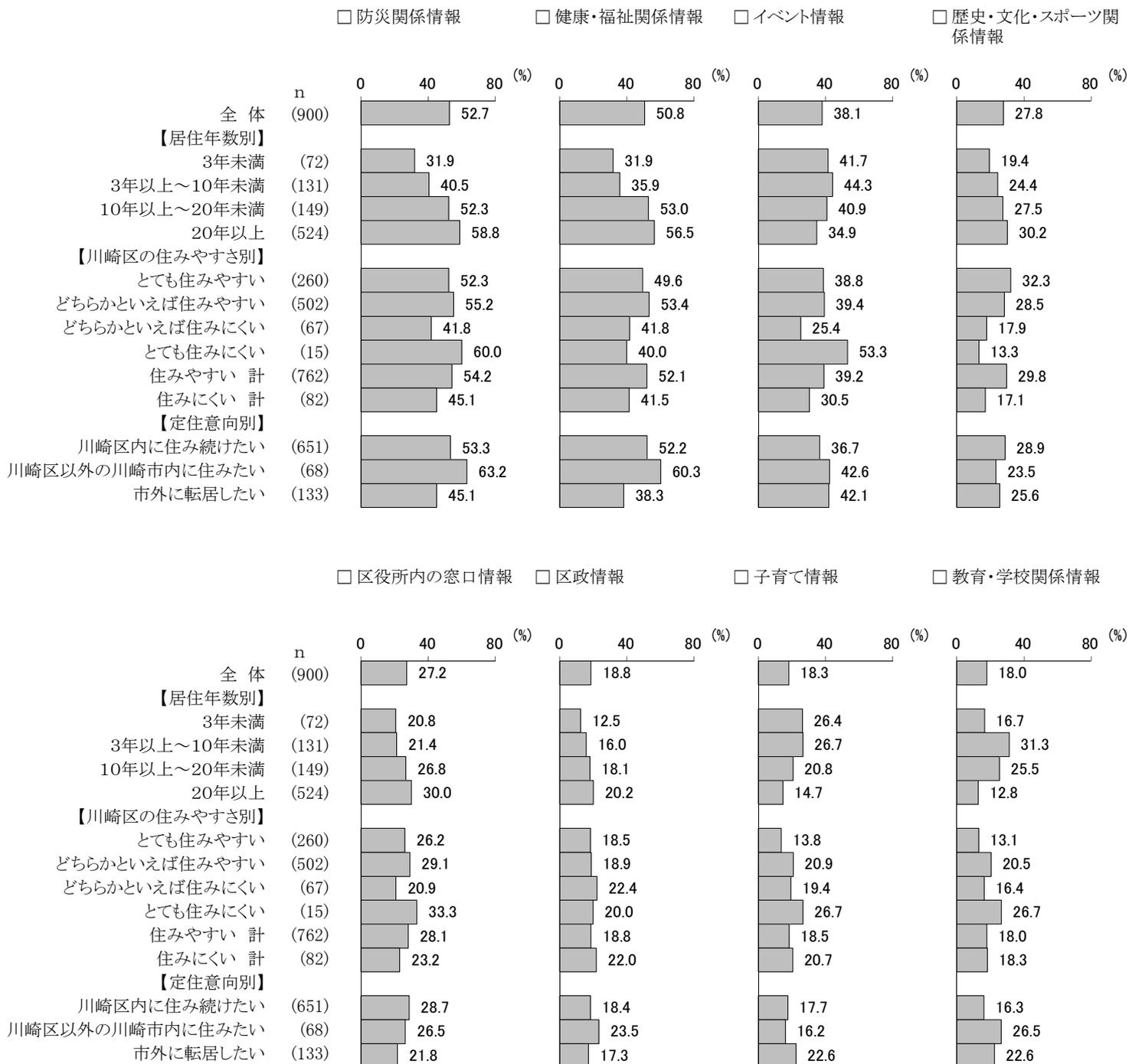


図2-2-3 「市政だより」について充実して欲しい情報  
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>  
 (上位8項目)



### 3 川崎区役所が行っている事業の要望について

#### (1) 今後、特に力を入れて欲しい事業

問7 川崎区役所が行っている事業で、今後、特に力を入れて欲しいとお考えのものはどれですか。(当てはまるもの全てに○)

- 全 体** 「防災に関する事業」(49.0%)が最も高く、次いで「防犯・防火に関する事業」(48.8%)、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(48.1%)と続いている。平成25年度と比較すると「子育てに関する事業」、「教育に関する事業」などは今年度の方が高くなっているが、ほとんどの項目は平成25年度よりも低くなっており、特に「防災に関する事業」(今年度：49.0%、平成25年度：57.4%)では8.4ポイント低くなっている。(図3-1-1)
- 性 別** 全体的に「女性」の方が「男性」より割合が高くなっており、特に「防災に関する事業」では、「女性」(54.0%)が「男性」(43.8%)より10.2ポイント高くなっている。(図3-1-2)
- 性年代別** 「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。また、「子育てに関する事業」では、「女性30代」(68.8%)が6割を超えている。(図3-1-2)
- 居住年数別** 「防災に関する事業」、「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。また、「子育てに関する事業」、「教育に関する事業」では、「3年以上～10年未満」で最も高くなっている。(図3-1-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「防災に関する事業」では、「住みやすい計」(50.8%)が「住みにくい計」(37.8%)より13ポイント、「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、「住みやすい計」(50.1%)が「住みにくい計」(37.8%)より12.3ポイント高くなっている。一方、「環境美化、地域緑化に関する事業」では、「住みにくい計」(50.0%)が「住みやすい計」(35.4%)よりも14.6ポイント高くなっている。(図3-1-3)
- 定住意向別** 「防犯・防火に関する事業」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(60.3%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(41.4%)より18.9ポイント高くなっている。(図3-1-3)

図3-1-1 今後、特に力を入れて欲しい事業

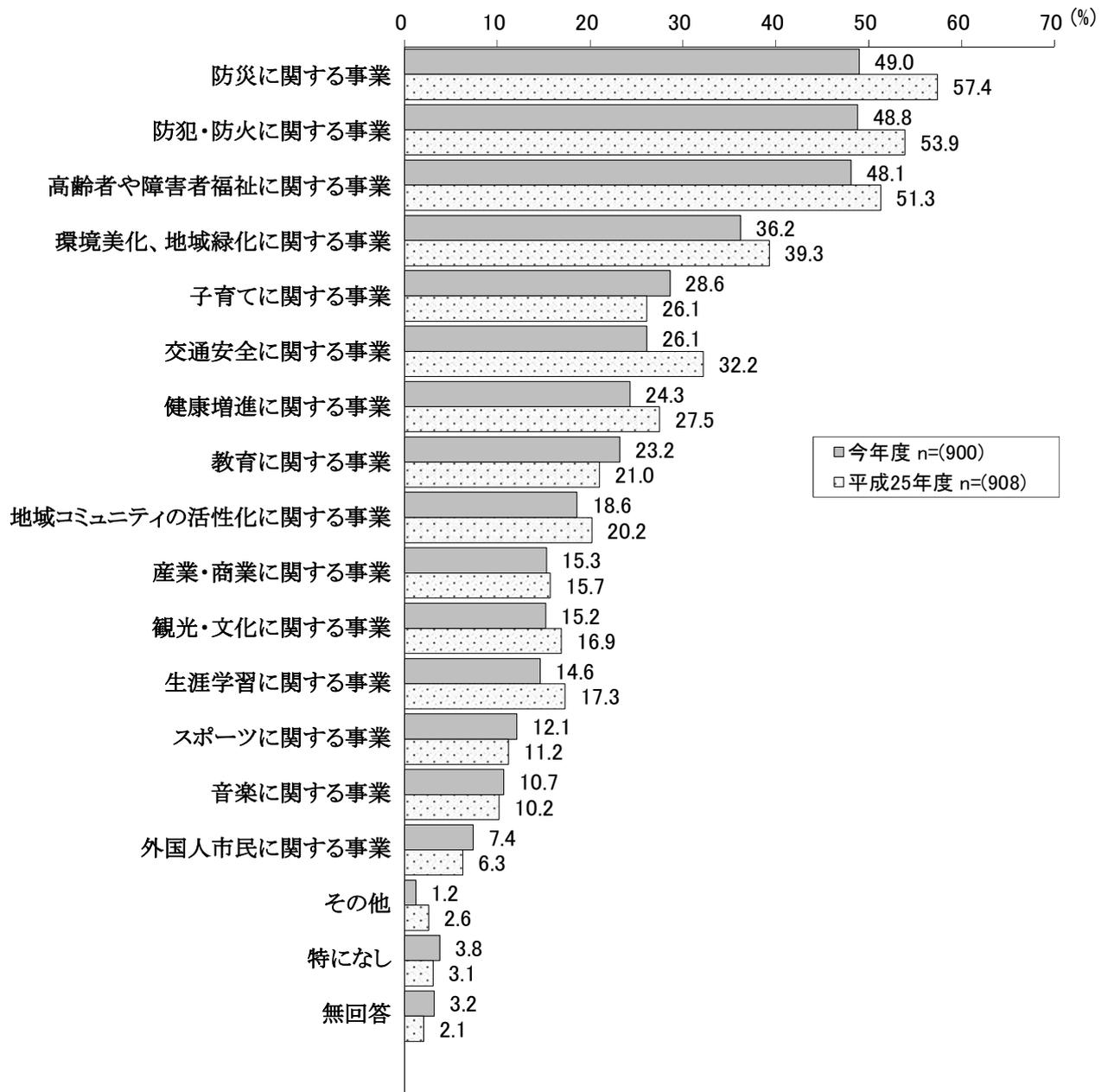


図3-1-2 今後、特に力を入れて欲しい事業 <性別・性年代別>

(上位8項目)

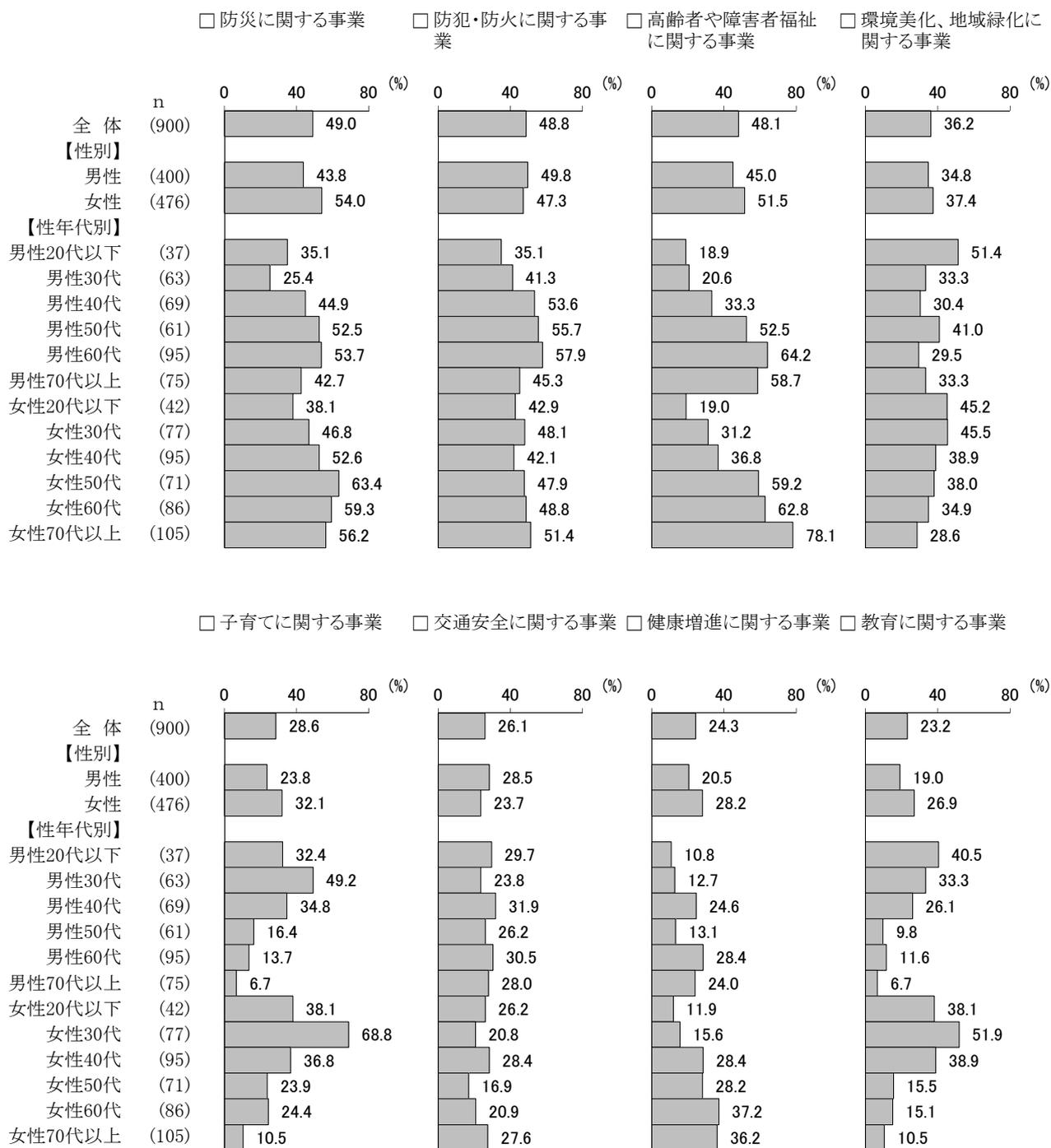
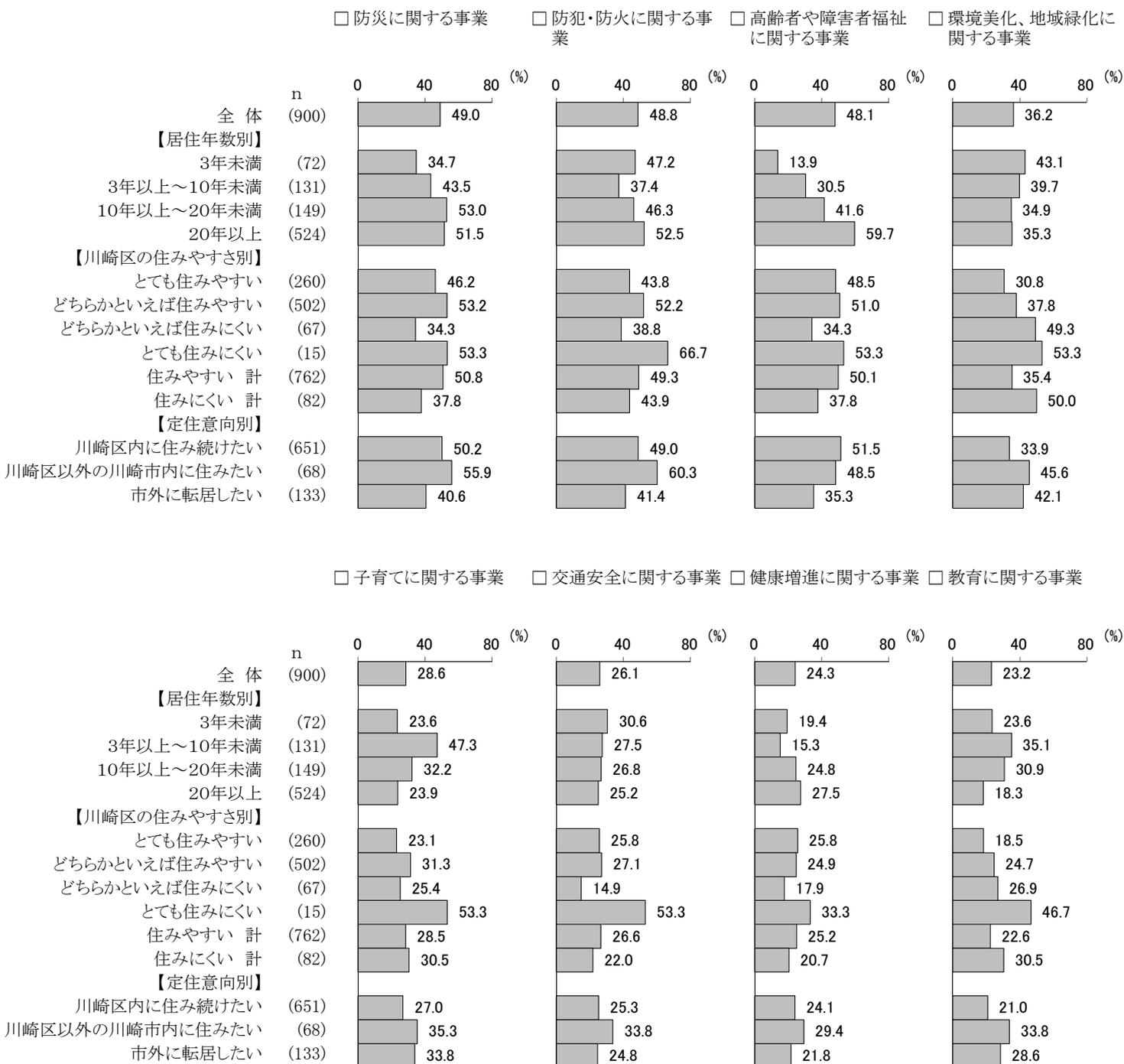


図3-1-3 今後、特に力を入れて欲しい事業  
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>  
 (上位8項目)



## 4 今後の防犯、防災、災害対策について

### (1) 地域住民団体等が防犯カメラを設置することについて

問8 地域住民団体等が防犯カメラを設置し、街頭や公園などを撮影・記録することについてどう思いますか。(○は1つ)

全 体 「設置には賛成である」(75.0%)が最も高く、次いで「どちらともいえない」(19.0%)と続いている。(図4-1-1)

性 別 性別では特に大きな違いは見られない。(図4-1-2)

性年代別 「設置には賛成である」では、「男性50代」(82.0%)、「女性60代」(82.6%)が8割を超えている。一方「どちらともいえない」では、「男性30代」(30.2%)、「女性20代以下」(28.6%)が高くなっている。(図4-1-2)

居住年数別 「設置には賛成である」では、居住年数が長くなるにつれて割合が低くなる傾向にある。一方、「どちらともいえない」では、「10年以上～20年未満」(23.5%)が2割を超えて最も高くなっている。(図4-1-3)

川崎区の住みやすさ別 「どちらともいえない」では、「住みやすい計」(19.6%)が、「住みにくい計(12.2%)」より7.4ポイント高くなっている。(図4-1-3)

定住意向別 定住意向別では特に大きな違いは見られない。(図4-1-3)

図4-1-1 地域住民団体等が防犯カメラを設置することについて

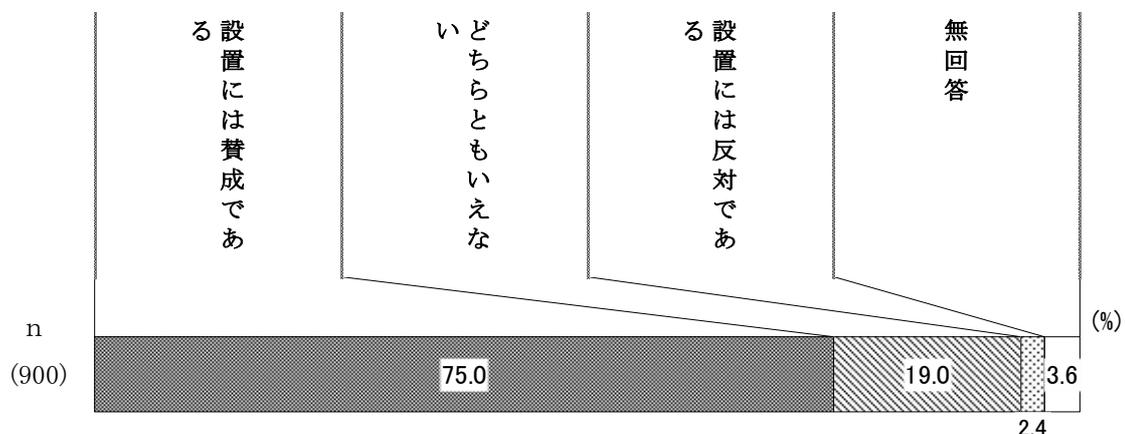


図4-1-2 地域住民団体等が防犯カメラを設置することについて <性別・性年代別>

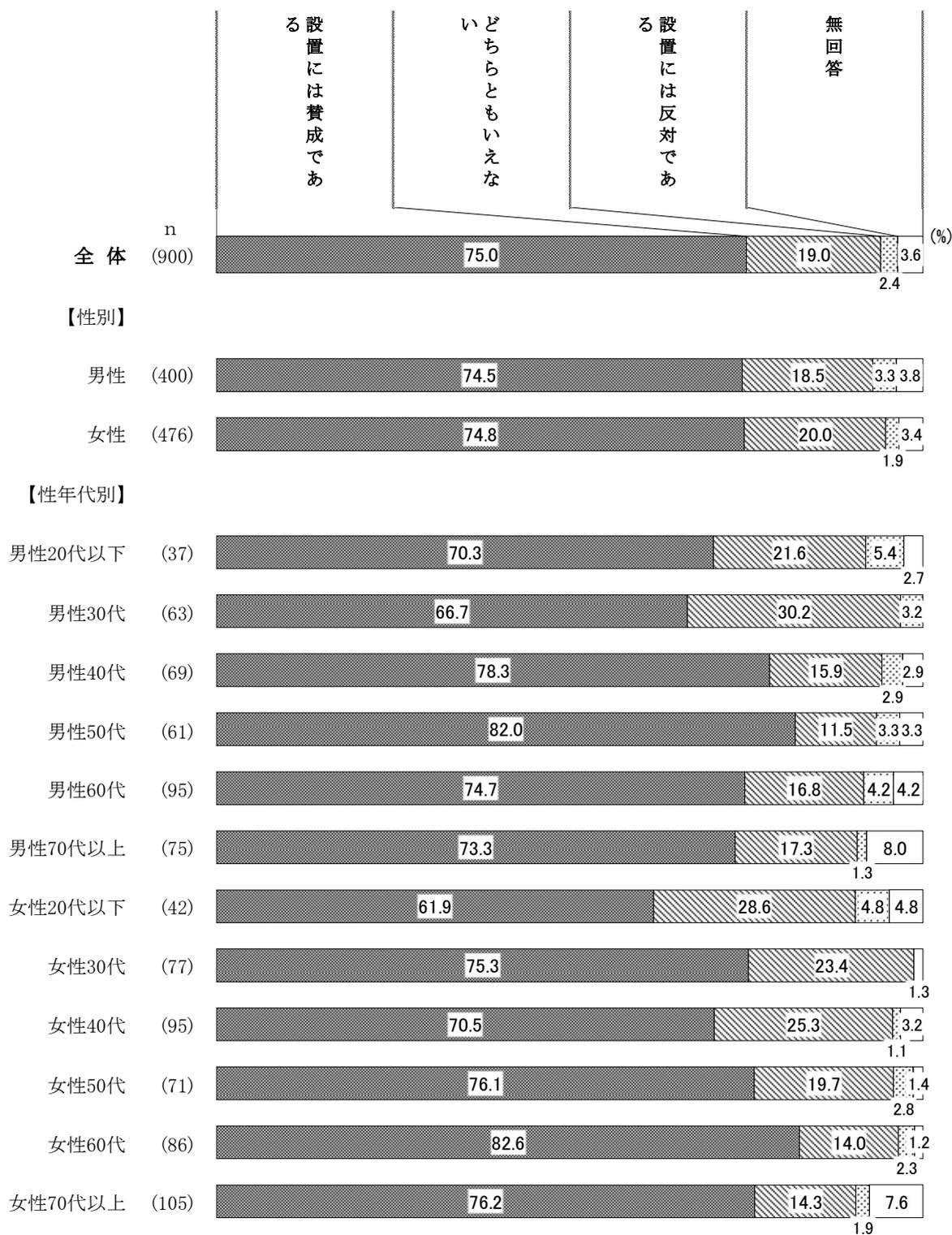
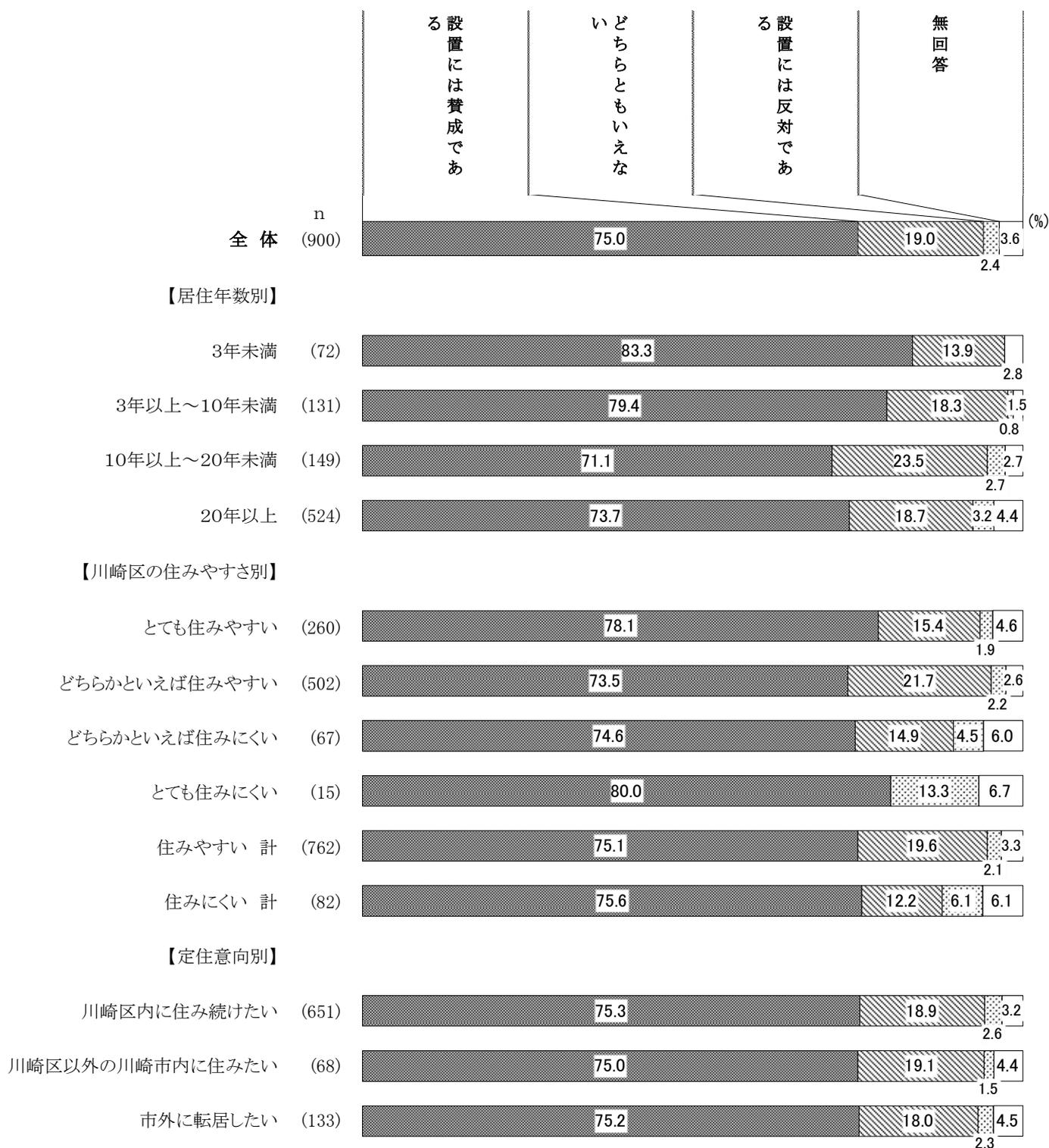


図4-1-3 地域住民団体等が防犯カメラを設置することについて  
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

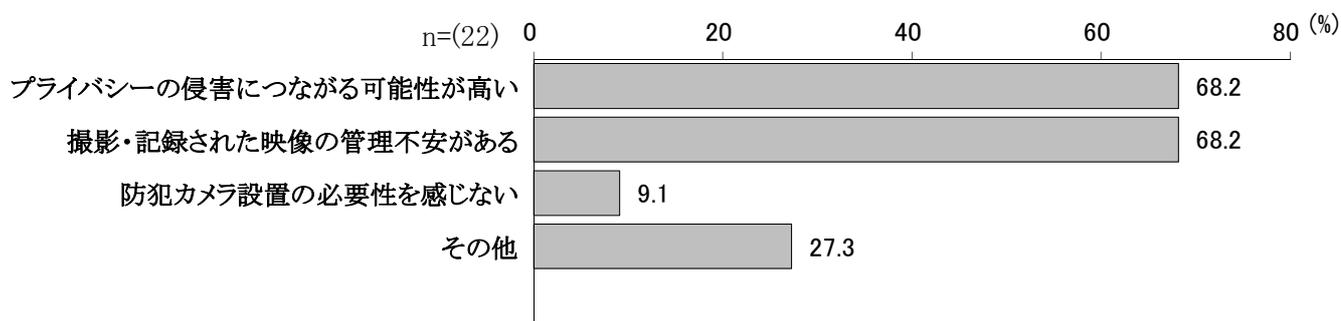


## (2) 防犯カメラの設置に反対する理由

問8-1 防犯カメラの設置に反対する理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全 体 「プライバシーの侵害につながる可能性が高い」(68.2%)、「撮影・記録された映像の管理不安がある」(68.2%)がそれぞれ高くなっている。(図4-2-1)

図4-2-1 防犯カメラの設置に反対する理由



## (3) 家族や身近な人と災害が起きた時の安否確認の方法

問9 家族や身近な人と災害が起きた時の安否確認の方法について、取り決めていますか。  
(当てはまるもの全てに○)

- 全 体** 「特に対策を講じていない」が最も高い。一方、取り決めでは「災害用伝言ダイヤルを利用する」(28.0%)が最も高く、次いで「災害用伝言板を利用する」(15.7%)、「遠くの親戚や知人を中継役と決め、そこに連絡する」(9.8%)と続いている。(図4-3-1)
- 性 別** 「災害用伝言ダイヤルを利用する」、「小学校等に通う子どもの引き取りに関する取り決めを確認している」では、「女性」の方が「男性」より割合が高くなっている。一方、「特に対策を講じていない」では、「男性」(54.3%)が「女性」(48.3%)より6ポイント高くなっている。(図4-3-2)
- 性年代別** 「小学校等に通う子どもの引き取りに関する取り決めを確認している」では、「女性30代」(27.3%)、「女性40代」(20.0%)が2割を超えている。一方、「特に対策を講じていない」では、「男性30代」(66.7%)、「女性20代以下」(61.9%)が6割を超えている。(図4-3-2)
- 居住年数別** 「特に対策を講じていない」では、「3年以上～10年未満」(58.8%)が最も高く、最も低い「20年以上」(48.1%)より10.7ポイント高くなっている。(図4-3-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「災害用伝言ダイヤルを利用する」では、「住みやすい計」(29.1%)が「住みにくい計」(22.0%)より7.1ポイント高くなっている。(図4-3-3)
- 定住意向別** 「災害用伝言ダイヤルを利用する」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(36.8%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(21.8%)より15ポイント高くなっている。一方、「特に対策を講じていない」では、「市外に転居したい」(63.9%)が最も高く、最も低い「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(38.2%)より25.7ポイント高くなっている。(図4-3-3)

図4-3-1 家族や身近な人と災害が起きた時の安否確認の方法

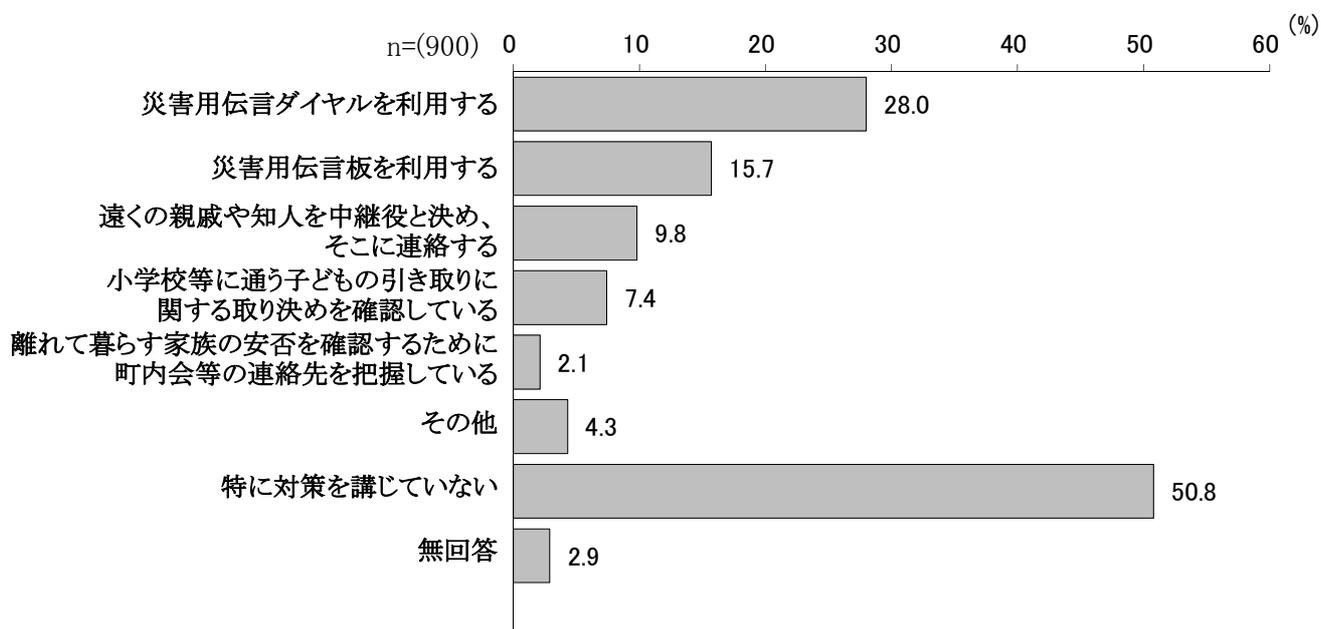


図4-3-2 家族や身近な人と災害が起きた時の安否確認の方法 <性別・性年代別>

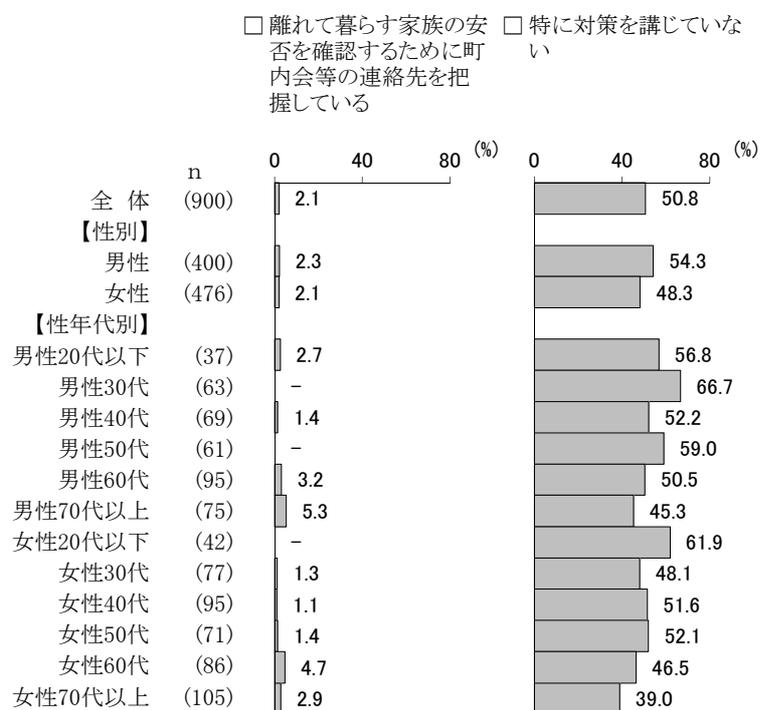
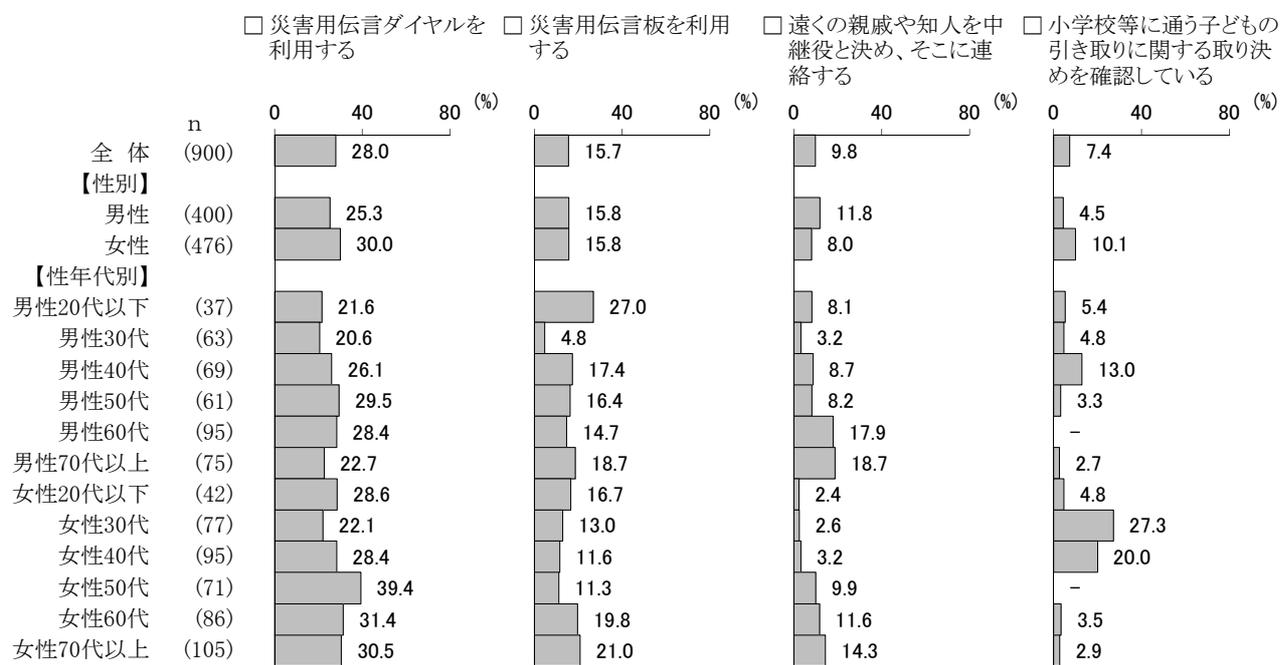
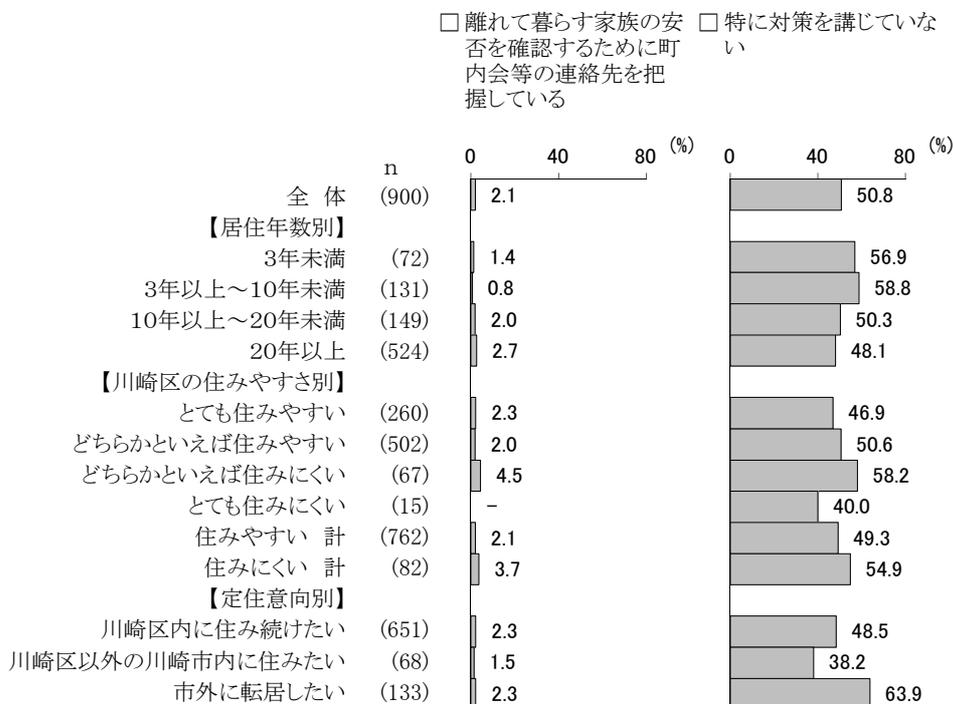
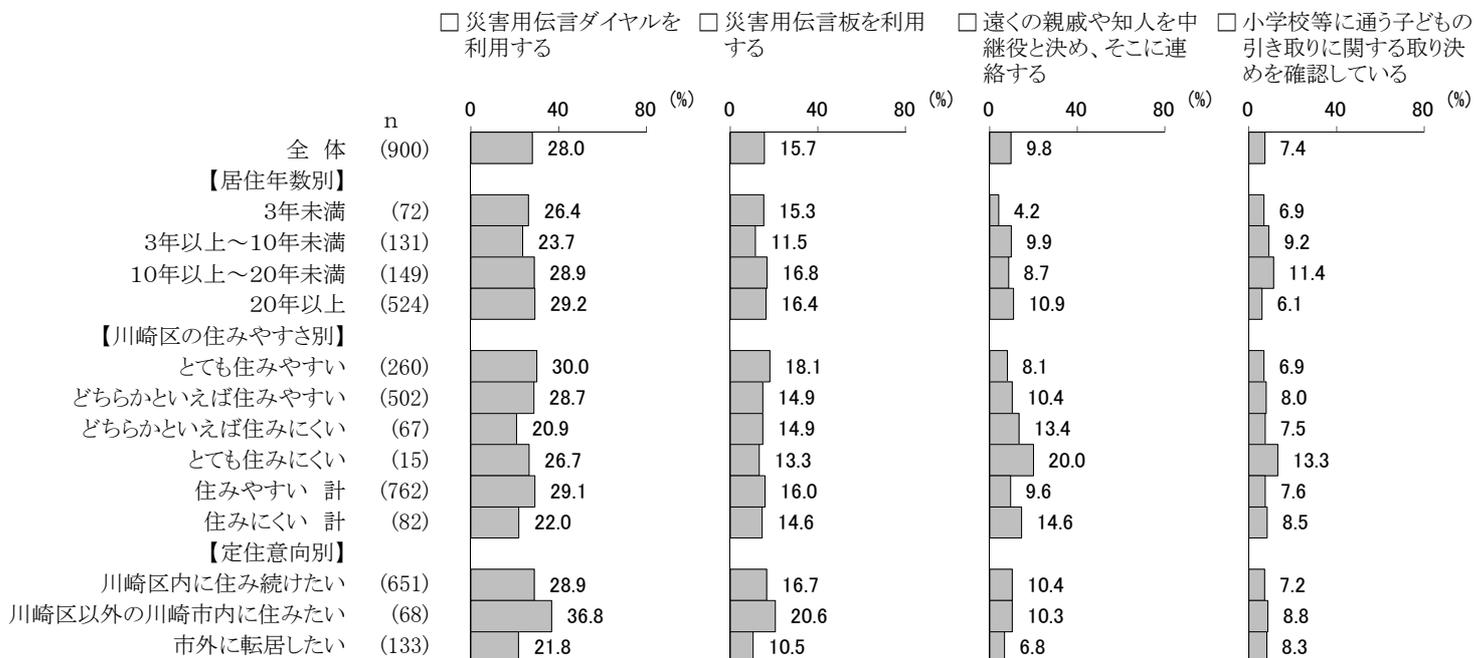


図4-3-3 家族や身近な人と災害が起きた時の安否確認の方法

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(4) 居住地域での最大規模の津波の高さの認知度

問10 川崎市に最大規模の津波被害をもたらす地震が発生した際に、あなたがお住まいの場所での津波の高さを知っていますか。(〇は1つ)

全 体 「知らない」(38.0%)が最も高く、次いで「なんとなく知っている」(29.3%)と続いている。(図4-4-1)

性 別 性別では特に大きな違いは見られない。(図4-4-2)

性年代別 「知っている」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性70代以上」(30.7%)、「女性60代」(33.7%)が3割を超えている。一方「知らない」では、「男性30代」(50.8%)、「女性30代」(53.2%)が5割を超えている。(図4-4-2)

居住年数別 「知っている」では、「20年以上」(21.2%)で2割を超えて最も高くなっている。一方、「知らない」では、居住年数が短くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「3年未満」(62.5%)で6割を超えている。(図4-4-3)

川崎区の住みやすさ別 「なんとなく知っている」では、「住みやすい計」(30.8%)が「住みにくい計」(20.7%)より高くなっている。一方、「知らない」では、「住みにくい計」(52.4%)が「住みやすい計」(35.6%)より高くなっている。(図4-4-3)

定住意向別 「なんとなく知っている」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(36.8%)が最も高くなっている。一方、「知らない」では、「市外に転居したい」(47.4%)が最も高くなっている。(図4-4-3)

図4-4-1 居住地域での最大規模の津波の高さの認知度

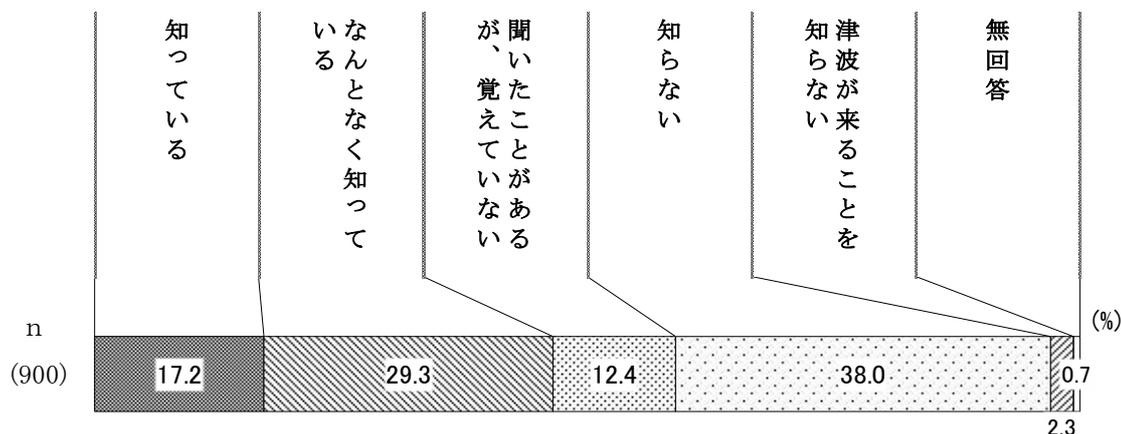


図4-4-2 居住地域での最大規模の津波の高さの認知度 <性別・性年代別>

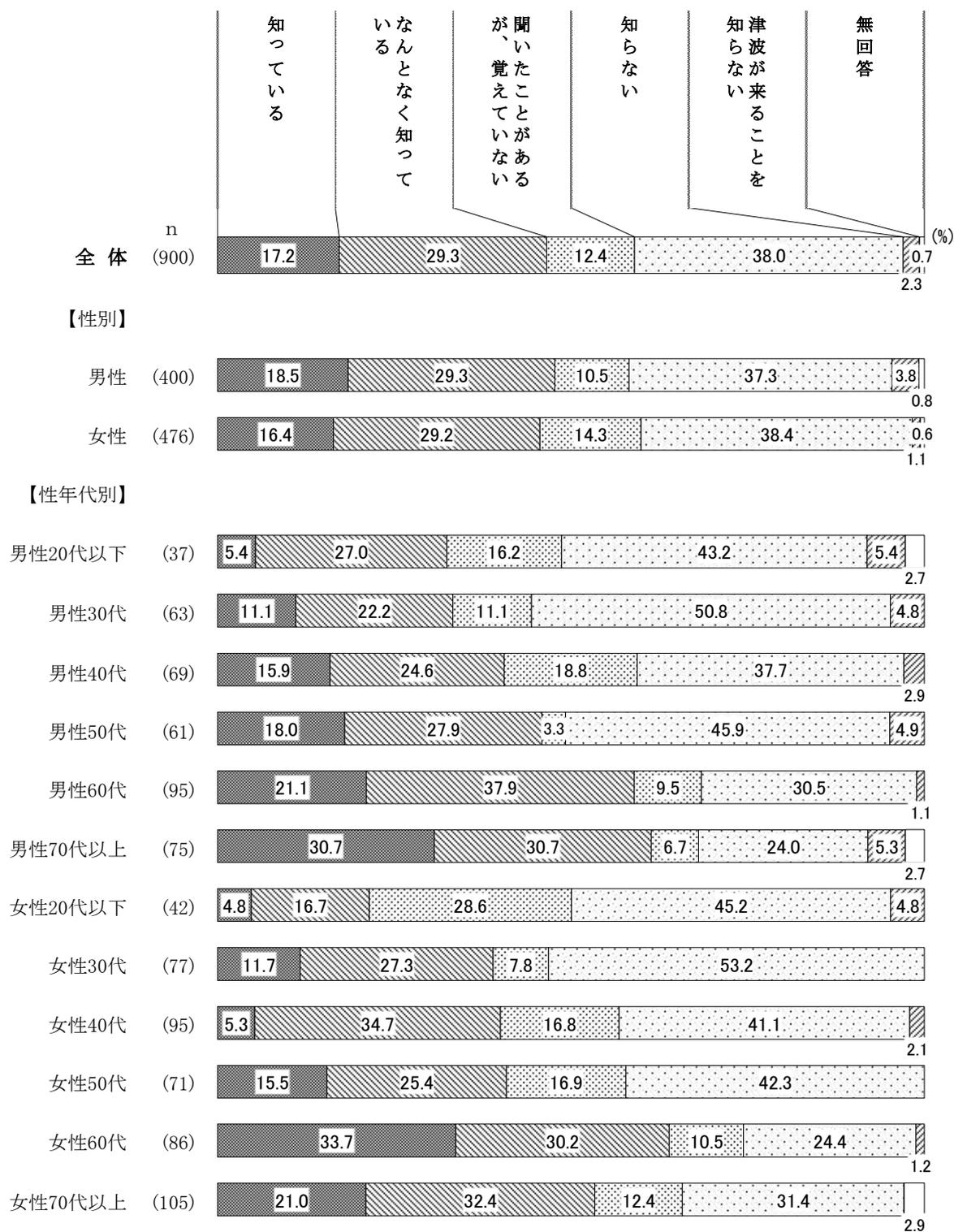
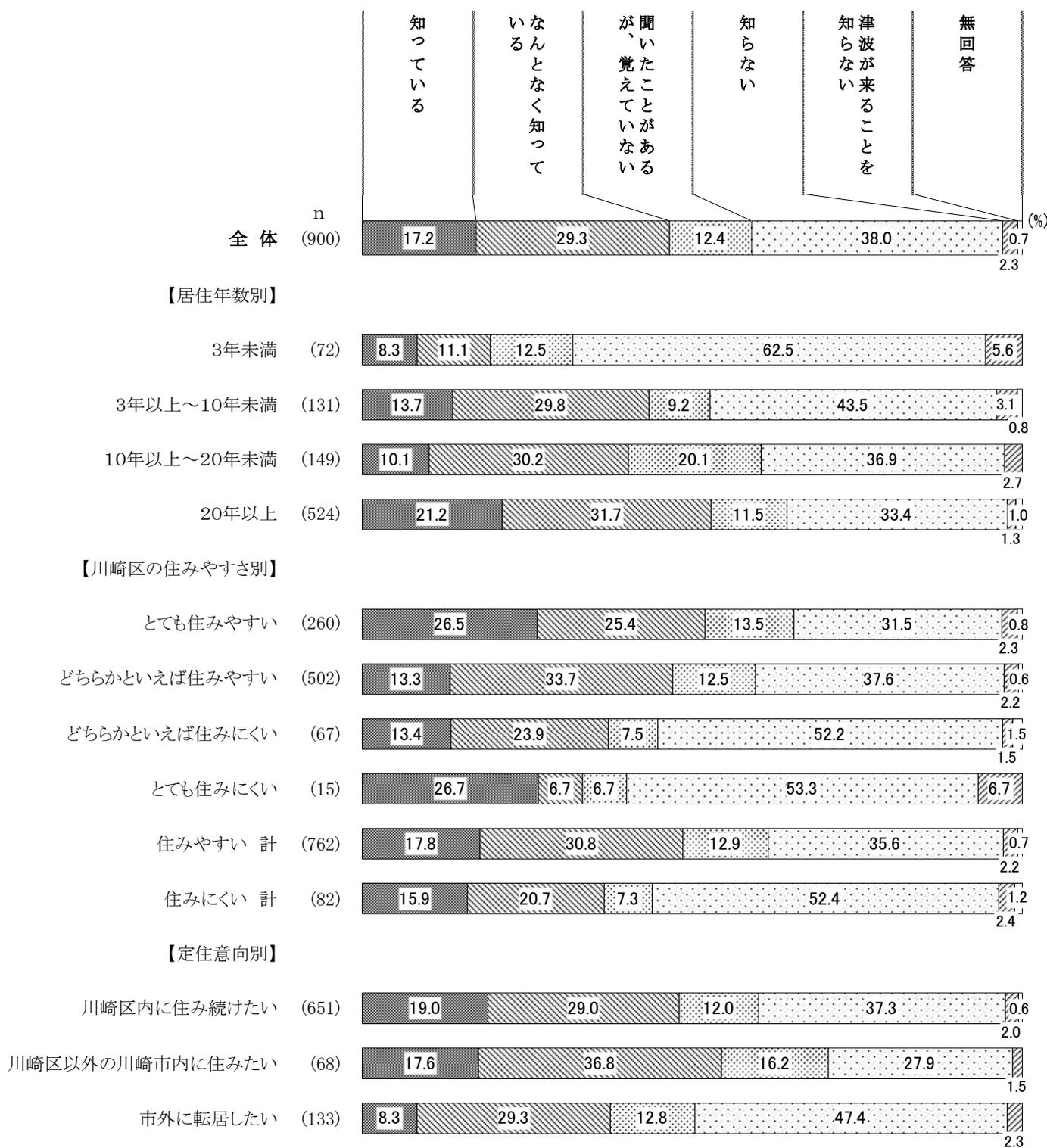


図4-4-3 居住地域での最大規模の津波の高さの認知度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



## 5 健康、福祉等について

### (1) 毎年の健康診断の受診状況

問11 健康診断（職場の健診、特定健診など）を年1回受けていますか。（○は1つ）

**全 体** 「受けている」(67.7%) が最も高く、次いで「受けていない」(21.9%)、「毎年でなく数年おきに受けている」(8.3%) となっている。(図5-1-1)

**性 別** 「受けている」では、「男性」(74.8%)の方が「女性」(61.3%)より13.5ポイント高くなっている。(図5-1-2)

**性年代別** 「受けている」では、おおむね年代が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあるが、女性では「女性40代」(70.5%)が7割を超えて最も高くなっている。(図5-1-2)

**居住年数別** 「受けている」では、居住年数が長くなるにつれて割合が低くなる傾向にあり、「10年以上～20年未満」(65.1%)、「20年以上」(66.0%)で6割台と低くなっている。(図5-1-3)

**川崎区の住みやすさ別** 「受けていない」では、「住みにくい計」(29.3%)が「住みやすい計」(21.7%)より7.6ポイント高くなっている。(図5-1-3)

**定住意向別** 「受けている」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(73.5%)が最も高くなっており、最も低い「市外に転居したい」(63.2%)よりも10.3ポイント高くなっている。(図5-1-3)

図5-1-1 毎年の健康診断の受診状況

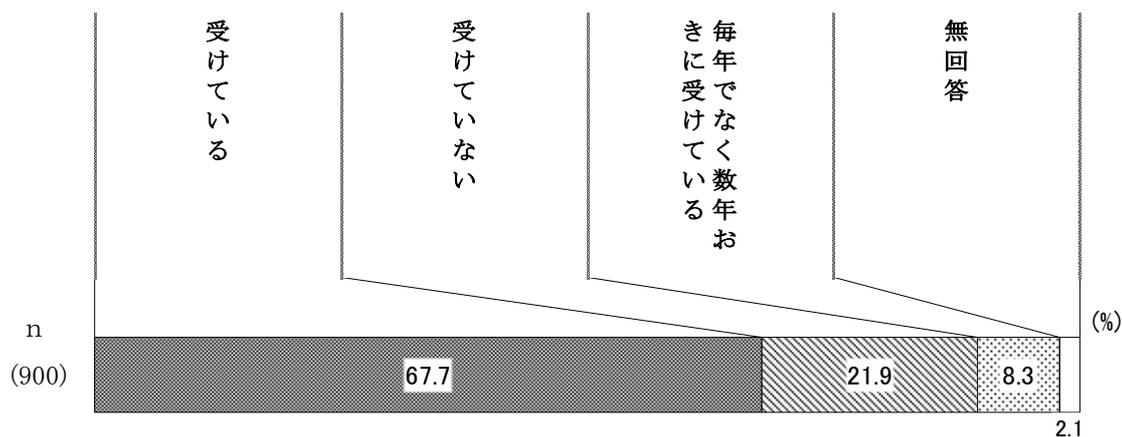


図5-1-2 毎年の健康診断の受診状況 <性別・性年代別>

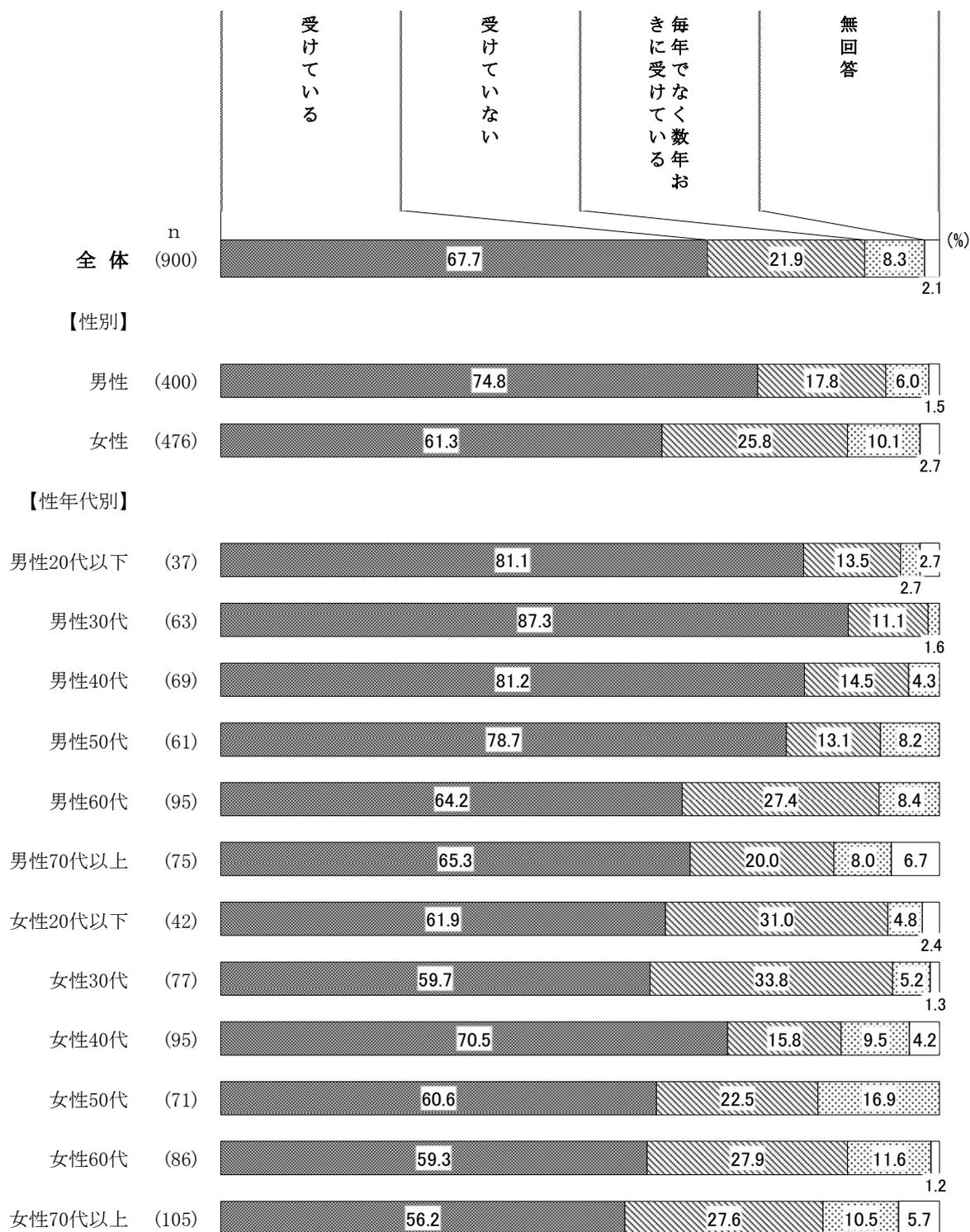
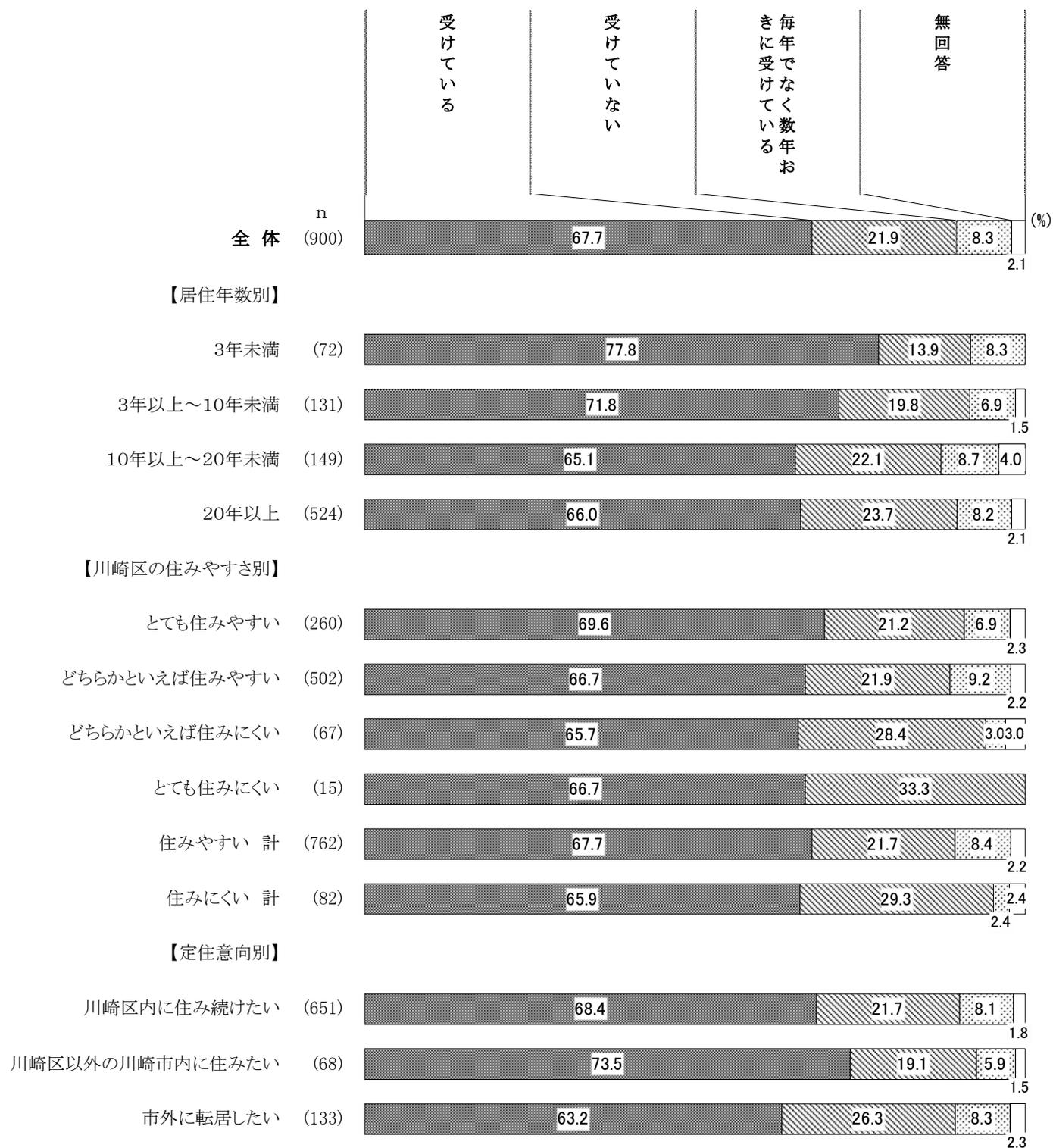


図5-1-3 毎年の健康診断の受診状況  
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



## (2) 健康診断を毎年受けない理由

《問11で2または3と回答した方にお聞きします》

問11-1 健康診断を毎年受けない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全 体 「かかりつけ医で検査等をしているから」(31.3%)が最も高く、次いで「面倒だから」(25.7%)、「お金がかかるから」(25.4%)、「時間がないから」(24.6%)と続いている。(図5-2-1)

性 別 「お金がかかるから」では、「女性」(29.2%)が「男性」(20.0%)より9.2ポイント高くなっている。また「受ける機会がないから」では、「女性」(21.6%)が「男性」(8.4%)より13.2ポイント高くなっている。(図5-2-2)

性年代別 n(回答者数)が少ない年代が多いことから、図表は参考として掲載する。(図5-2-2)

居住年数別 「3年未満」のn(回答者数)が少ないことから、図表は参考として掲載する。(図5-2-3)

川崎区の住みやすさ別 「住みにくい計」のn(回答者数)が少ないことから、図表は参考として掲載する。(図5-2-3)

定住意向別 「川崎区以外の川崎市内に住みたい」のn(回答者数)が少ないことから、図表は参考として掲載する。(図5-2-3)

図5-2-1 健康診断を毎年受けない理由

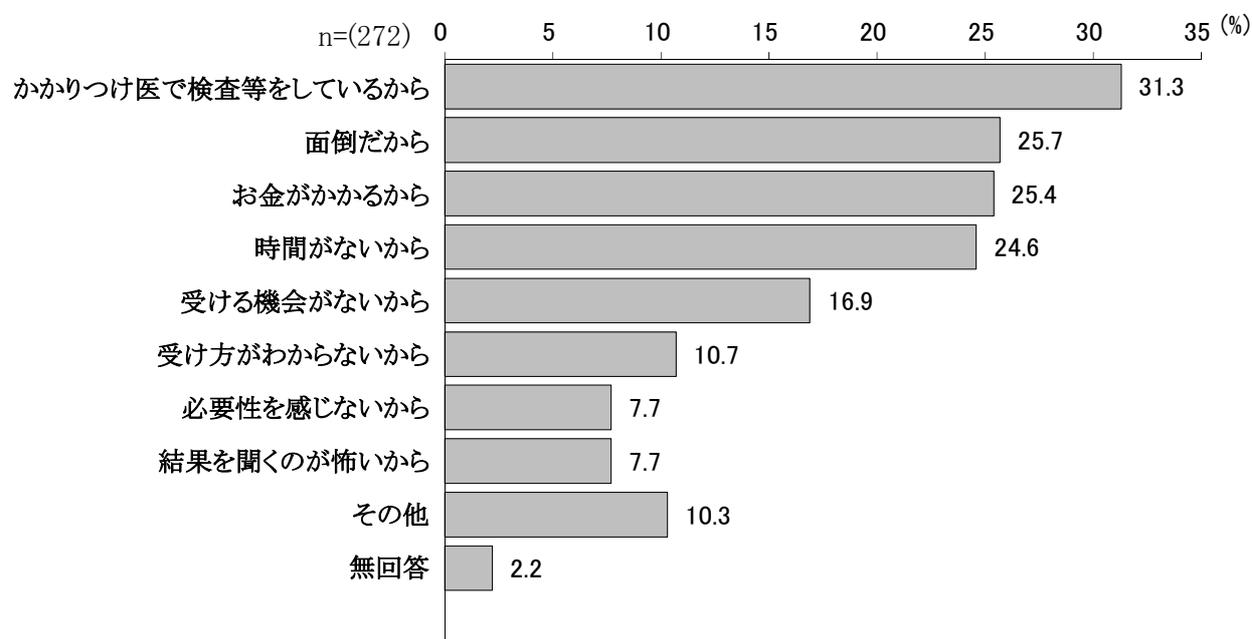


図5-2-2 健康診断を毎年受けない理由 <性別・性年代別>

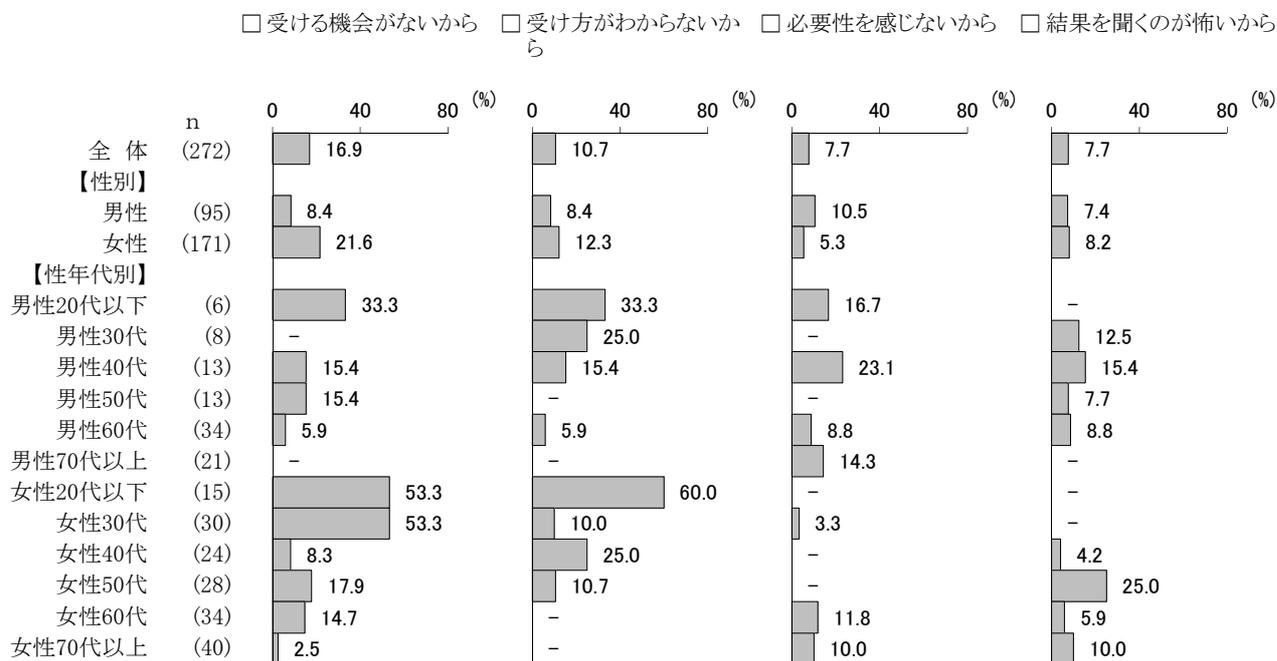
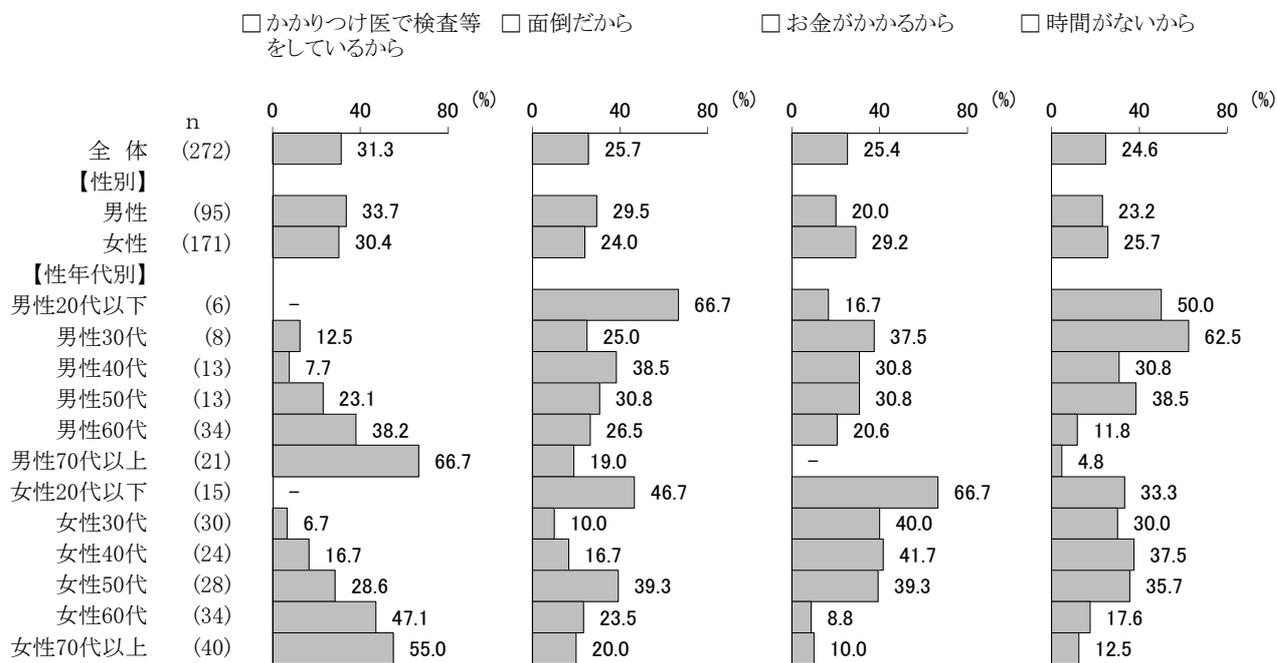
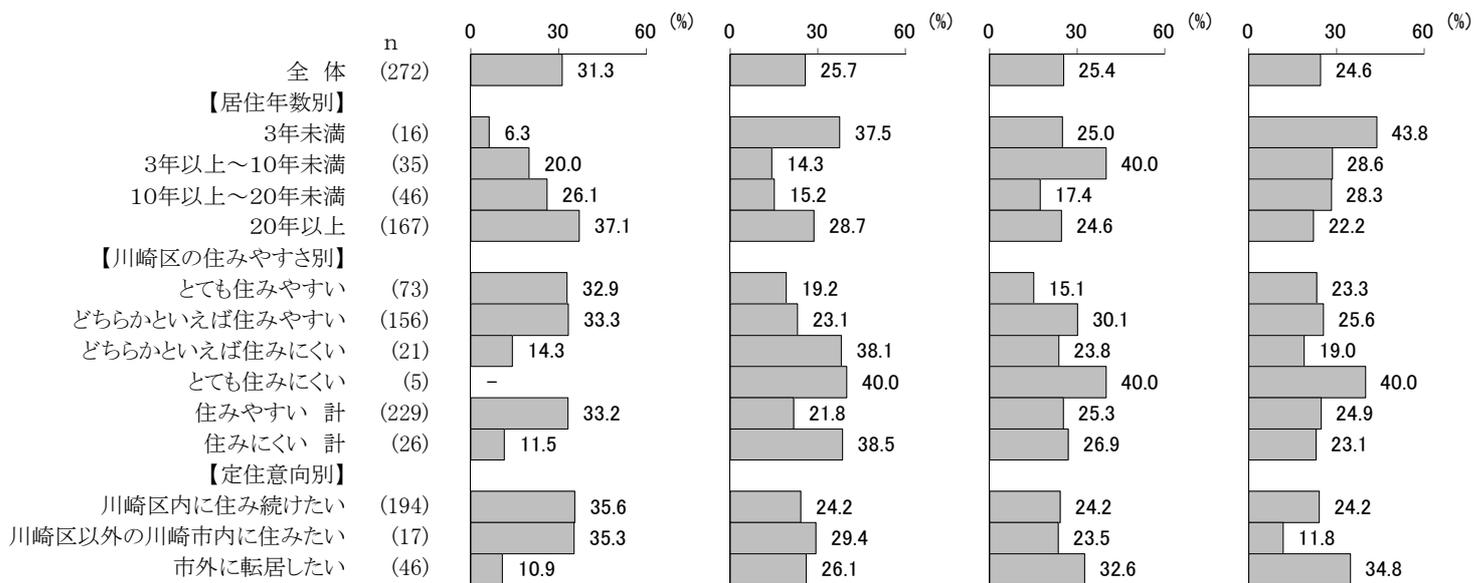


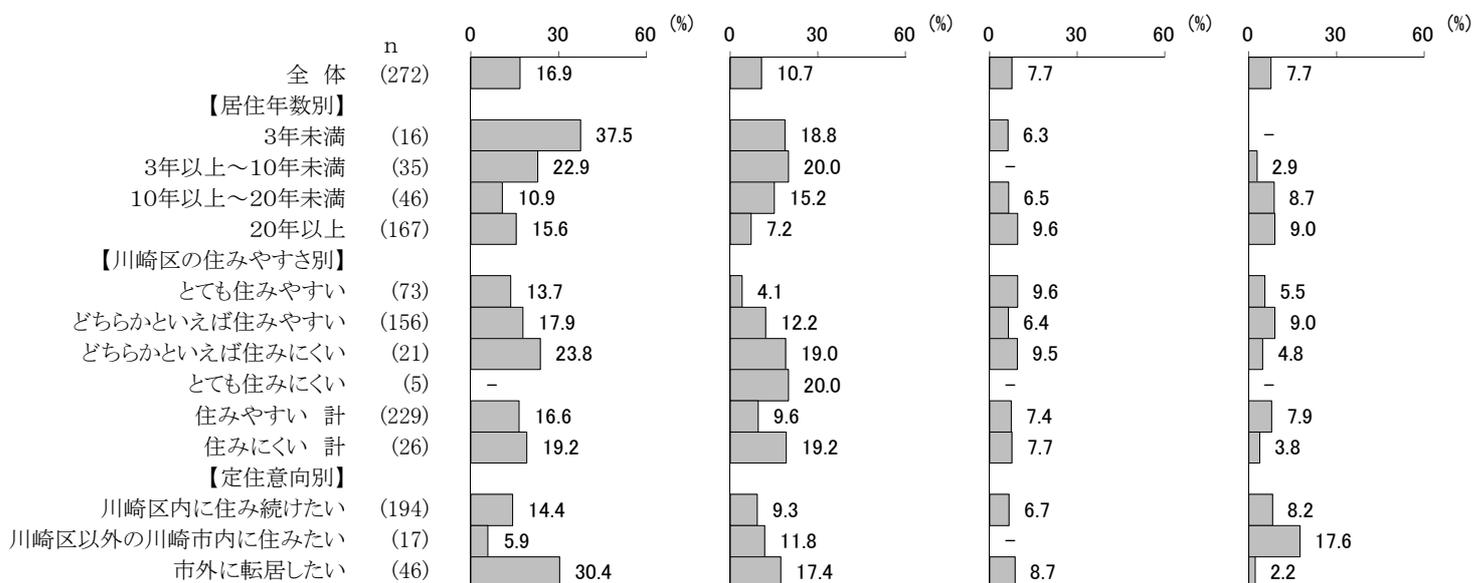
図5-2-3 健康診断を毎年受けない理由

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

□ かかりつけ医で検査等  
をしているから □ 面倒だから □ お金がかかるから □ 時間がないから



□ 受ける機会がないから □ 受け方がわからないから □ 必要性を感じないから □ 結果を聞くのが怖いから



(3) 「地域包括支援センター」の認知度

問12 高齢者の福祉・医療・介護全般の相談窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか。(〇は1つ)

**全 体** 「全く知らない」(36.2%)が最も高い。以下、「あまり知らない」(23.7%)、「名前は聞いたことがある」(21.0%)、「よく知っている」(15.6%)と続いている。(図5-3-1)

**性 別** 「よく知っている」では、「女性」(19.7%)が「男性」(10.5%)より9.2ポイント高くなっている。一方、「全く知らない」では、「男性」(40.8%)が「女性」(32.4%)より8.4ポイント高くなっている。(図5-3-2)

**性年代別** 「全く知らない」では、年代が低くなるにつれて割合が低くなる傾向にあり、「男性30代」(65.1%)、「女性20代以下」(61.9%)が6割を超えている。(図5-3-2)

**居住年数別** 「知っている」では、「20年以上」(20.4%)で2割を超えて最も高くなっている。一方、「知らない」では、居住年数が短くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「3年未満」(55.6%)、「3年以上～10年未満」で5割を超えている。(図5-3-3)

**川崎区の住みやすさ別** 「名前は聞いたことがある」では、「住みやすい計」(23.0%)が「住みにくい計」(12.2%)より高くなっている。一方、「全く知らない」では、「住みにくい計」(52.4%)が「住みやすい計」(34.4%)より高くなっている。(図5-3-3)

**定住意向別** 「よく知っている」では、「川崎区内に住み続けたい」(16.9%)が最も高くなっている。一方、「知らない」では、「市外に転居したい」(50.4%)が最も高くなっている。(図5-3-3)

図5-3-1 「地域包括支援センター」の認知度

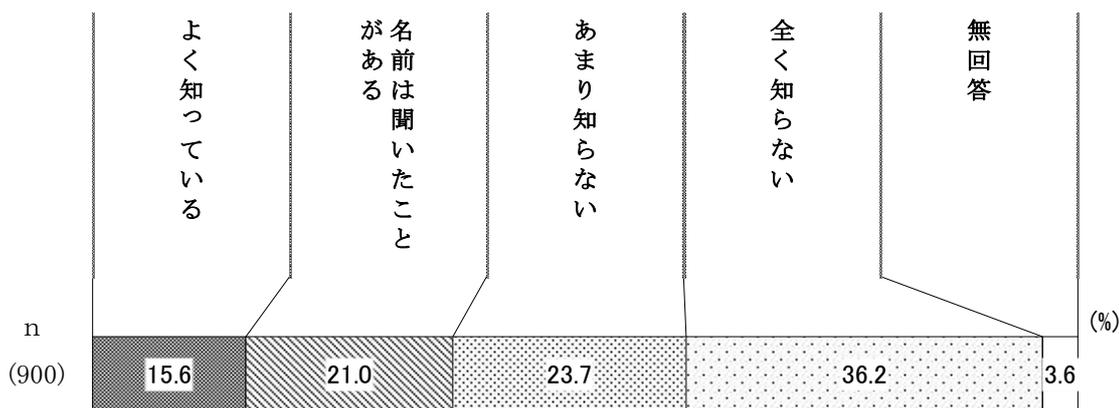


図5-3-2 「地域包括支援センター」の認知度 <性別・性年代別>

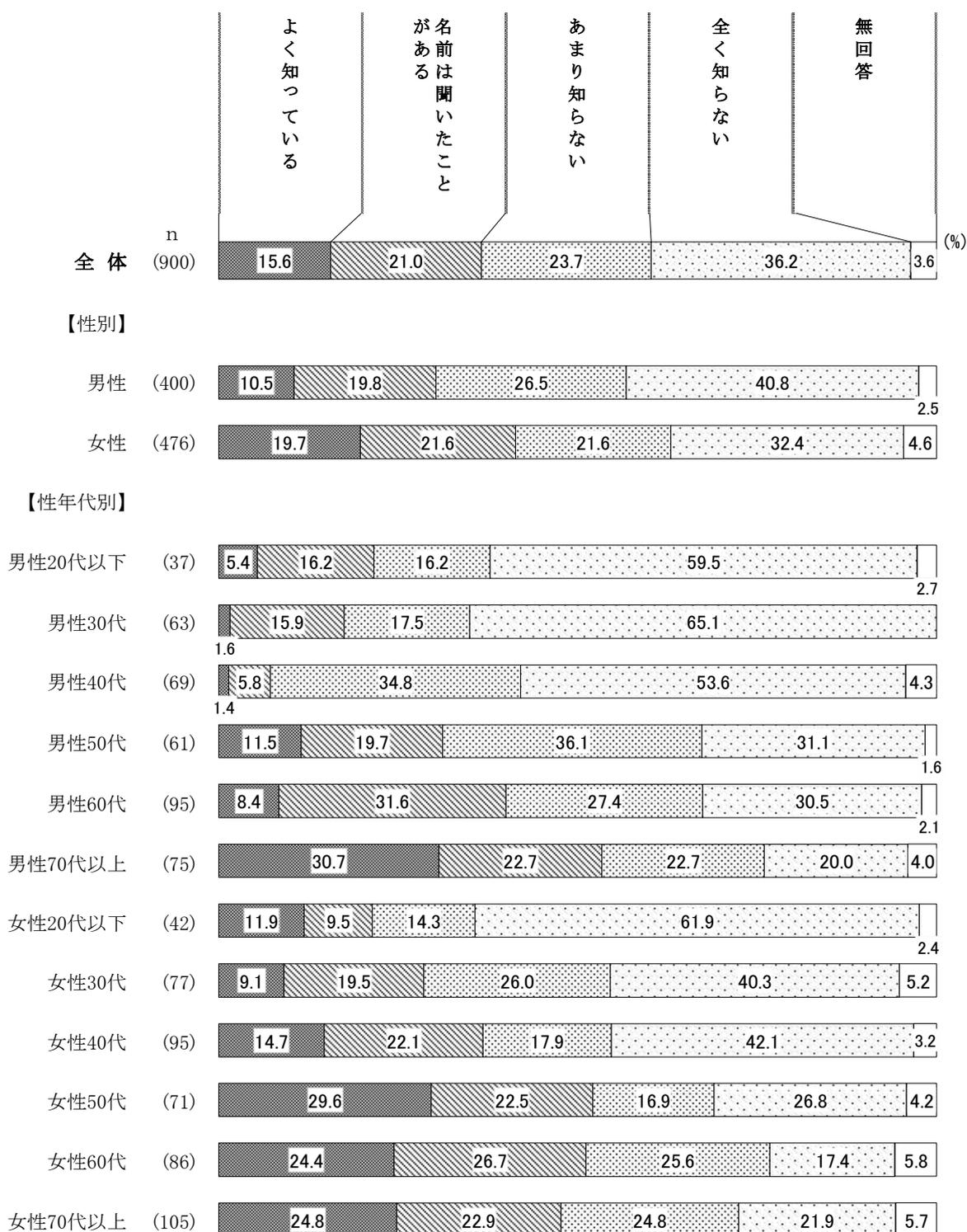
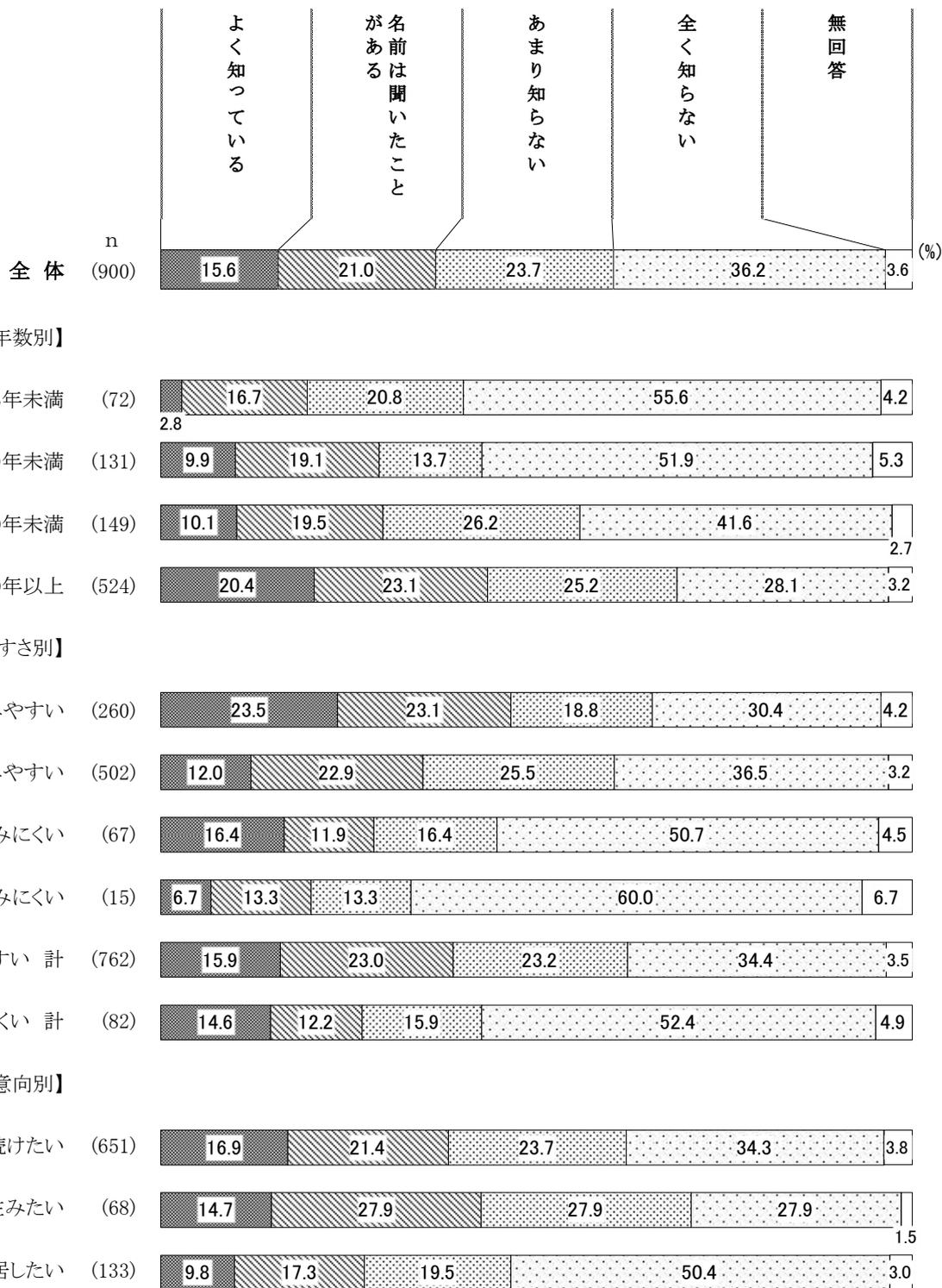


図5-3-3 「地域包括支援センター」の認知度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



## 6 川崎区区民会議について

### (1) 区民会議の認知度

問13 あなたは「区民会議」を知っていますか。(〇は1つ)

**全 体** 「知らない」(64.3%)が最も高く、次いで「あることは知っているが、内容は知らない」(30.1%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると特に大きな違いはみられない。(図6-1-1)

**性 別** 「知らない」では、「女性」(66.0%)が「男性」(62.8%)より高くなっている。(図6-1-2)

**性年代別** 「あることは知っているが、内容は知らない」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性70代以上」(42.7%)で4割を超えている。一方、「知らない」では、「男性20代以下」(73.0%)、「男性30代」(73.0%)、「女性20代以下」(76.2%)、「女性30代」(79.2%)で7割を超えている。(図6-1-2)

**居住年数別** 「あることは知っているが、内容は知らない」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。一方、「知らない」では、居住年数が短くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「3年未満」(77.8%)で7割台後半となっている。(図6-1-3)

**川崎区の住みやすさ別** 「あることは知っているが、内容は知らない」では、「住みやすい計」(31.6%)が「住みにくい計」(15.9%)より高くなっている。(図6-1-3)

**定住意向別** 「あることは知っているが、内容は知らない」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(33.8%)が最も高くなっている。一方、「知らない」では、「市外に転居したい」(76.7%)が最も高く、7割台半ばとなっている。(図6-1-3)

図6-1-1 区民会議の認知度

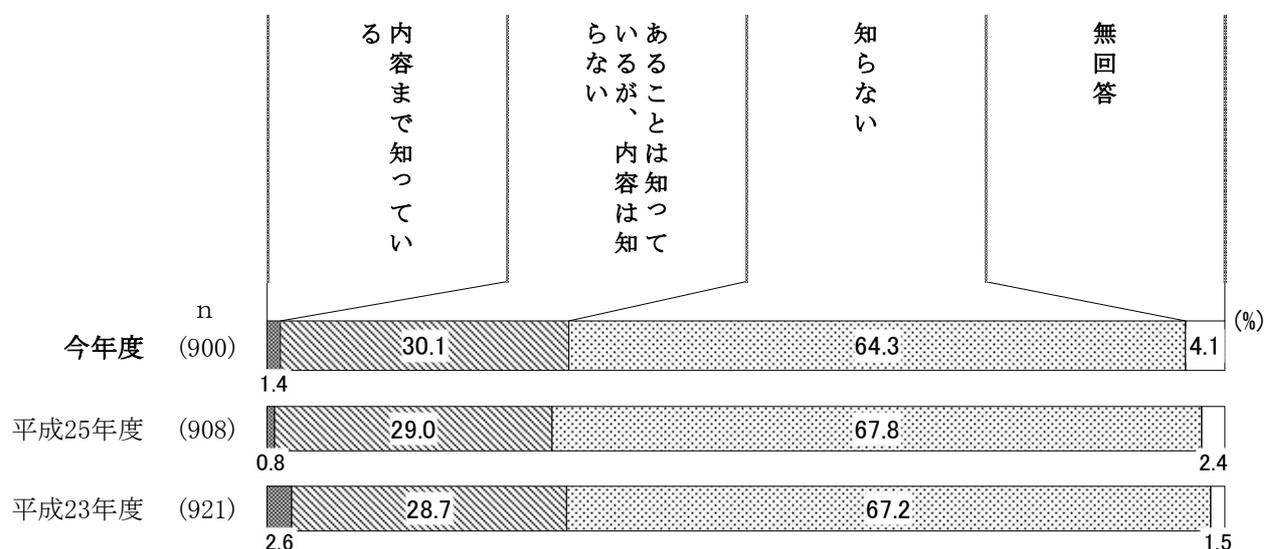


図6-1-2 区民会議の認知度 <性別・性年代別>

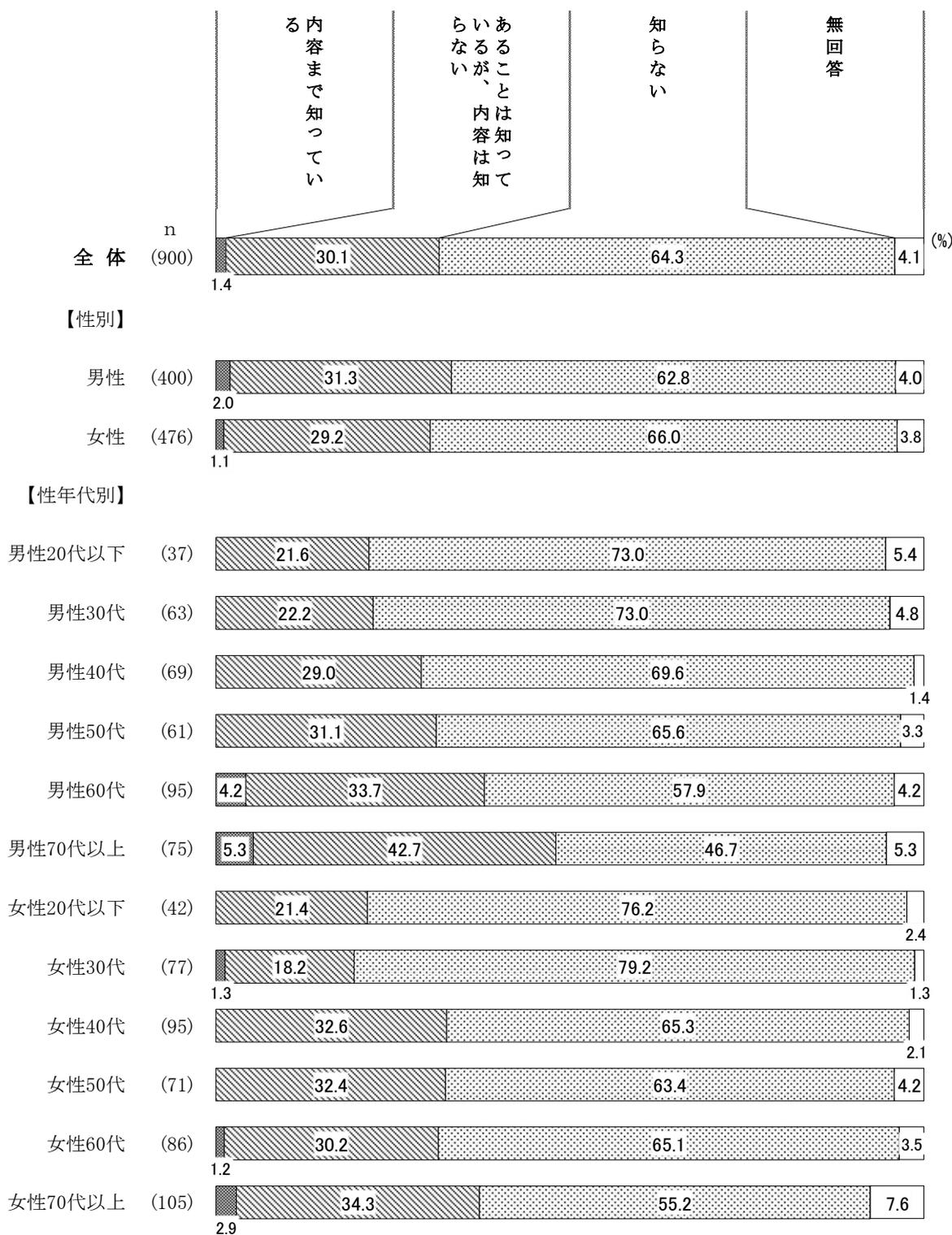
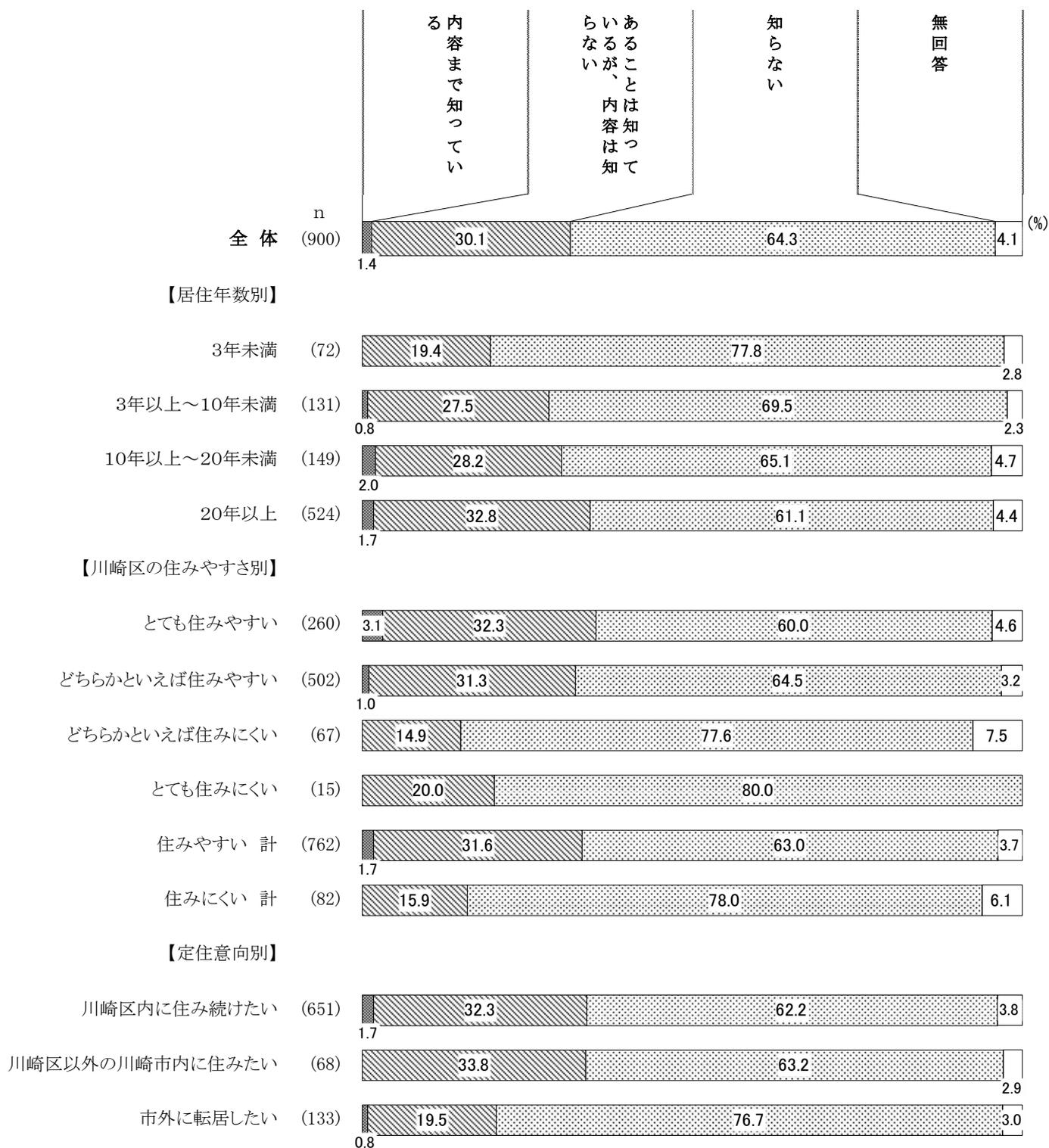


図6-1-3 区民会議の認知度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



## (2) 区民会議の議題として望ましいもの

問14 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいと思う項目を、3つまで お選びください。(〇は3つまで)

**全 体** 「災害対策に関する事業」(51.1%)が最も高く、次いで「防犯・防火に関する事業」(44.6%)、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(38.1%)と続いている。平成25年度と比較すると「災害対策に関する事業」(今年度：51.1%、平成25年度：57.2%)では6.1ポイント、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(今年度：38.1%、平成25年度：43.0%)では4.9ポイント、低くなっている。(図6-2-1)

**性 別** 「災害対策に関する事業」では、「女性」(58.4%)が「男性」(43.0%)より15.4ポイント、「子育てに関する事業」と「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、「女性」の方が「男性」よりも約6ポイント割合が高くなっている。一方、「交通安全に関する事業」では、「男性」(18.8%)が「女性」(11.1%)より7.7ポイント割合が高くなっている。(図6-2-2)

**性年代別** 「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「女性70代以上」(67.6%)で6割を超えている。「子育てに関する事業」では、「女性20代以下」(38.1%)が3割台後半、「女性30代」(49.4%)が4割台後半となっている。(図6-2-2)

**居住年数別** 「災害対策に関する事業」では、「20年以上」(55.9%)で5割台半ば、「防犯・防火に関する事業」では、「3年未満」(55.6%)で5割台半ばと高くなっている。「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「20年以上」(47.3%)で4割台後半となっている。(図6-2-3)

**川崎区の住みやすさ別** 「災害対策に関する事業」では、「住みやすい計」(53.4%)が「住みにくい計」(32.9%)より20.5ポイント高くなっている。「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、「住みやすい計」(40.0%)が「住みにくい計」(22.0%)より18ポイント高くなっている。「環境美化、地域緑化に関する事業」では、「住みにくい計」(43.9%)が「住みやすい計」(22.6%)より21.3ポイント高くなっている。(図6-2-3)

**定住意向別** 「環境美化、地域緑化に関する事業」では、「市外に転居したい」(37.6%)が最も高く、最も低い「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(16.2%)より21.4ポイント高くなっている。(図6-2-3)

図6-2-1 区民会議の議題として望ましいもの

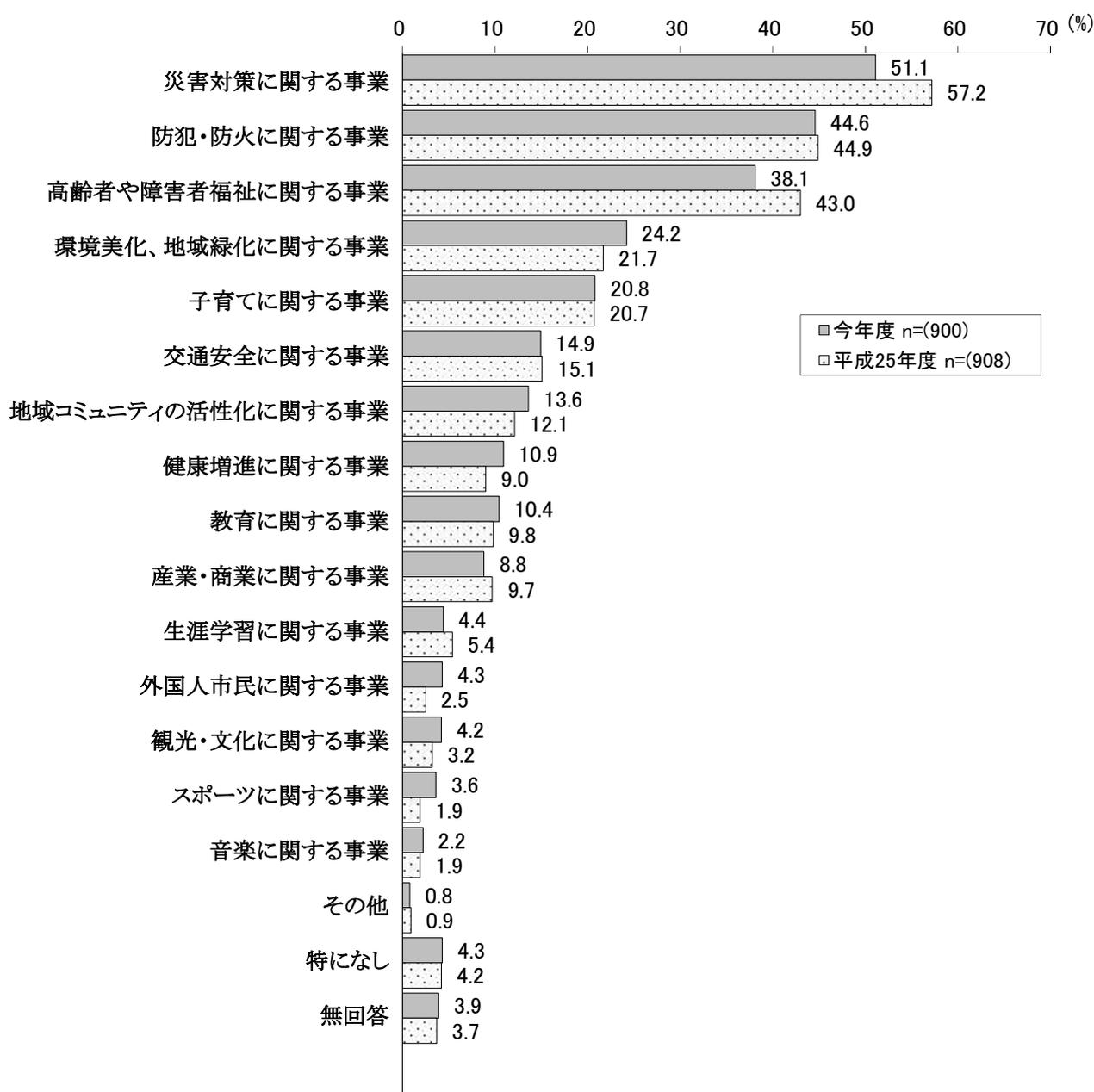


図6-2-2 区民会議の議題として望ましいもの <性別・性年代別>

(上位8項目)

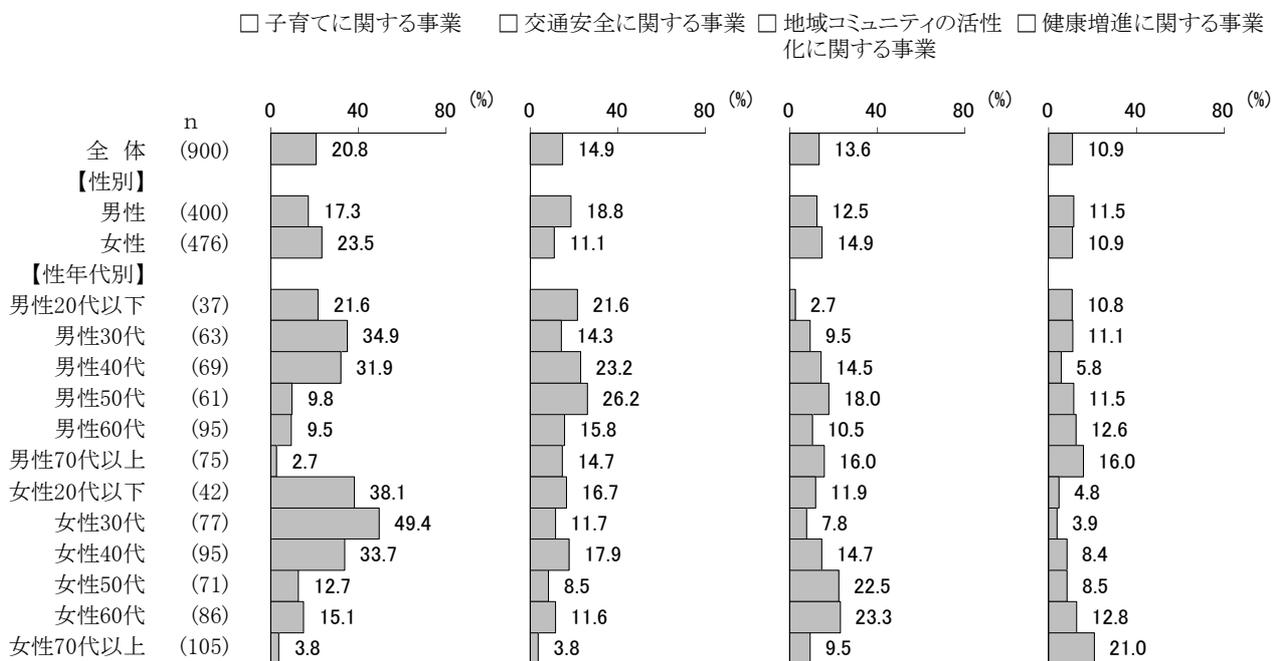
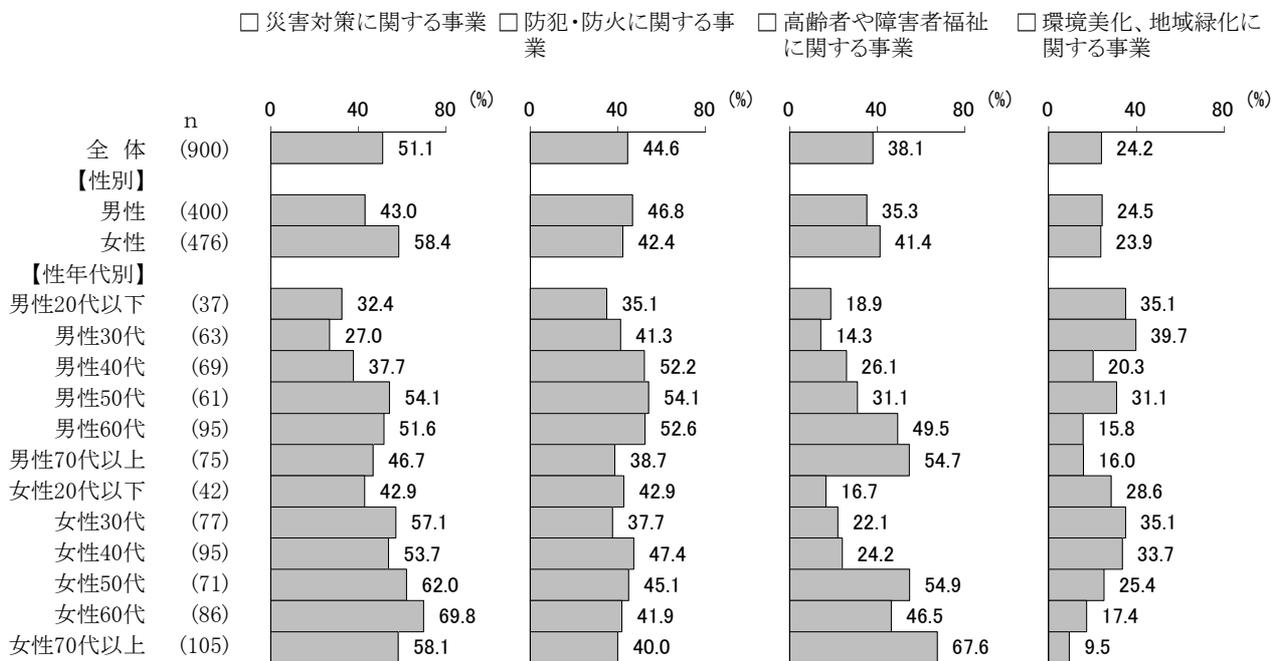
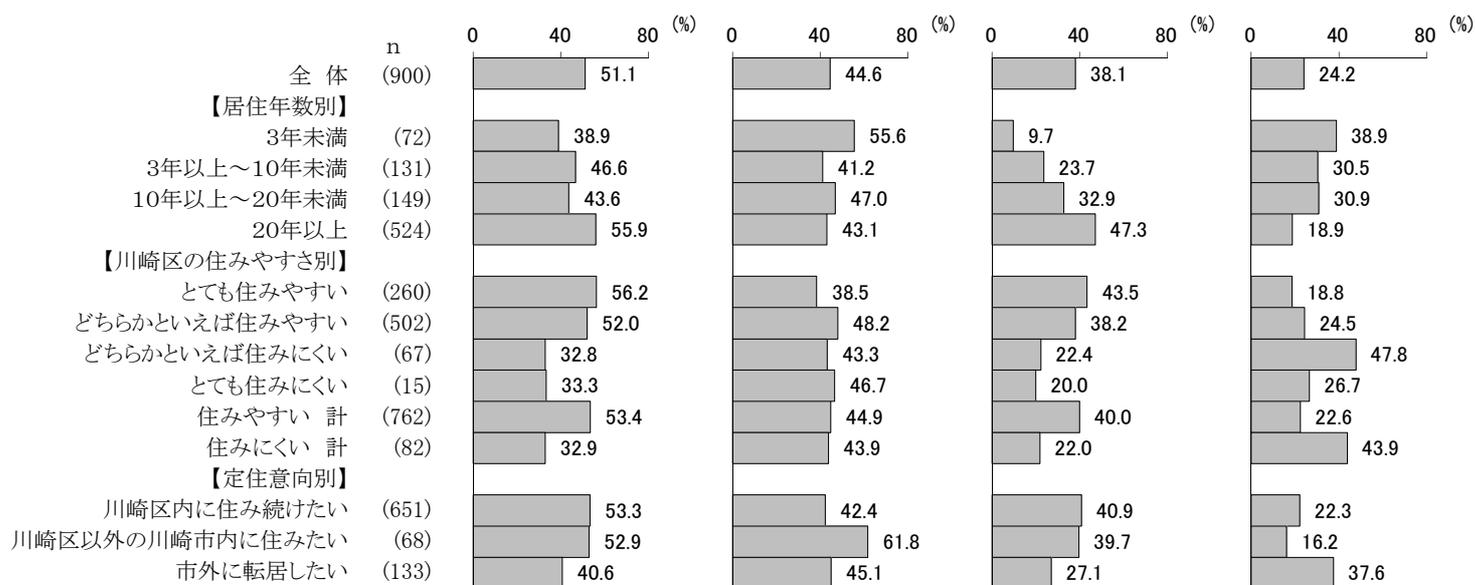


図6-2-3 区民会議の議題として望ましいもの

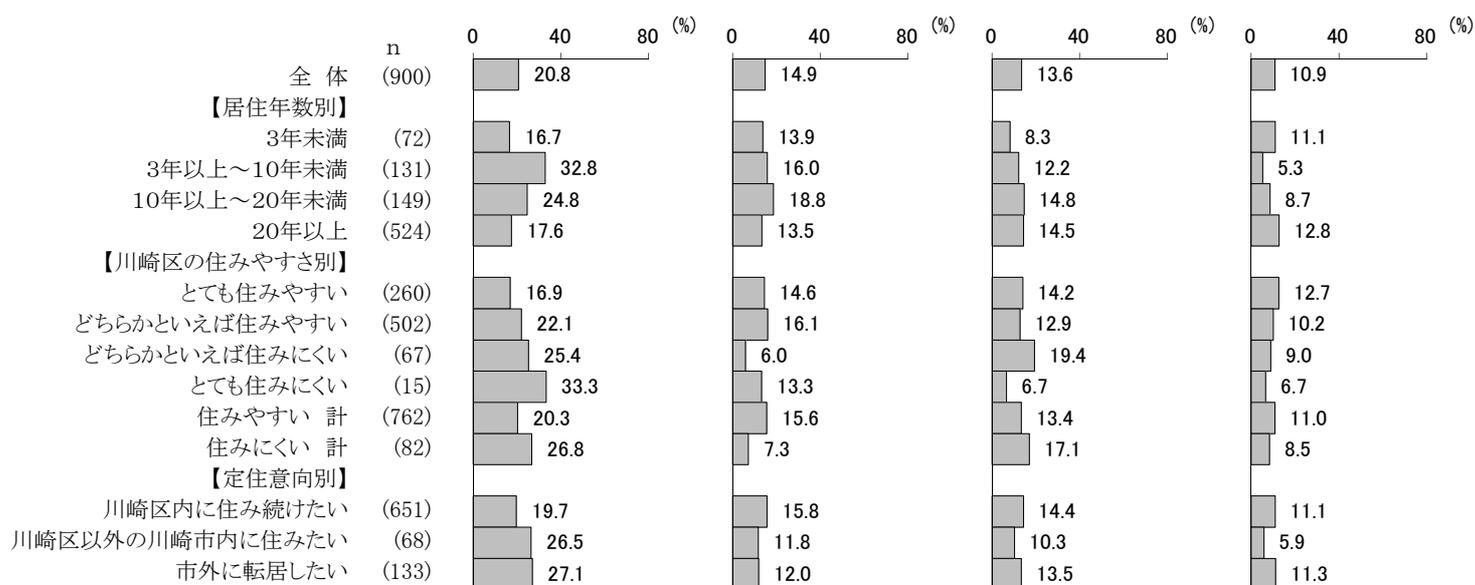
<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位8項目)

□ 災害対策に関する事業 □ 防犯・防火に関する事業 □ 高齢者や障害者福祉に関する事業 □ 環境美化、地域緑化に関する事業



□ 子育てに関する事業 □ 交通安全に関する事業 □ 地域コミュニティの活性化に関する事業 □ 健康増進に関する事業



### (3) 「区の花」・「区の木」の認知度

問15 区は第3期川崎区区民会議の提案を基に、平成24年4月に区の花・木を制定しました。あなたは区の花が「ひまわり、ビオラ」、区の木が「<sup>いちよう</sup>銀杏、<sup>ちようじゅうろうなし</sup>長十郎梨」であることを知っていますか。(当てはまるもの全てに○)

- 全 体** 「銀杏が区の木であることを知っている」(24.8%)、「長十郎梨が区の木であることを知っている」(17.4%)と続いている。一方、「知らない」は62.4%と最も高くなっている。平成25年度と比較すると「長十郎梨が区の木であることを知っている」(今年度：17.4%、平成25年度：21.8%)では4.4ポイント、「ひまわりが区の花であることを知っている」(今年度：12.2%、平成25年度：14.8%)では2.6ポイント、割合が低くなっている。一方、「知らない」(今年度：62.4%、平成25年度：56.9%)では5.5ポイント割合が高くなっている(図6-3-1)
- 性 別** 全体的に「女性」の方が「男性」より高くなっているが、「知らない」では、「男性」(68.0%)が「女性」(56.9%)より11.1ポイント高くなっている。(図6-3-2)
- 性年代別** 「長十郎梨が区の木であることを知っている」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性70代以上」(29.3%)、「女性60代」(27.9%)で2割台後半となっている。一方、「知らない」では、「男性30代」(81.0%)、「男性40代」(84.1%)、「男性50代」(82.0%)で8割を超えている。(図6-3-2)
- 居住年数別** 全体的に居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあるが、「知らない」では、居住年数が短いほど割合が高くなる傾向にあり、「3年未満」(91.7%)で9割を超えている。(図6-3-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 全体的に「住みやすい計」の方が割合が高くなっているが、「知らない」では、「住みにくい計」(76.8%)が「住みやすい計」(60.6%)より16.2ポイント高くなっている。(図6-3-3)
- 定住意向別** 「銀杏が区の木であることを知っている」、「長十郎梨が区の木であることを知っている」では「川崎区以外の川崎市内に住みたい」が高くなっている。一方、「知らない」では、「市外に転居したい」(74.4%)が最も高く、7割台半ばとなっている。(図6-3-3)

図6-3-1 「区の花」・「区の木」の認知度

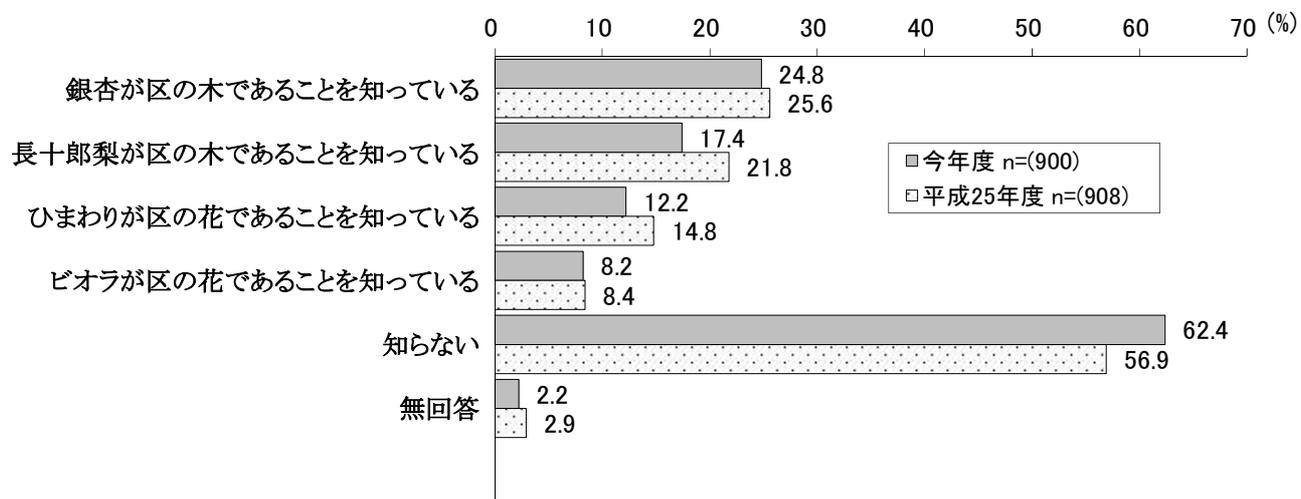
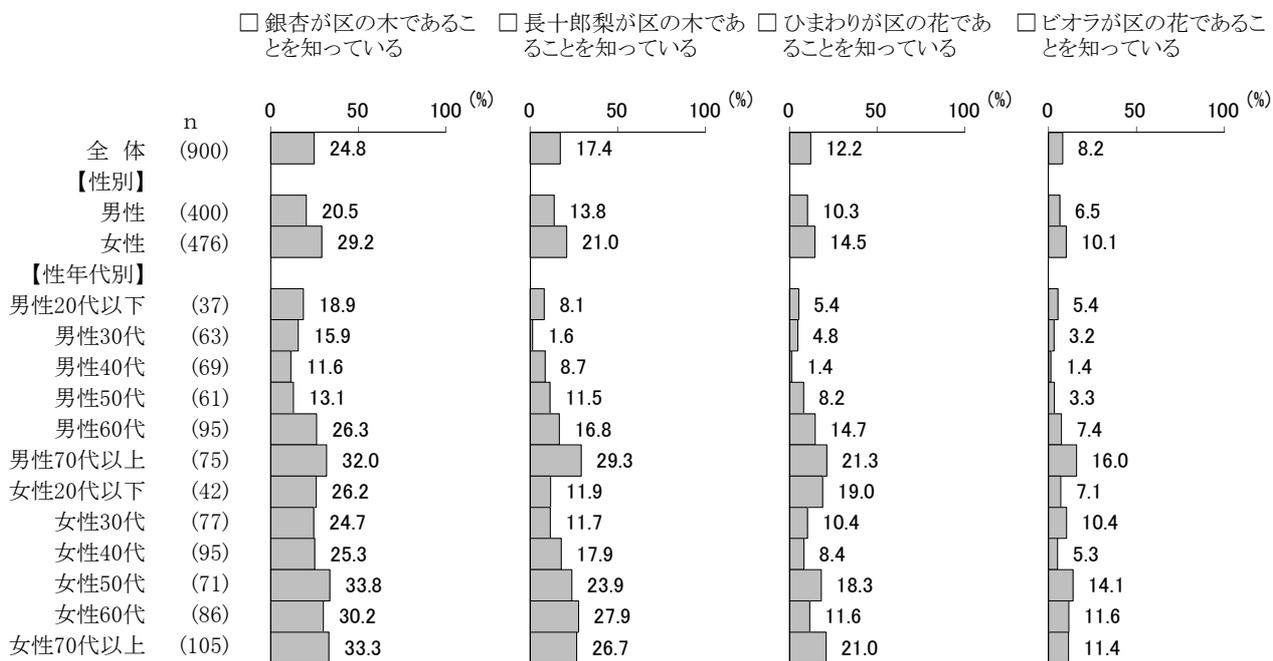


図6-3-2 「区の花」・「区の木」の認知度 <性別・性年代別>



知らない

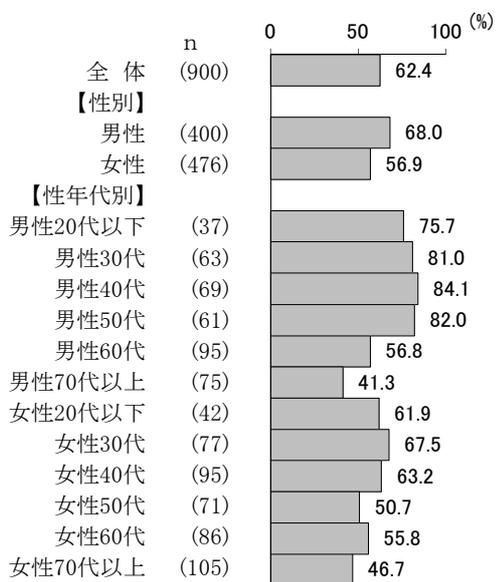
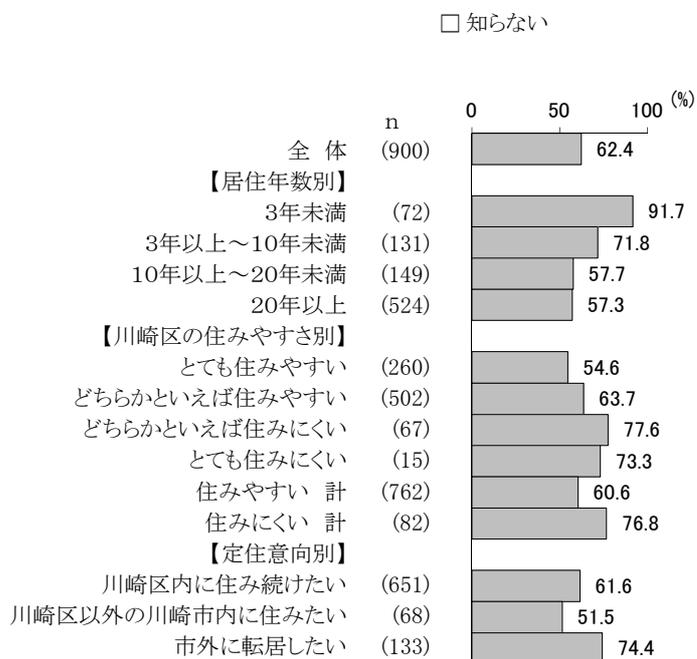
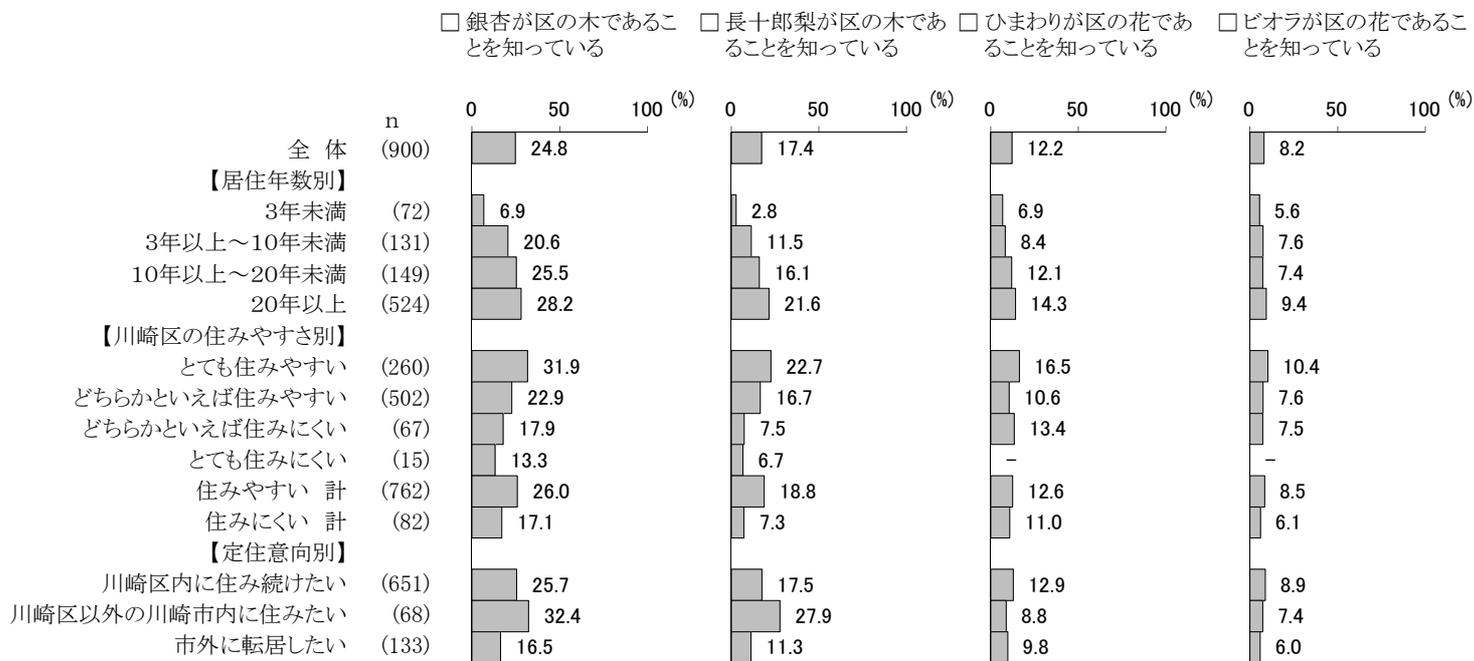


図6-3-3 「区の花」・「区の木」の認知度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



## 7 市民活動及び地域活動への参加について

### (1) 町内会・自治会への加入状況

問16 あなたは町内会・自治会に加入していますか。(○は1つ)

**全 体** 「加入している」(57.6%)が最も高く、次いで「加入していない」(27.8%)と続いている。平成23年度からの結果と比較すると「加入している」(今年度：57.6%、平成25年度：64.8%、平成23年度：71.6%)が減少傾向にあり、平成23年度(71.6%)に対し、今年度では14ポイント低くなっている。(図7-1-1)

**性 別** 「加入している」では、「女性」(62.0%)が「男性」(51.8%)より10.2ポイント高くなっている。(図7-1-2)

**性年代別** 「加入している」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「女性60代」(79.1%)で約8割、「女性70代以上」(80.0%)で8割となっている。(図7-1-2)

**居住年数別** 「加入している」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「20年以上」(70.6%)で7割を超えている。(図7-1-3)

**川崎区の住みやすさ別** 「加入している」では、「住みやすい計」(60.4%)が「住みにくい計」(45.1%)より15.3ポイント高くなっている。(図7-1-3)

**定住意向別** 「加入している」では、「川崎区内に住み続けたい」(60.7%)が最も高くなっている。(図7-1-3)

図7-1-1 町内会・自治会への加入状況

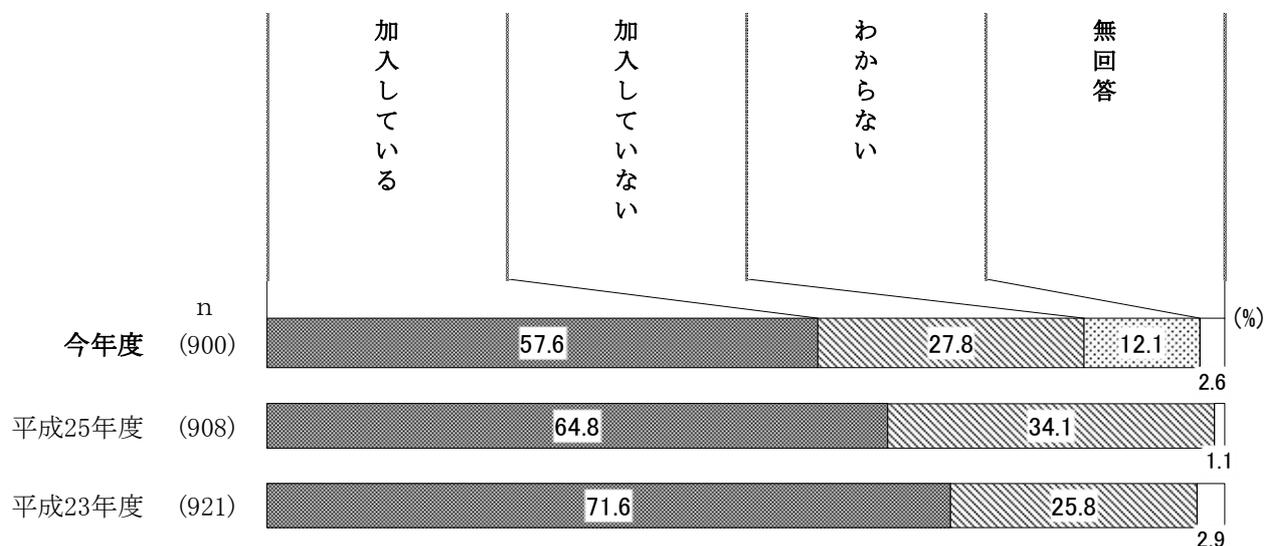


図7-1-2 町内会・自治会への加入状況 <性別・性年代別>

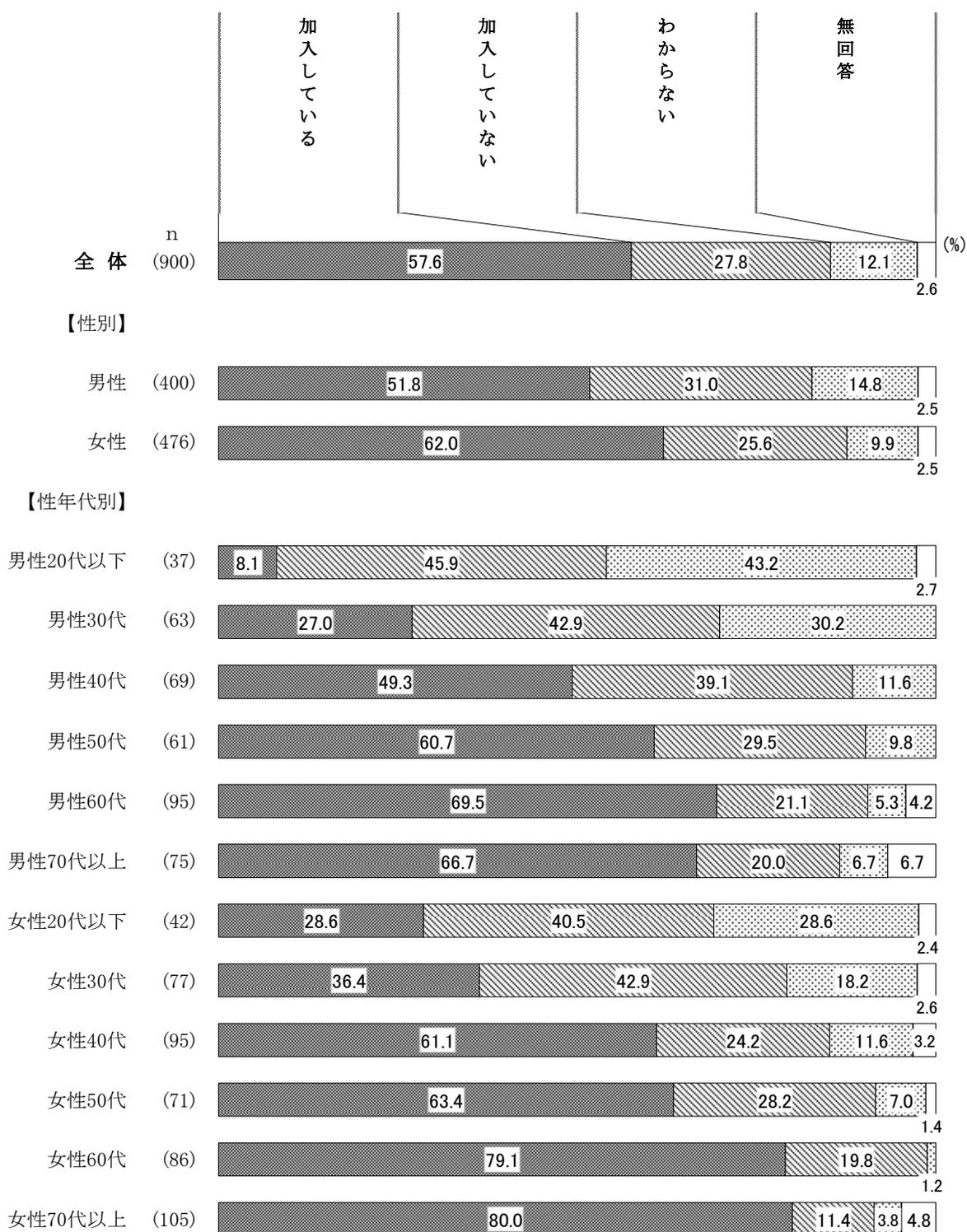
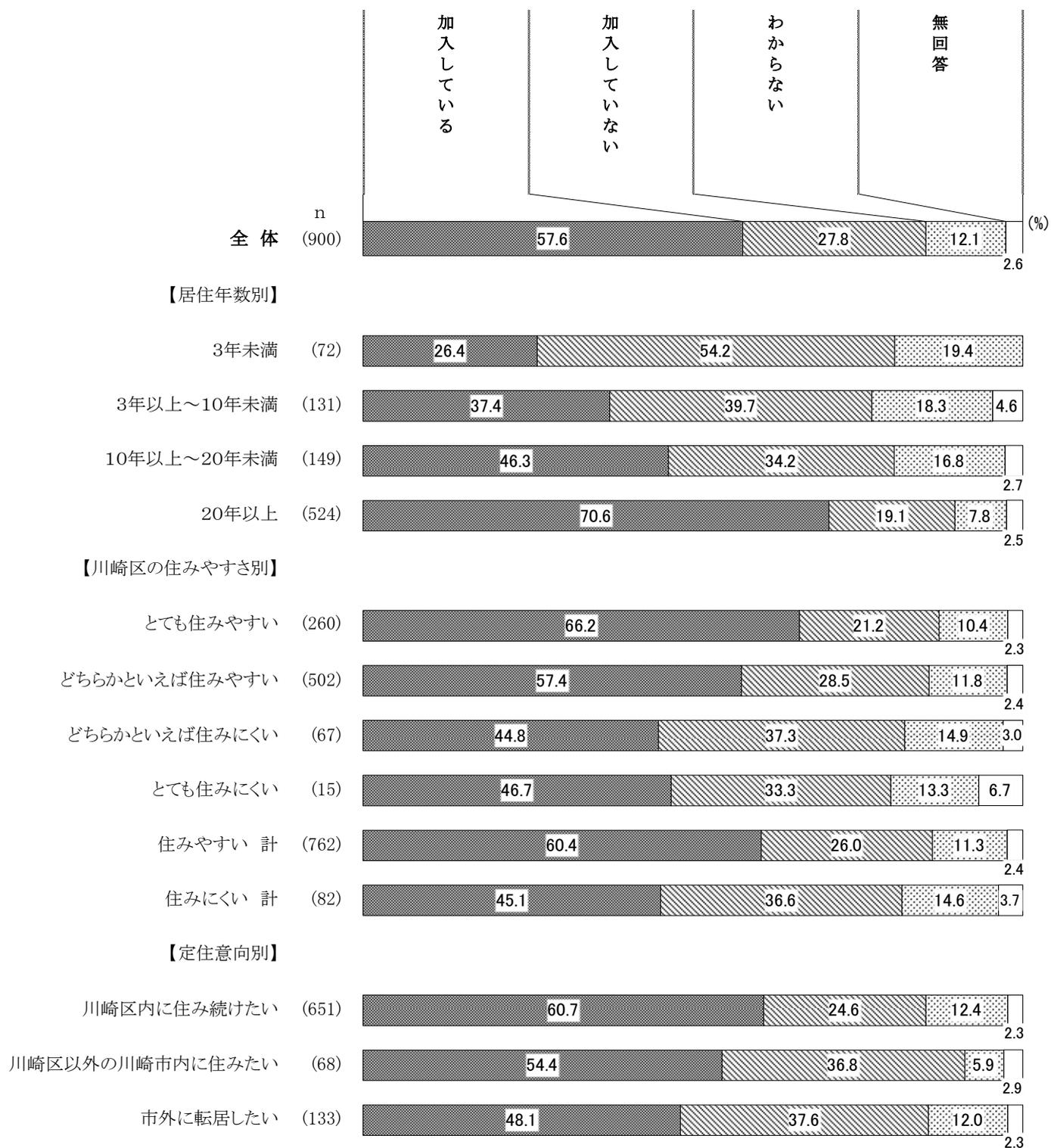


図7-1-3 町内会・自治会への加入状況

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(2) 町内会・自治会に加入していない理由

《問16で2と回答した方にお聞きします》

問16-1 町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。(当てはまるもの全てに○)

**全 体** 「加入するきっかけがないから」(42.4%)が最も高く、次いで「仕事、子育て、介護などで忙しいから」(27.2%)と続いている。(図7-2-1)

**性 別** 「加入するきっかけがないから」では、「女性」(45.1%)が「男性」(39.5%)より5.6ポイント、「仕事、子育て、介護などで忙しいから」では、「女性」(30.3%)が「男性」(25.0%)より5.3ポイント高くなっている。(図7-2-2)

**性年代別** n(回答者数)が少ない年代が多いことから、図表は参考として掲載する。(図7-2-2)

**居住年数別** 「加入するきっかけがないから」では、「3年以上~10年未満」(55.8%)で最も高くなっている。(図7-2-3)

**川崎区の住みやすさ別** 全体的に「住みにくい計」の方が「住みやすい計」より高くなっており、特に「仕事、子育て、介護などで忙しいから」では、「住みにくい計」(43.3%)が「住みやすい計」(24.7%)より18.6ポイント高くなっている。(図7-2-3)

**定住意向別** 「川崎区以外の川崎市内に住みたい」のn(回答者数)が少ないことから、図表は参考として掲載する。(図7-2-3)

図7-2-1 町内会・自治会に加入していない理由

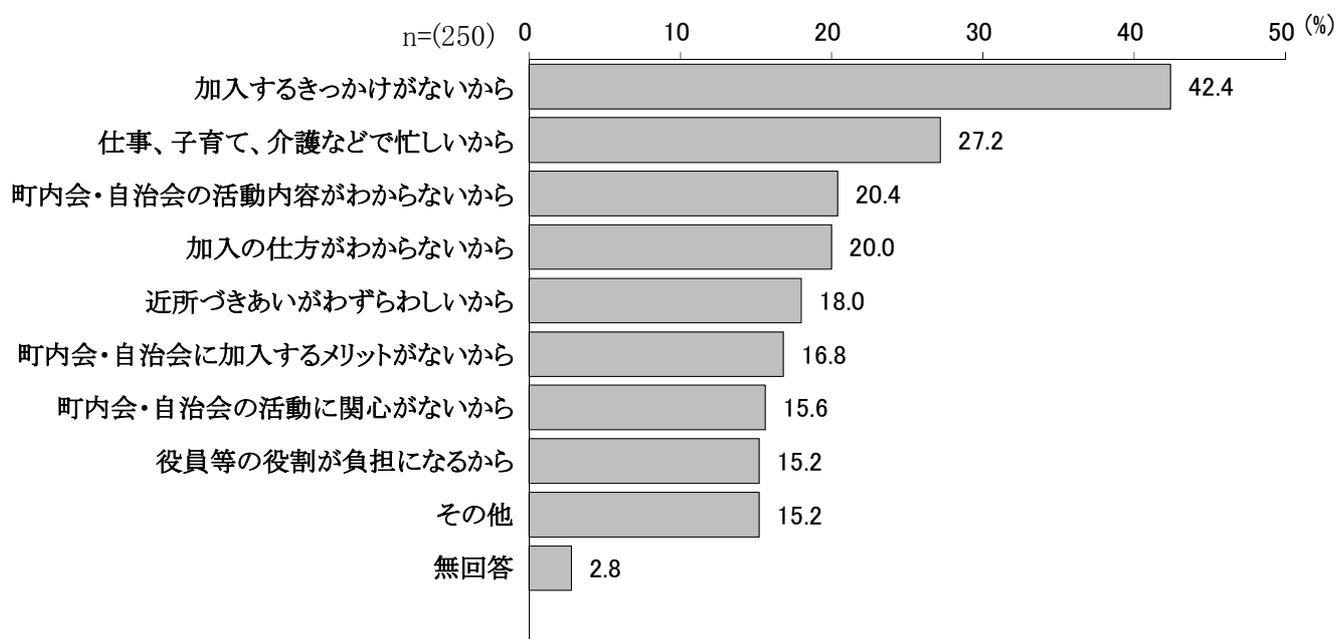


図7-2-2 町内会・自治会に加入していない理由 <性別・性年代別>

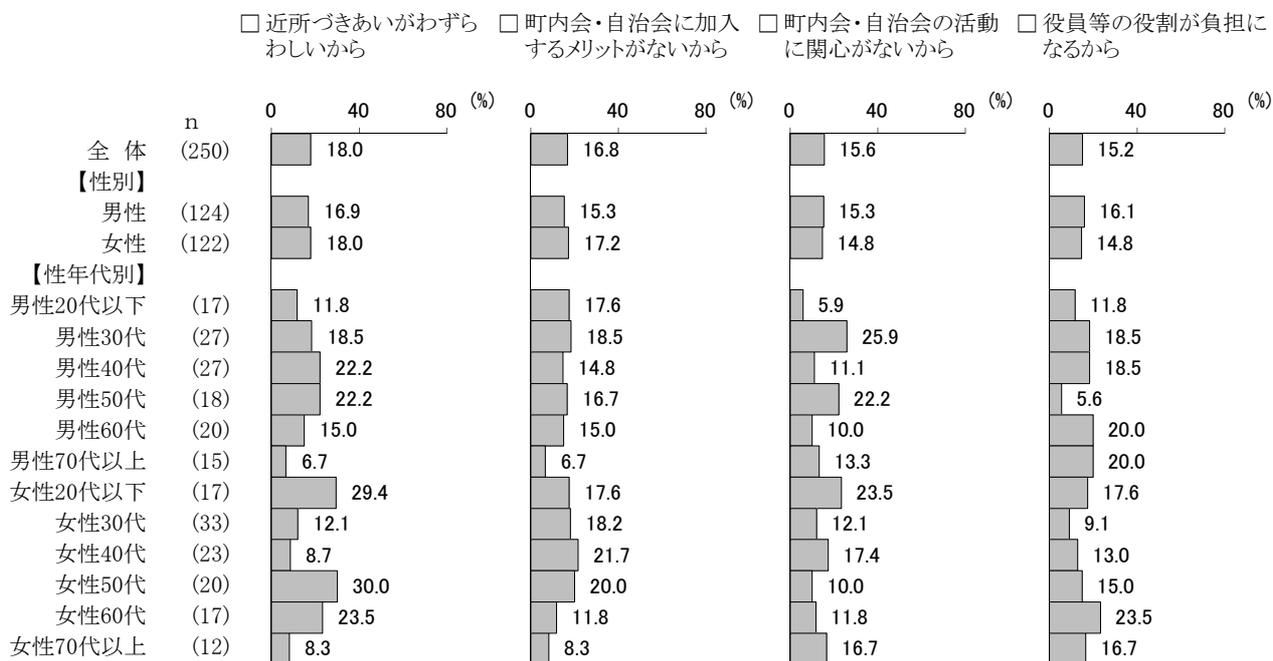
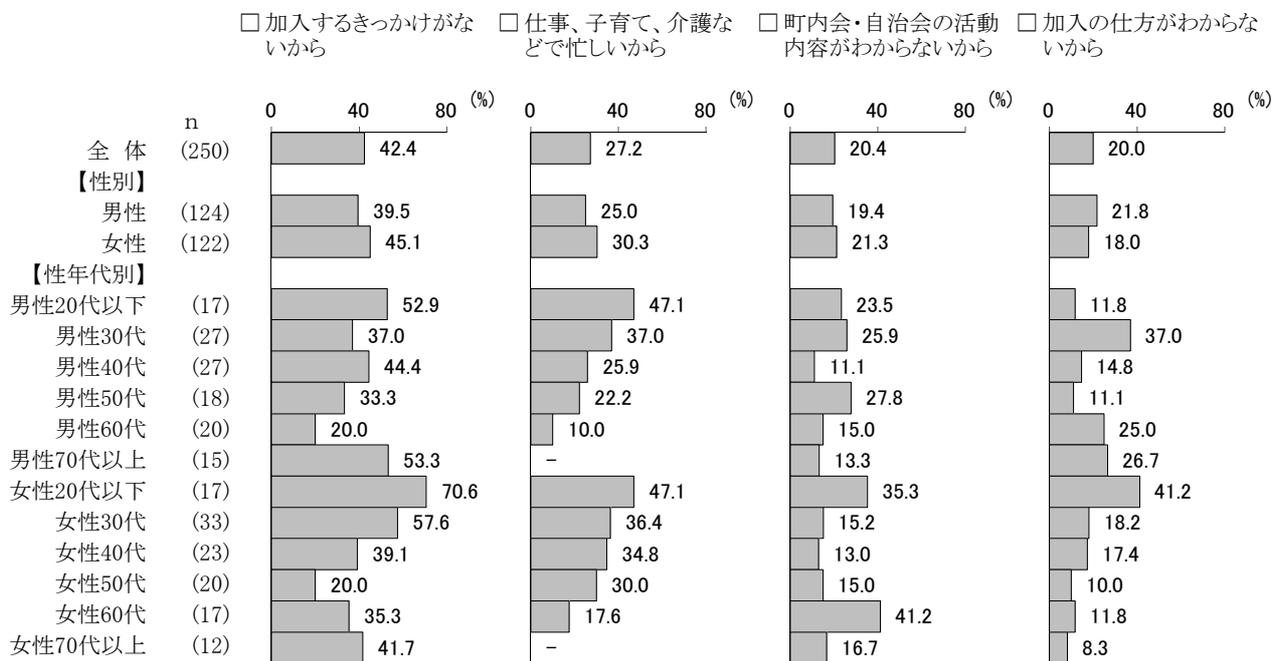
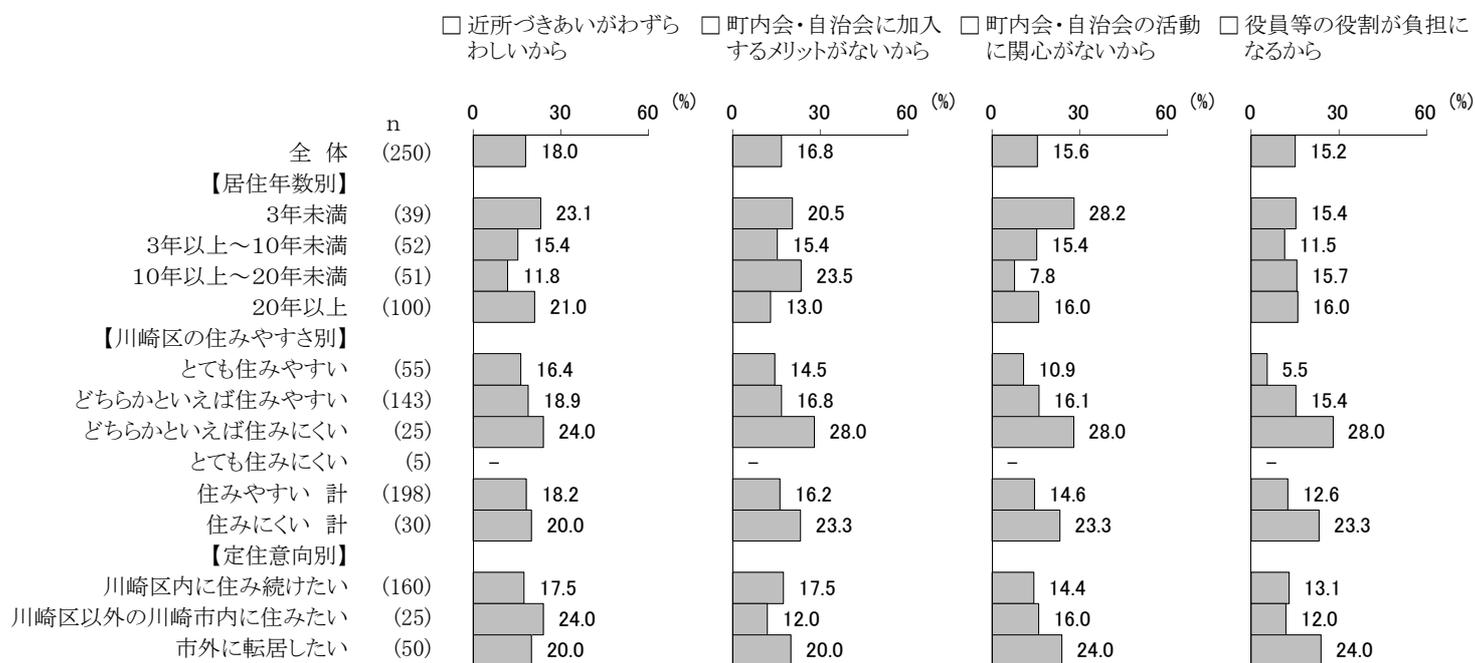
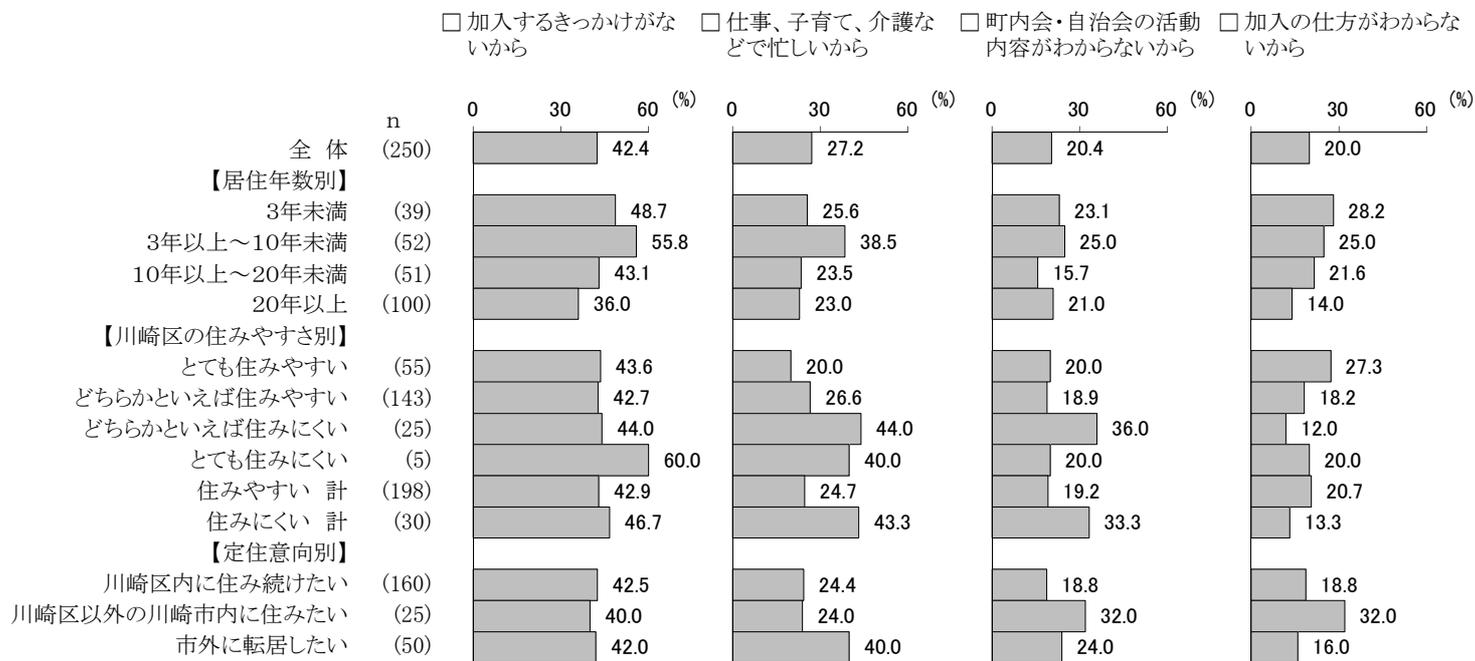


図7-2-3 町内会・自治会に加入していない理由

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(3) 町内会・自治会に期待する役割

問17 町内会・自治会にどのような役割を期待しますか。(当てはまるもの全てに○)

**全 体** 「災害に備えた準備、災害時の支え合い」(55.0%)が最も高く、次いで「防犯パトロール」(43.6%)、「高齢者の見守り、日常的支援(ごみ捨て、買い物など)」(37.7%)、「地域環境の美化」(37.4%)と続いている。(図7-3-1)

**性 別** 「災害に備えた準備、災害時の支え合い」では、「女性」(59.9%)が「男性」(50.8%)より9.1ポイント、「回覧板などによる情報提供」では、「女性」(36.8%)が「男性」(29.5%)より7.3ポイント高くなっている。(図7-3-2)

**性年代別** 「高齢者の見守り、日常的支援(ごみ捨て、買い物など)」、「隣近所の住民の親睦を深める」、「回覧板などによる情報提供」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。(図7-3-2)

**居住年数別** 全体的に居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「高齢者の見守り、日常的支援(ごみ捨て、買い物など)」では「20年以上」(44.8%)で4割を超えている。(図7-3-3)

**川崎区の住みやすさ別** 全体的に「住みやすい計」の方が割合が高くなっているが、「地域環境の美化」では、「住みにくい計」(43.9%)が「住みやすい計」(37.1%)より6.8ポイント高くなっている。(図7-3-3)

**定住意向別** 全体的に「市外に転居したい」の割合が最も低い傾向にあるが、「地域環境の美化」では、「市外に転居したい」(43.6%)が最も高くなっている。(図7-3-3)

図7-3-1 町内会・自治会に期待する役割

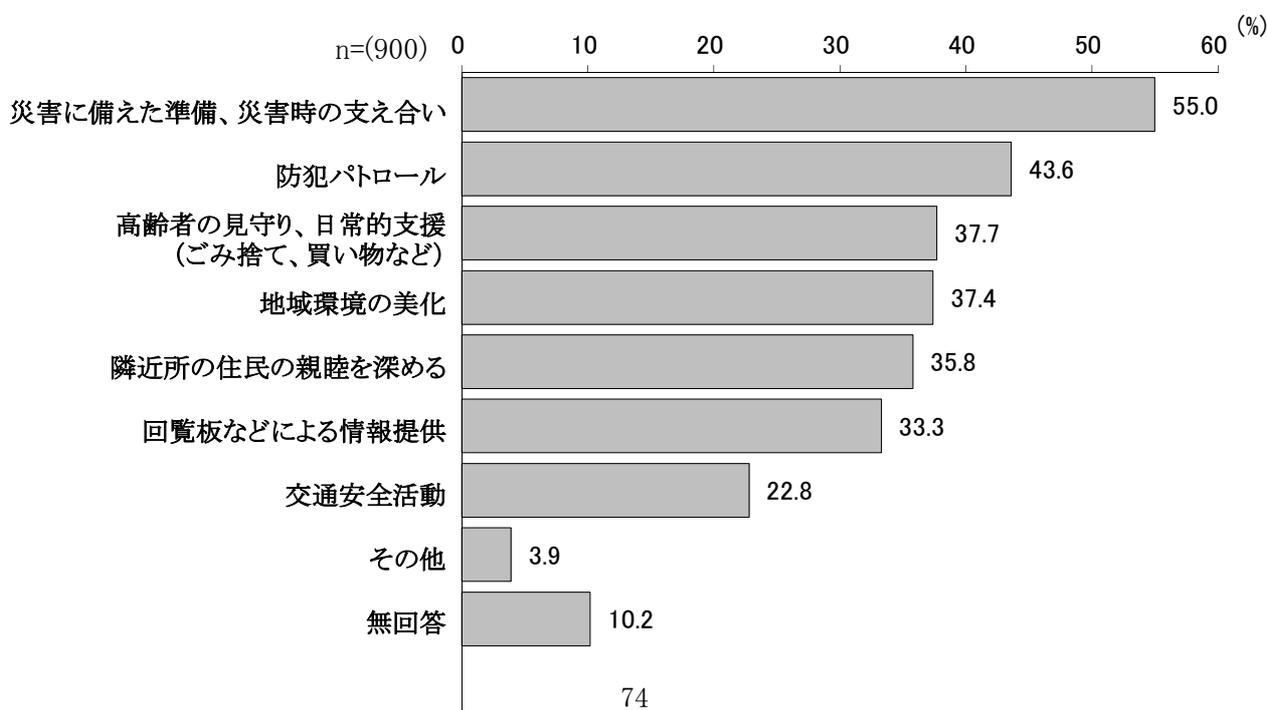


図7-3-2 町内会・自治会に期待する役割 <性別・性年代別>

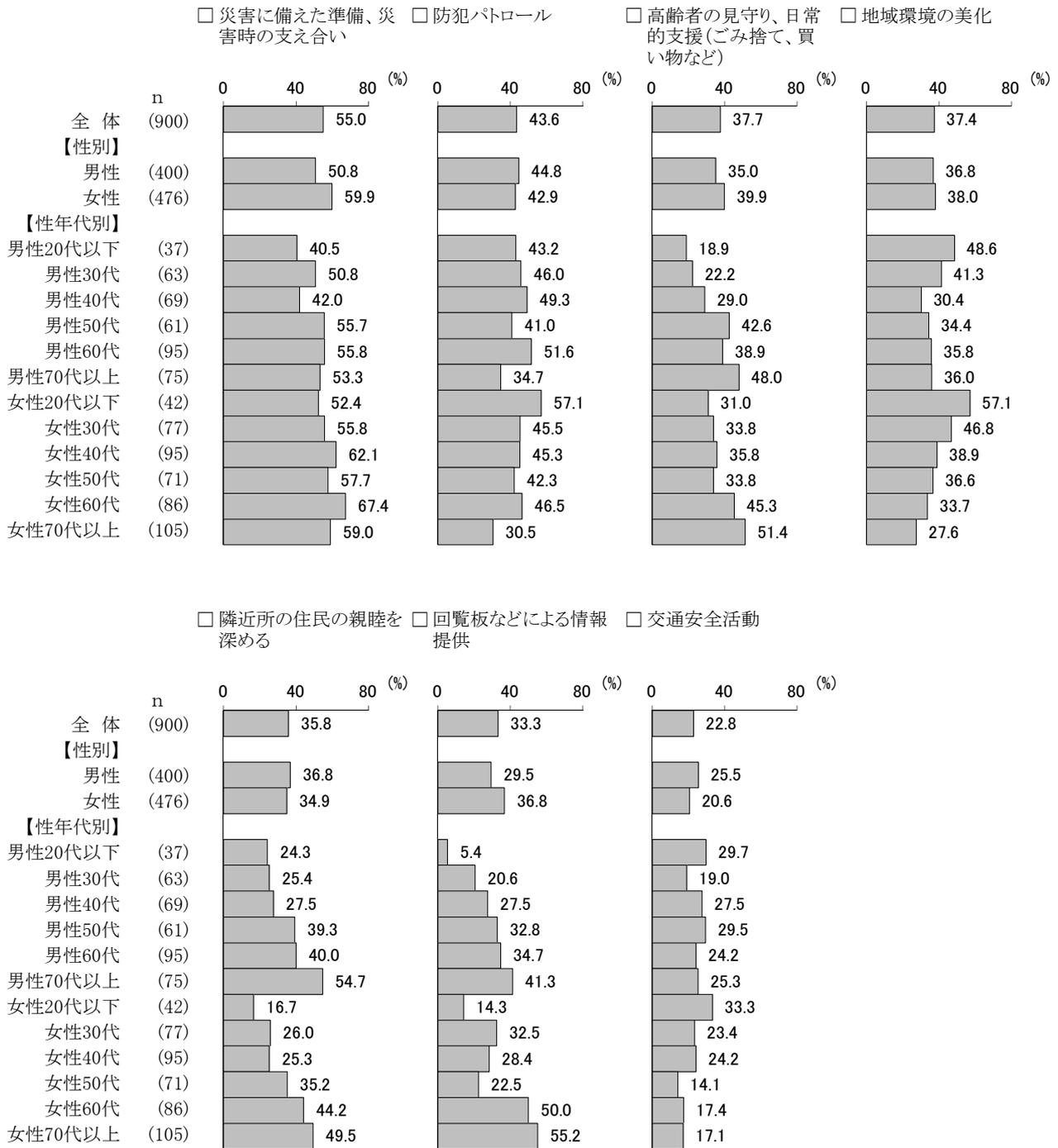
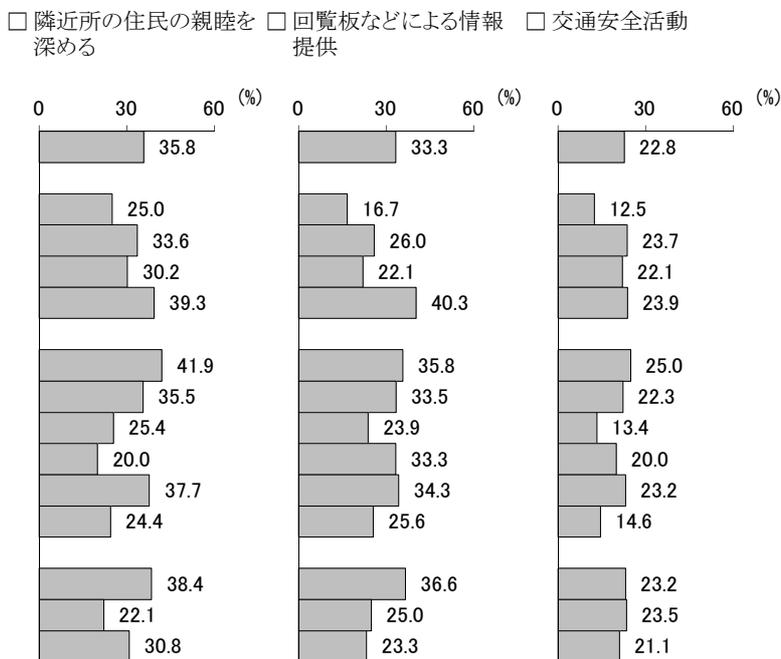
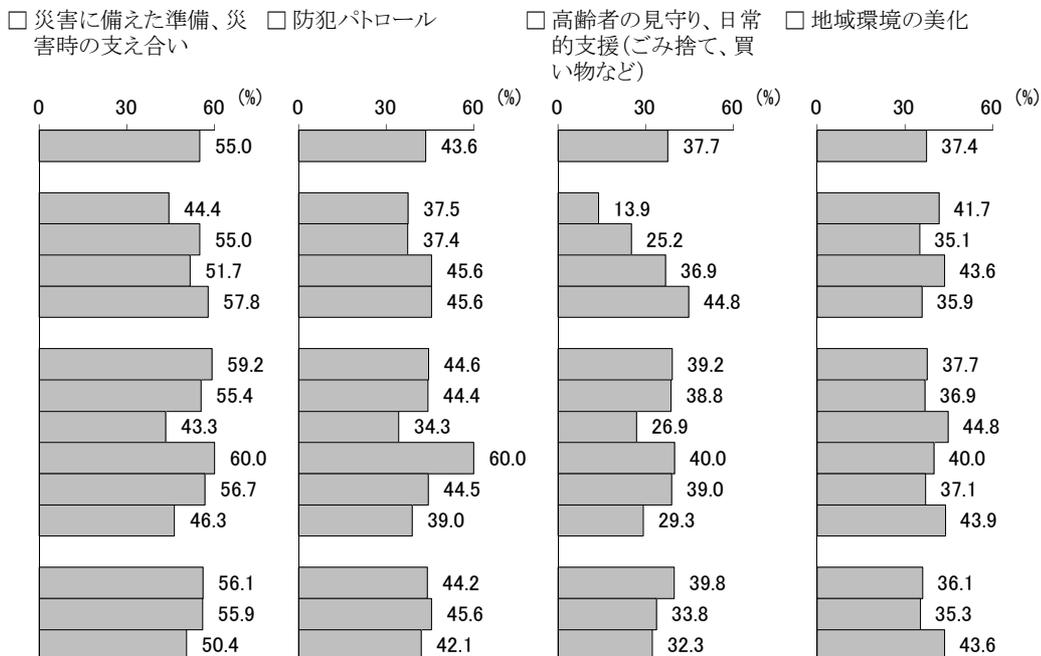


図7-3-3 町内会・自治会に期待する役割

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

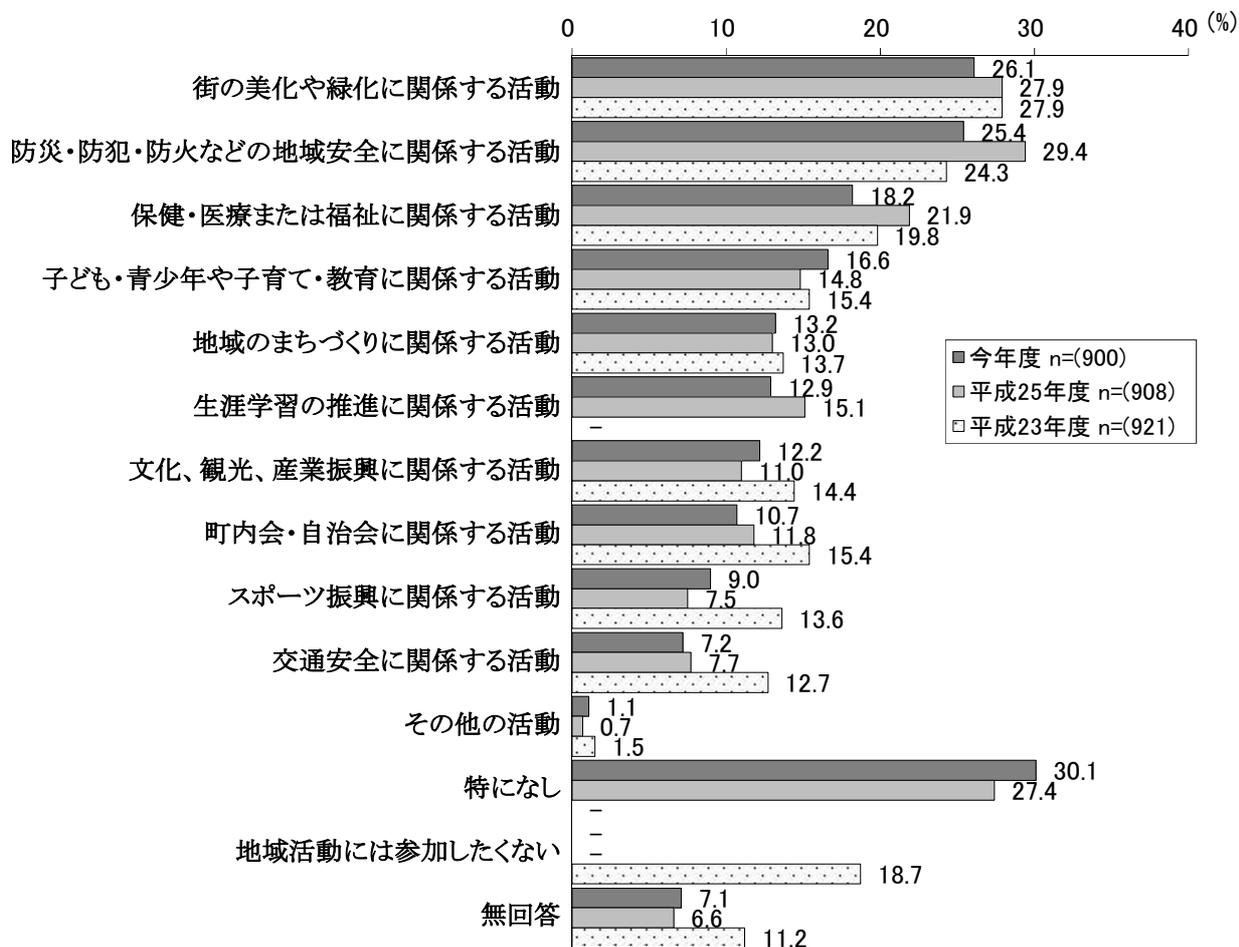


## (4) 参加してみたいと思う地域活動の分野

問18 あなたが今後、参加してみたいと思う地域活動の分野は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 全 体** 「街の美化や緑化に関する活動」(26.1%)が最も高く、次いで「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」(25.4%)、「保健・医療または福祉に関する活動」(18.2%)と続いている。一方、「特になし」は30.1%となっている。平成23年度からの結果と比較すると「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」(今年度：25.4%、平成25年度：29.4%、平成23年度：24.3%)、「保健・医療または福祉に関する活動」(今年度：18.2%、平成25年度：21.9%、平成23年度：19.8%)では、今年度の方が平成25年度より低くなっているが、それ以外の項目は平成25年度からほぼ横ばいとなっている。「特になし」(今年度：30.1%、平成25年度：27.4%)では、平成25年度(27.4%)より2.7ポイント高くなっている。(図7-4-1)
- 性 別** 「保健・医療または福祉に関する活動」では、「女性」(20.8%)が「男性」(15.5%)より5.3ポイント高くなっている。(図7-4-2)
- 性年代別** 「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」では、「男性60代」(41.1%)で4割を超えている。「子ども・青少年や子育て・教育に関する活動」では、「女性30代」(40.3%)で4割を超えている。(図7-4-2)
- 居住年数別** 「子ども・青少年や子育て・教育に関する活動」では、「3年以上～10年未満」(29.8%)が最も高く、最も低い「20年以上」(13.5%)より16.3ポイント高くなっている。(図7-4-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 全体的に「住みやすい計」の方が高くなっており、特に「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」では、「住みやすい計」(26.8%)が「住みにくい計」(17.1%)より9.7ポイント高くなっている。(図7-4-3)
- 定住意向別** 「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(35.3%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(21.8%)より13.5ポイント高くなっている。(図7-4-3)

図7-4-1 参加してみたいと思う地域活動の分野



※平成23年度は「特になし」ではなく、「地域活動には参加したくない」

図7-4-2 参加してみたいと思う地域活動の分野 <性別・性年代別>  
(上位7項目+「特になし」)

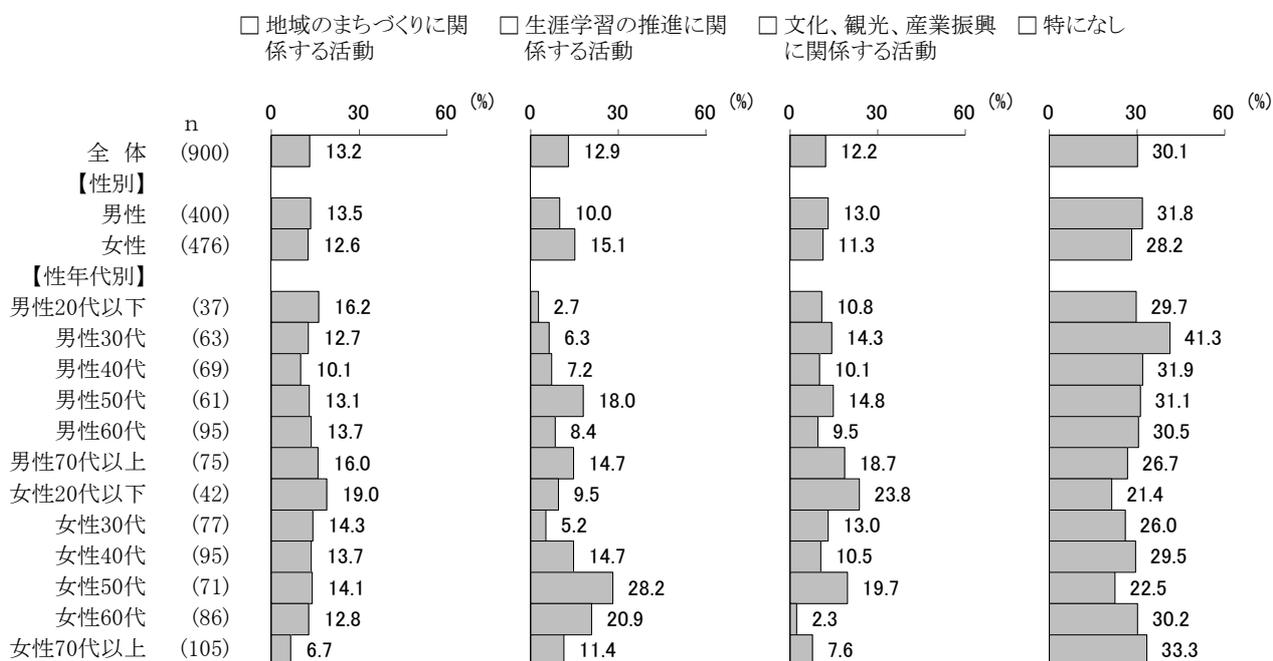
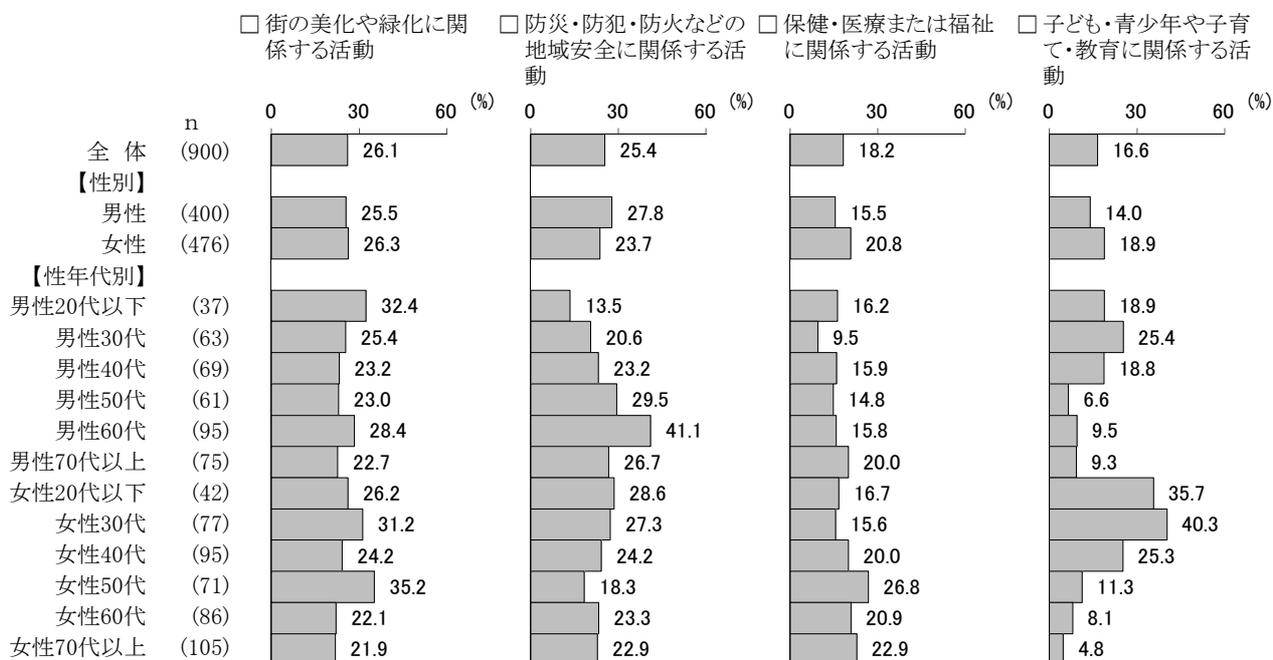
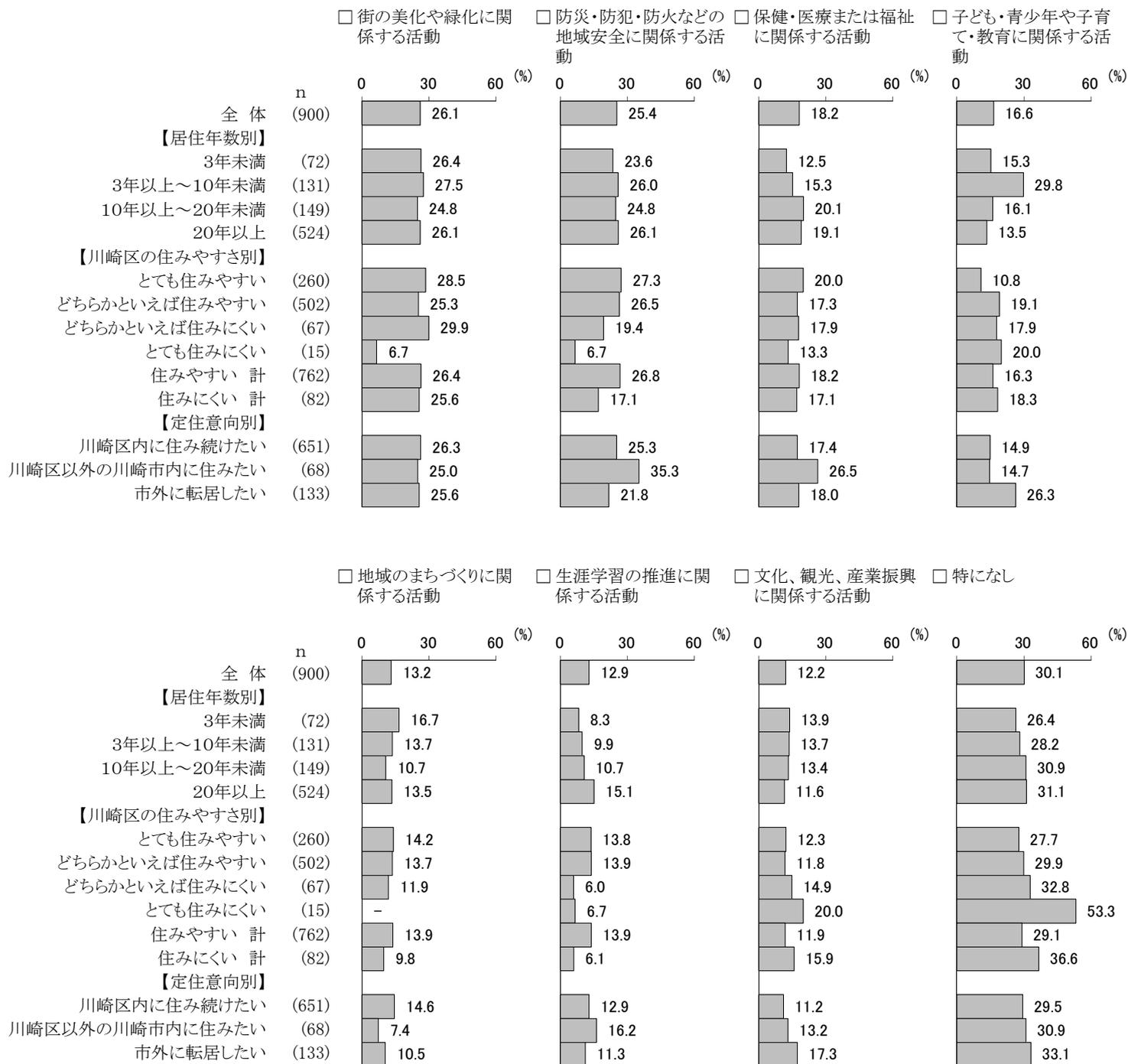


図7-4-3 参加してみたいと思う地域活動の分野

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位7項目+「特になし」)



## 第4章 調査票



## 「川崎区区民アンケート」への御協力をお願い

皆様には、日ごろから区政に対してご理解とご協力いただき、ありがとうございます。さて、川崎区では、区民の皆様の意識やお考えをお聞きし、今後の区政運営の基礎資料とさせていただくことを目的として、区民アンケートを実施することといたしました。

今回の調査の実施にあたり、調査対象者として、2,000人の皆様に満18歳以上の方から無作為に選ばせていただきました。お忙しいところ大変に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

### 【ご記入に関する注意点とお願い】

- ◆ あて名のご本人がアンケートにお答えください。
- ◆ ご記入は、濃い鉛筆またはボールペン・万年筆でお願いします。
- ◆ この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。
- ◆ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆ 「その他」にあてはまる場合は（ ）の中に、その内容を具体的にご記入ください。
- ◆ ご回答いただいた内容は、統計的な集計・分析だけに使用し、個々のお考えの内容や皆様の個人情報外部に漏れることはありません。

ご記入いただいたアンケートは1月25日（月）までに同封の返信用封筒に入れて、投函してください。

◆本調査について、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。



調査担当課 川崎区役所 まちづくり推進部 企画課  
〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地  
電話：044-201-3296  
FAX：044-201-3209  
メール：61kikaku@city.kawasaki.jp

## 第4章 調査票

◆ **川崎区の住みやすさなどについておうかがいします**■ **住みやすさについて**問1 **あなたは川崎区に住んで何年になりますか。(○は1つ)**

1 3年未満	3 10年以上～20年未満
2 3年以上～10年未満	4 20年以上

問2 **あなたにとって、川崎区はどの程度住みやすいですか。(○は1つ)**

1 とても住みやすい
2 どちらかといえば住みやすい
3 どちらかといえば住みにくい
4 とても住みにくい
5 わからない

問3 **次の表にあげる項目で、川崎区について良いと思うもの、良くないと思うものを選んでください。(当てはまるもの全てに○)**

項目	問3-1 良いと思う ↓	問3-2 良くないと思う ↓
1 治安や風紀		
2 買い物、病院などの日常生活の利便性		
3 子育て環境		
4 教育・文化環境		
5 緑や公園などの自然環境		
6 交通の利便性		
7 街の美化		
8 その他（良いと思うもの： )		
その他（良くないと思うもの： )		

問4 **あなたは川崎区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)**

1 川崎区内に住み続けたい
2 川崎区以外の川崎市内に住みたい
3 市外に転居したい

◆ **ここからは、区民の皆さまの区政に対する評価やご要望などについておうかがいします**

■ **川崎区役所の広報について**

問5 あなたは、川崎区からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。  
(当てはまるもの全てに○)

- 1 市政だより
- 2 町内会・自治会の回覧板
- 3 新聞、タウン紙などの報道
- 4 区（市）のホームページ
- 5 かわさき生活ガイド
- 6 区の施設や掲示板にあるポスターやパンフレット類
- 7 メールマガジン（インターコムかわさきく）
- 8 区役所から送られるお知らせ文書
- 9 その他（ ）
- 10 特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない

問6 平成25年度に実施した川崎区区民アンケートでは、区からのお知らせや情報を「市政だより」から入手している方が、約7割と最も多い結果となりました。

月に1回定期的に発行している「市政だより」の川崎区版について、どのような情報を充実して欲しいと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど）
- 2 健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口など）
- 3 イベント情報（区主催のイベント情報など）
- 4 区役所内の窓口情報（相談内容別の問い合わせ先など）
- 5 歴史・文化・スポーツ関係情報（生涯学習、音楽のまち、スポーツ、講座など）
- 6 区政情報（区の事業紹介、制度紹介など）
- 7 子育て情報（関連施設、相談窓口など）
- 8 教育・学校関係情報（小中学校の情報、相談窓口など）
- 9 その他の情報（ ）
- 10 特になし

■ 川崎区役所が行っている事業の要望について

問7 川崎区役所が行っている事業で、今後、特に力を入れて欲しいとお考えのものはどれですか。(当てはまるもの全てに○)

1 防災に関する事業	10 産業・商業に関する事業
2 防犯・防火に関する事業	11 地域コミュニティの活性化に関する事業
3 交通安全に関する事業	12 観光・文化に関する事業
4 高齢者や障害者福祉に関する事業	13 スポーツに関する事業
5 健康増進に関する事業	14 音楽に関する事業
6 環境美化、地域緑化に関する事業	15 外国人市民に関する事業
7 子育てに関する事業	16 その他 ( )
8 教育に関する事業	17 特になし
9 生涯学習に関する事業	

■ 今後の防犯、防災、災害対策について

問8 地域住民団体等が防犯カメラを設置し、街頭や公園などを撮影・記録することについてどう思いますか。(○は1つ)

1 設置には賛成である	} 問9へ
2 どちらともいえない	
3 設置には反対である	→ 問8-1へ

《問8で3と回答した方にお聞きします》

問8-1 防犯カメラの設置に反対する理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

1 プライバシーの侵害につながる可能性が高い
2 撮影・記録された映像の管理不安がある
3 防犯カメラ設置の必要性を感じない
4 その他 ( )

**問9 家族や身近な人と災害が起きた時の安否確認の方法について、取り決めていますか。(当てはまるもの全てに○)**

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 災害用伝言ダイヤルを利用する                     |
| 2 災害用伝言板を利用する                        |
| 3 遠くの親戚や知人を中継役と決め、そこに連絡する            |
| 4 小学校等に通う子どもの引き取りに関する取り決めを確認している     |
| 5 離れて暮らす家族の安否を確認するために町内会等の連絡先を把握している |
| 6 その他 ( )                            |
| 7 特に対策を講じていない                        |

**問10 川崎市に最大規模の津波被害をもたらす地震が発生した際に、あなたがお住まいの場所での津波の高さを知っていますか。(○は1つ)**

- |                    |
|--------------------|
| 1 知っている            |
| 2 なんとなく知っている       |
| 3 聞いたことがあるが、覚えていない |
| 4 知らない             |
| 5 津波が来ることを知らない     |

※「海拔」と「浸水深（大地震発生の際に津波の最高到達点と想定されている高さ）」などを記載した表示板は区内全域の町内会・自治会の掲示板に設置しております。

**■ 健康、福祉等について**

**問11 健康診断（職場の健診、特定健診など）を年1回受けていますか。(○は1つ)**

- |                   |   |        |
|-------------------|---|--------|
| 1 受けている           | → | 問12へ   |
| 2 受けていない          | } | 問11-1へ |
| 3 毎年でなく数年おきに受けている |   |        |

《問11で2または3と回答した方にお聞きします》

問11-1 健康診断を毎年受けない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 | 時間がないから           |
| 2 | お金がかかるから          |
| 3 | 面倒だから             |
| 4 | 受け方がわからないから       |
| 5 | 受ける機会がないから        |
| 6 | 必要性を感じないから        |
| 7 | 結果を聞くのが怖いから       |
| 8 | かかりつけ医で検査等をしているから |
| 9 | その他 ( )           |

問12 高齢者の福祉・医療・介護全般の相談窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つ)

- |   |             |
|---|-------------|
| 1 | よく知っている     |
| 2 | 名前は聞いたことがある |
| 3 | あまり知らない     |
| 4 | 全く知らない      |

◆ **ここからは、区民の皆さまの区民会議への関心などについておうかがいします**

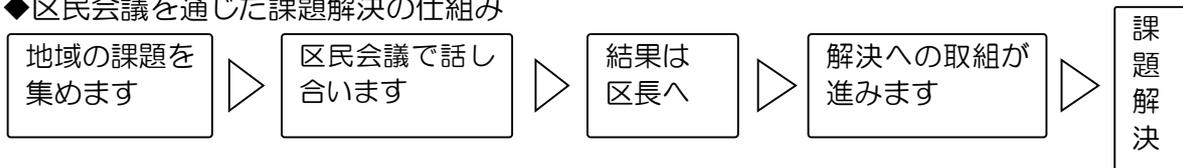
■ **川崎区区民会議について**

◆ **区民会議とは**

川崎区区民会議では、区民が委員となり、身近な地域の課題を選んで解決に向けた話し合いをします。その結果を区長が受け取り、区民と区役所との協働（※）などにより、課題の解決に向けた取組を進めます。

（※）協働とは、共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任の下で、相互の立場を尊重し、対等な関係で協力することです。

◆ **区民会議を通じた課題解決の仕組み**



- ① 身近な地域の課題を区民会議が集めます
- ② 課題を選んで解決に向けて話し合い、解決策をまとめます
- ③ 話し合いの結果（解決策）は区長が受け取ります
- ④ 課題解決をめざし、区民の取組、区民と区役所の協働、区役所の取組などが進みます

過去の区民会議からの提案に基づく主な取組

- ・ 海拔表示板の設置
- ・ 「区の花」「区の木」の制定、効果的な活用
- ・ 「カローリング」を活用した世代間が交流する場の拡充



詳細は、区ホームページ「川崎区区民会議」でもご覧いただけます。

問13 あなたは「区民会議」を知っていますか。（○は1つ）

- 1 内容まで知っている
- 2 あることは知っているが、内容は知らない
- 3 知らない

**問14 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいと思う項目を、3つまでお選びください。(○は3つまで)**

1 災害対策に関する事業	10 産業・商業に関する事業
2 防犯・防火に関する事業	11 地域コミュニティの活性化に関する事業
3 交通安全に関する事業	12 観光・文化に関する事業
4 高齢者や障害者福祉に関する事業	13 スポーツに関する事業
5 健康増進に関する事業	14 音楽に関する事業
6 環境美化、地域緑化に関する事業	15 外国人市民に関する事業
7 子育てに関する事業	16 その他 ( )
8 教育に関する事業	17 特になし
9 生涯学習に関する事業	

**問15 区は第3期川崎区区民会議の提案を基に、平成24年4月に区の花・木を制定しました。あなたは区の花が「ひまわり、ビオラ」、区の木が「いちょう銀杏、ちょうじゅうろうなし長十郎梨」であることを知っていますか。(当てはまるもの全てに○)**

1 ひまわりが区の花であることを知っている
2 ビオラが区の花であることを知っている
3 <small>いちょう</small> 銀杏が区の木であることを知っている
4 <small>ちょうじゅうろうなし</small> 長十郎梨が区の木であることを知っている
5 知らない

■ 市民活動及び地域活動への参加について

**問16 あなたは町内会・自治会に加入していますか。(○は1つ)**

1 加入している	→ 次ページ問17へ
2 加入していない	→ 次ページ問16-1へ
3 わからない	→ 次ページ問17へ

《問16で2と回答した方にお聞きします》

問16-1 町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 加入するきっかけがないから         |
| 2 | 加入の仕方がわからないから         |
| 3 | 町内会・自治会の活動内容がわからないから  |
| 4 | 町内会・自治会の活動に関心がないから    |
| 5 | 役員等の役割が負担になるから        |
| 6 | 町内会・自治会に加入するメリットがないから |
| 7 | 近所づきあいがわずらわしいから       |
| 8 | 仕事、子育て、介護などで忙しいから     |
| 9 | その他 ( )               |

《全員の方へお聞きします》

問17 町内会・自治会にどのような役割を期待しますか。(当てはまるもの全てに○)

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| 1 | 隣近所の住民の親睦を深める              |
| 2 | 災害に備えた準備、災害時の支え合い          |
| 3 | 高齢者の見守り、日常的支援 (ごみ捨て、買い物など) |
| 4 | 防犯パトロール                    |
| 5 | 交通安全活動                     |
| 6 | 地域環境の美化                    |
| 7 | 回覧板などによる情報提供               |
| 8 | その他 ( )                    |

《全員の方へお聞きします》

問18 あなたが今後、参加してみたいと思う地域活動の分野は何ですか。

(当てはまるもの全てに○)

- |    |                       |   |
|----|-----------------------|---|
| 1  | 街の美化や緑化に関する活動         |   |
| 2  | 防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動 |   |
| 3  | 保健・医療または福祉に関する活動      |   |
| 4  | 子ども・青少年や子育て・教育に関する活動  |   |
| 5  | 町内会・自治会に関する活動         |   |
| 6  | 文化、観光、産業振興に関する活動      |   |
| 7  | 地域のまちづくりに関する活動        |   |
| 8  | スポーツ振興に関する活動          |   |
| 9  | 交通安全に関する活動            |   |
| 10 | 生涯学習の推進に関する活動         |   |
| 11 | その他の活動 (              | ) |
| 12 | 特になし                  |   |

◆ **最後にあなた様ご自身についておうかがいします**

※調査結果をまとめるために必要な情報となります。

F 1 性別 (○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

F 2 年齢 (○は1つ)

1 20歳未満	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

F 3 あなたの現在のお仕事は、どれですか。(○は1つ)

1 自営業	6 主婦・主夫 (家事専業)
2 家族従業 (家業手伝い)	7 学生
3 勤め (フルタイム)	8 無職 (収入が年金のみの方を含む)
4 勤め (パートタイム)	9 その他 ( )
5 内職	

F 4 現在、同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

1 1人 (1人暮らし)	5 5人
2 2人	6 6人
3 3人	7 7人以上
4 4人	

F 5 あなたのお勤め先あるいは通学先はどちらですか。(○は1つ)

1 川崎市内 (川崎区)	5 東京都 (23区)
2 川崎市内 (その他の区)	6 東京都 (23区以外)
3 横浜市内	7 その他
4 神奈川県 (川崎市・横浜市以外)	8 通勤・通学していない

～ご協力、誠にありがとうございました。このアンケートを同封の返信用封筒 (切手不要) に入れ、大変お手数ですが1月25日 (月) までに、ポストへ投函してください。～

平成27年度 川崎区区民アンケート 報告書

平成28年3月

発行 川崎区役所まちづくり推進部企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

TEL 044-201-3267 (直通)

FAX 044-201-3209







かわさきく